

HUAWEI Mate20 Pro

取扱説明書



HUAWEI

目次

便利な機能

主な使い方のヒント	1
カメラのヒント	1
その他の機能	3

ご使用になる前に

はじめに	4
初期設定	4
充電と給電について	7

ジェスチャーと操作

指関節を使用した端末の操作	10
スクリーンショットとスクリーン録画	11

ホーム画面

ナビゲーションバー	12
ショートカットスイッチを使用してよく使う機能を素早く有効化	13
通知パネルとステータスバー	13
画面ロックとロック解除	16
ホーム画面の管理	17

連絡先

名刺の管理	21
連絡先の検索	22
連絡先の管理	23
サードパーティ製アプリの連絡先を統合	24

電話

基本的な通話機能	26
VoLTE	28

+メッセージ

+メッセージについて	29
+メッセージ利用の準備を行う	32
連絡先を利用する	53
メッセージを送信する	72
メッセージを確認する	98
グループメッセージを利用する	116
スタンプを利用する	129
+メッセージの設定をする	138
バックアップ／復元する	160

カメラ

	目次
基本機能	191
ポートレートモードで人物をキレイに撮影する	193
パノラマ	193
3D パノラマを使用した 360 度撮影	194
プロモード	195
モノクロ写真の撮影	197
ライトペインティングモード	198
その他の撮影モード	201
ギャラリー	
ハイライトアルバムのカスタマイズ	203
写真の管理	204
端末管理	
ワンタップ最適化	209
モバイルデータ通信量の管理	209
消費電力の最適化	209
ウイルススキャンの有効化	210
カレンダー	
カレンダーの操作	211
To-Do をインポートしてタスクを整理する	212
世界の休日の表示	212
時計	
時計の使用	213
メモ帳	
メモを管理して記録を整理する	215
ツール	
音声レコーダーを使用した音声メモの作成	217
スマートリモコン	217
デバイス接続	
Bluetooth	220
NFC	222
デスクトップモード	224
マルチスクリーン表示	227
USB デバイスの接続	228
Huawei Share	230
セキュリティとプライバシー	
顔認証	234
指紋	235
位置情報サービスの有効化/無効化	238

	目次
アプリロックの有効化	238
NM カード(ナノメモリカード)の暗号化の有効化	239
バックアップと復元	
データのバックアップ: データ消失の防止	240
データのバックアップ: HiSuite を使用したデータのバックアップ	240
USB ストレージデバイスへのデータのバックアップ	240
端末のリセット	241
Wi-Fi とネットワーク	
Wi-Fi	242
インターネット接続	245
他の端末とのモバイルデータ通信の共有	245
アプリと通知	
ツインアプリ: 1 度に 2 つのソーシャルメディアアカウントにログイン	247
アプリ権限をカスタマイズして端末を自分好みの方法で使用する	247
サウンドと表示	
通知の鳴動制限モードの設定	248
サウンドの設定	248
目の疲れを防止する視力保護モードの有効化	249
その他の表示設定	249
ストレージ	
ストレージクリーナーの有効化	251
本機のメモリの空き容量について	251
システム	
入力方法の変更	254
ナビゲーションバーとナビゲーションメニュー	254
ユーザー補助	254
一般設定	256
ソフトウェア更新	
オンライン更新の実行	260
法律上の注意事項	
法律上の注意事項	261
個人情報とデータセキュリティ	263
ヘルプの取得	263
詳細情報	263
保証とアフターサービス	
保証について	264
アフターサービスについて	264

便利な機能

主な使い方のヒント

ナビゲーションメニュー:どこからでも端末の機能にアクセス

端末でナビゲーションメニュー機能を有効にすると、ナビゲーションボタンを使用せずに、端末を片手で快適に操作できるようになります。

 **設定** を開きます。システム > システムナビゲーション > ナビゲーションメニュー に移動して、ナビゲーションメニュー を有効にします。○ が画面に表示されます。その後、任意の位置までドラッグします。ナビゲーションメニューでは次の操作が可能です。

- **戻る**:ナビゲーションメニューを1回タップすると1つ前のステップに戻り、2回タップすると2つ前のステップに戻ります。
- **ホーム**:ナビゲーションメニューを長押しして離すと、ホーム画面に移動します。
- **バックグラウンドアプリの表示**:ナビゲーションメニューを長押ししてから、左右にスワイプすると、バックグラウンドで実行されているアプリが表示されます。

ツインアプリ:1 度に 2 つのソーシャルメディアアカウントにログイン

LINEやFacebookなどのSNSアプリに2つの異なるアカウントで同時にログインしてアカウントの切り替えごとにアプリを起動し直すことなく使用したいと思ったことはありませんか？ツインアプリ機能では、LINEやFacebookにおいて2つのアカウントで同時にログインし、仕事用とプライベート用で使い分けることが可能になります。

 ツインアプリ機能は、WeChat、QQ、LINE、Facebook、Snapchat、WhatsApp、Messengerでのみ有効です。この機能を使用する前に該当のアプリの最新バージョンをダウンロードしてください。

 **設定** を開きます。**アプリ > ツインアプリ** に移動して、必要に応じてWeChat、QQ、LINE、Facebook、Snapchat、WhatsApp、Messengerに対してツインアプリ機能を有効にします。

ツインアプリ機能を有効にしたら、ホーム画面上にWeChat、QQ、LINE、Facebook、Snapchat、WhatsApp、Messengerのアプリのアイコンが2つ表示されます。これは同時に同一アプリに対して2つのアカウントでログインできることを示しています。ツインアプリが有効になっているアプリのアイコンを長押しし、「閉じる」にドロップするとアンインストールの確認メッセージがポップアップされるので、OKをタップすると、ツインアプリ機能を無効にできます。

カメラのヒント

モノクロ写真の撮影

世界には色があふれています。しかし、色彩が多すぎると何を見せたいのかわかりづらくなることもあります。モノクロモードを使用して色を取り除くと、光と影が強調され、写真にムーディで独特な雰囲気を加えることができます。

 **カメラ** > **その他** > **モノクロ** に移動してモノクロで写真を撮影します。



ポートレートモードで人物をキレイに撮影する

セルフィーやグループ写真をもっと美しく魅力的にしたいありませんか。そんなときは、ポートレートモードのカスタムオプションを使用すれば、思い出に残る美しい写真を撮影できます。

ポートレートモードを有効にして魅力的な写真を撮影する:  **カメラ** > **ポートレート** を開いて、次のパラメータを設定すれば魅力的な写真が撮影できます。調整が終わったら、 をタップして写真を撮影します。

- **ぼかし効果**: 背景に光源がある場合は、ビューファインダーの  アイコンをタップして、様々なぼかし効果を選択できます。
- **舞台照明**: ビューファインダーの  アイコンをタップして、舞台照明効果を選択できます。
- **ビューティー効果**: ビューファインダーの  アイコンをタップし、スライダーを左右にドラッグしてビューティー設定を調整します。パラメータ値を上げると、ビューティー効果がより鮮明になります。

3D パノラマを使用した 360 度撮影

3Dパノラマ機能を使用して、風景や人物を360度の視点で撮影してみましょう。

3Dパノラマ 機能には次の2つの撮影モードがあります。

- **被写体の撮影**:  **カメラ** > **その他** > **3Dパノラマ** に移動します。 を長押しし、画面の指示に従って、端末を被写体に対して弧を描くように一方向にゆっくりと動かします。撮影を停止するには  を離します。撮影後に、カメラのサムネイルをタップし、写真の上にある **3D** をタップすると、3Dパノラマ写真が作成されます。

- **風景の撮影:**  **カメラ** > **その他** > **3Dパノラマ** に移動します。  を長押しし、画面の指示に従って、端末を被写体に対して弧を描くように一方向にゆっくりと動かします。撮影を停止するには  を離します。撮影後に、カメラのサムネイルをタップし、写真の上にある **3D** をタップすると、3Dパノラマ写真が作成されます。

3Dパノラマの作成後に、端末を傾げるか写真をドラッグすると、3D効果を確認できます。

その他の機能

アプリロックの有効化

アプリロック機能では、WeChat、Alipay、その他の重要なアプリに対してパスワードを設定することができます。端末を再起動したり画面のロックを解除したりしてから初めてアプリを開くときに、アプリロックパスワードの入力を求められます。アプリロックによって、プライベート情報をより強固に保護し、端末上の重要なアプリへの不正なアクセスを防止できます。

アプリロックの有効化:  **設定** を開きます。 **セキュリティとプライバシー** > **アプリのロック** に移動します。アプリロックを初めて使用するときは、画面の指示に従ってパスワードを設定する必要があります。その後は直接アプリロックパスワードを入力できます。アプリロック画面で、保護するアプリに対してアプリロックを有効にします。ロックされたアプリを初めて開くときには、パスワードテキストボックスにパスワードを入力する必要があります。パスワードを忘れてしまった場合は、**パスワードを忘れた** をタップし、パスワード保護の質問の答えを入力し、パスワードをリセットします。パスワード保護を設定していない場合は、**パスワードを忘れた** オプションは使用できません。

-  端末のロック解除用に指紋や顔認証を設定し、初めてアプリロックを開く場合、画面上の説明に従って指紋や顔認証をアプリロックに関連付けることで、より簡単にアプリのロックを解除できます。

アプリロックパスワードとパスワード保護の変更: アプリロック画面で  をタップし、**パスワードを変更** または **パスワード保護を変更** をタップすることで、アプリロックパスワードやパスワード保護を変更できます。

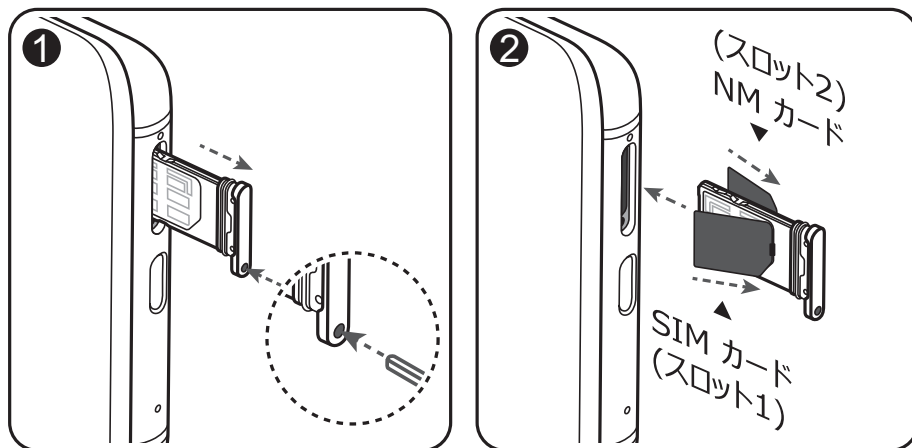
ご使用になる前に

はじめに

- 本機の電源がオンのときにSIMカードを挿入したり、取り外したりしないでください。
 - カードの向きが正しいことを確認して、カードの切り欠き部分をカードトレイの溝に合わせて挿入してください。
- SIM ピンを使用するときは、怪我をしたり、本機を傷付けないように注意してください。
 - お子様が誤って飲み込んだり、怪我をしたりしないよう、SIM ピンはお子様の手の届かない場所に保管してください。
- カットまたは改造したSIMカードやNMカード(ナノメモリカード)を使用しないでください。こうしたカードを使用すると、カードが正しく認識されない場合やカードトレイ(スロット)が損傷するおそれがあります。

以下の図の説明に従って本機をセットアップしてください。付属のSIM ピンを使用してください。

- NM カード(ナノメモリカード)はスロット2 に挿入してください。
- NM カード(ナノメモリカード)は、ソフトバンクショップ、Amazon、ファーストエースストア、量販店で購入できます。



初期設定

無線とインターネット接続

端末から簡単にWi-Fiネットワークやモバイルデータ通信などに接続できます。

Wi-Fi ネットワークへの接続

- 1 ステータスバーを下にスワイプして、通知パネルを開きます。
- 2  を長押しして、Wi-Fi設定画面を開きます。

- 3 Wi-Fiをオンにします。現在の場所で、端末で利用可能なすべてのWi-Fiネットワーク一覧が表示されます。
- 4 接続先となるWi-Fiネットワークを選択します。暗号化されたネットワークを選択した場合には、Wi-Fiパスワードの入力が必要です。

モバイルデータ通信経由での接続

-  モバイルデータ通信を使用する前に、高額なデータ通信料金の発生を避けるため、通信事業者のデータ通信プランに加入していることを確認してください。
- 1 ステータスバーを下にスワイプして、通知パネルを開きます。
 - 2  をタップして、モバイルデータ通信を有効にします。
 -  インターネット接続が不要な場合は、モバイルデータ通信を無効にしてデータ通信量を減らし、バッテリーを節約してください。

顔認証を有効にするための顔情報の登録

顔認証を使用すると、端末を顔にかざすことで端末のロックをすばやく解除できます。

-  ● 所有者以外は顔認証を有効にできません。ユーザーもゲストもこの機能は利用できません。また、PrivateSpace内でも利用できません。
 - 画面のロック解除パスワードが3日以上連続で入力されていない場合、または端末がリモートでロックされていたり、再起動された場合、顔認証は使用できません。
 - 顔認証を使用して端末のロックを解除する場合は、目を開いたまま顔を端末にまっすぐ向け、端末から20cm ～ 50cm離して顔を合わせます。顔を正確にスキャンできるように、暗い場所や顔に直射日光が当たる場所ではこの機能を使用しないでください。
- 1  **設定** を開きます。**セキュリティとプライバシー > 顔認証** に移動し、ロック画面のパスワードを入力します。
 -  ロック画面のパスワードを設定していない場合は、画面の指示に従って設定してください。顔認証が利用可能なのは、ロック解除方法が **パターン**、**6桁のPIN**、**4桁のPIN**、**カスタムPIN**、または **パスワード** に設定されている場合のみです。
 - 2 **スムーズな顔認証のために、端末持ち上げによる画面起動を有効にする** を選択した場合、端末を取り上げて顔にかざすと、端末の画面が自動的に点灯して顔が認識され、画面のロックが解除されます。この機能を使用しない場合は、このオプションの選択を解除してください。**顔を登録** をタップし、画面の指示に従って顔情報を登録します。
 - 3 顔認証の設定方法：
 - **ダイレクトロック解除**: 画面を点灯させます。端末で顔の特徴が認識され、一致すると画面のロックが解除されます。
 - **スワイプによるロック解除**: 画面を点灯させます。端末で顔情報が認識された後、指でロック画面をスワイプすると端末のロックが解除されます。
 - **スマートロック画面の通知表示**: **スライドしてロックを解除** および **スマートロック画面の通知** を有効にした場合、端末で顔の特徴が認識されるまで通知の詳細情報はロック画面に表示されません。

- **アプリロックへのアクセス:**アプリロックへのアクセス を有効にすると、顔認証機能を使用してアプリやロックされたアプリにアクセスできます。

顔認証によるロック解除

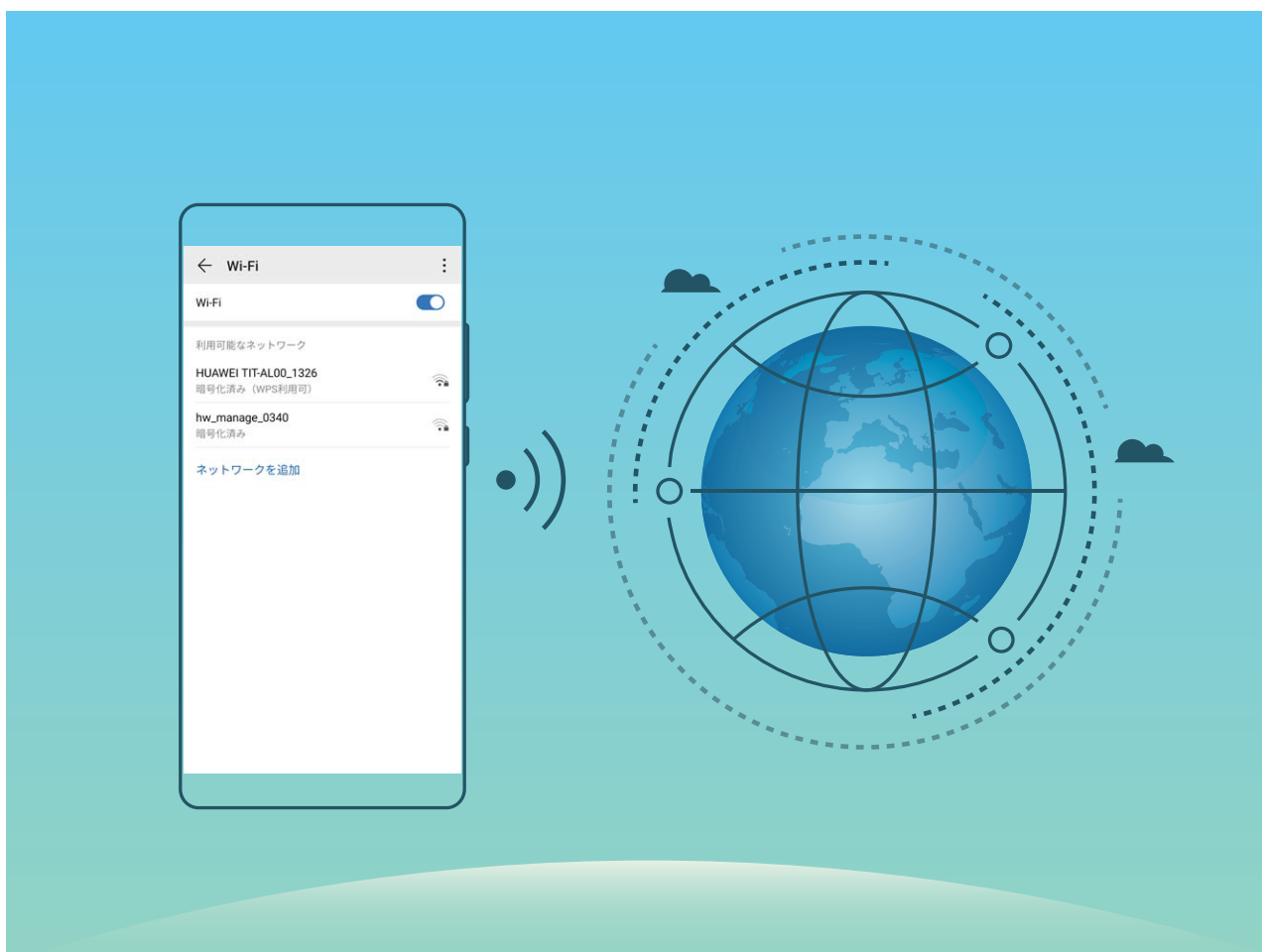
 **設定** を開いて **セキュリティとプライバシー** > **顔認証** に移動します。顔データを登録する場合、スムーズな顔認証のために、**端末持ち上げによる画面起動を有効にする** を選択し、顔認証方法を **ダイレクトロック解除** に設定します。設定が完了したら、端末を持ち上げるだけで画面のロックを解除できるため、パスワードや指紋認証が不要になります。

顔データ登録時に **スムーズな顔認証のために、端末持ち上げによる画面起動を有効にする** が選択されていない場合、後でこの機能を設定できます。 **設定** を開き、**セキュリティとプライバシー** > **顔認証** に移動して、顔認証方法を **ダイレクトロック解除** に設定します。次に、 **設定** を開いて、**スマートアシスト** > **モーションコントロール** > **持ち上げる** に移動し、**端末起動** を選択します。

Wi-Fi ネットワークを利用する

端末をWi-Fiネットワークに接続することで、モバイルデータ通信による通信量を節約することができます。

- ① 個人データや金融情報への不正アクセスなどの潜在的なセキュリティリスクを防ぐため、公衆Wi-Fiネットワークに接続するときには十分な注意が必要です。



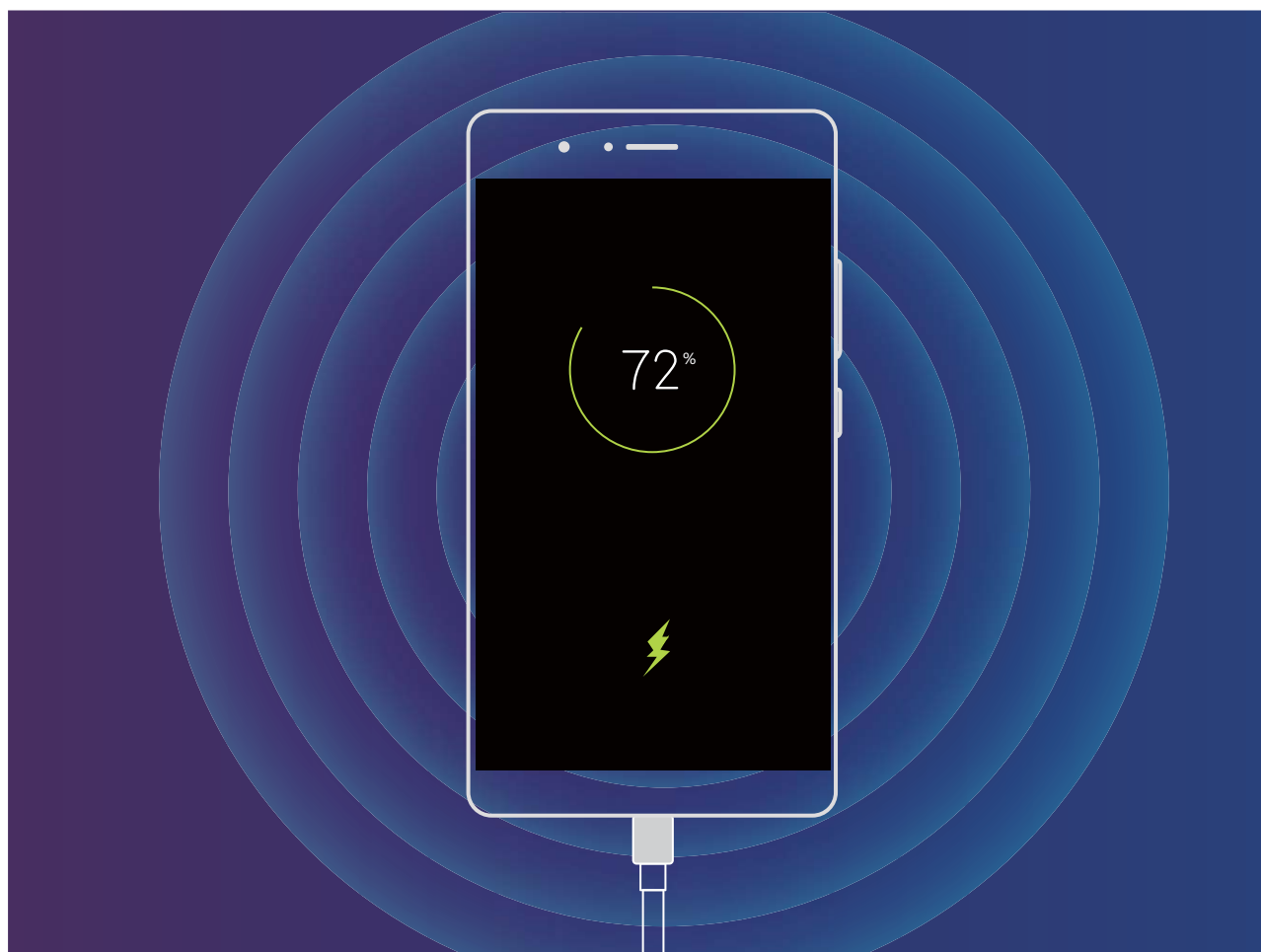
Wi-Fiネットワークへの接続:  **設定** を開き、**無線とネットワーク** > **Wi-Fi** に移動し、**Wi-Fi** を有効にします。Wi-Fiネットワークをタップしてアクセスし、ネットワークパスワードを入力するか、必要に応じて認証情報を入力します。または、メニューの一番下までスクロールし、**ネットワークを追加** をタップし、画面の指示に従ってネットワークアクセスポイントの名前とパスワードを入力し、そのポイントを追加します。

充電と給電について

HUAWEI SuperCharge: 端末のより安全な急速充電

多くのユーザーが通常の充電が遅いと感じている一方で、急速充電の安全性について心配しています。しかし、心配はご無用です。SuperChargeが全部やってくれます。SuperChargeは端末と充電器間で直接接続を確立し、端末のバッテリー電力に基づいて充電電圧と充電電流をインテリジェントに調整することで、よりスマートで安全な急速充電を実現します。

 端末を充電する際は、必ず正規の充電器とUSBケーブルを使用してください。サードパーティ製の充電器やUSBケーブルを使用すると、再起動を繰り返したり、充電時間が長くなったり、過熱したり、といった予期せぬ事態につながるおそれがあります。

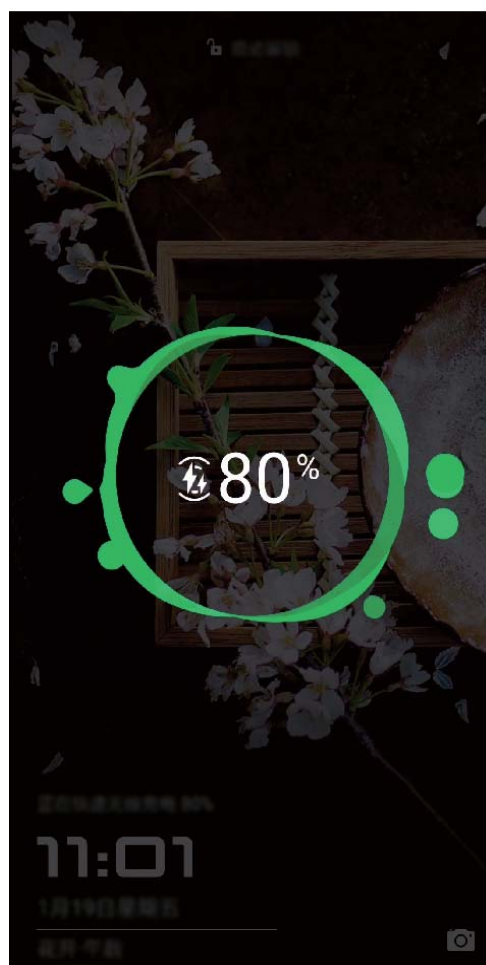
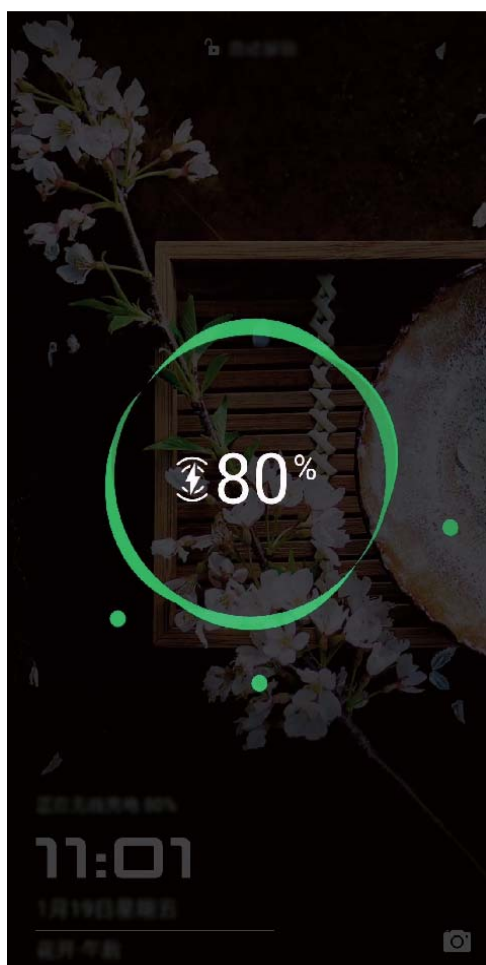


ワイヤレス充電: 簡単な新しい充電方法

ワイヤレス充電に対応した端末は、これまでよりさらにシンプルで簡単に充電できます。ワイヤレス充電に対応した端末であれば、充電器と組み合わせて使用できます。充電器は分離型のアクセサリとして、または車やホテル、家具に設置して使用することができます。充電ポートの互換性を考慮したり、コンセ

ントを探したり、スペースを確保したり、ケーブルとプラグに悩まされたりする必要がなくなり、充電がとても簡単になります。

- 本端末はワイヤレス充電のQi規格に準拠しています。
- ワイヤレス充電器は、充電プラグ、充電ケーブル、充電クレードルで構成されます。充電クレードルは端末には付属していません。ワイヤレス充電器は、ファーストエースストア、量販店、Amazonでご購入いただけます。
- ご利用の端末で利用できる充電モードは、端末付属の充電器によって異なります。ご利用の端末が急速充電に対応している場合、ワイヤレス急速充電モードを使用できます。それ以外の場合、使用できるのは通常ワイヤレス充電のみとなります。



ワイヤレス充電器の使用手順は以下のとおりです。

- 1 充電クレードルを電源につなぎます。端末付属の充電プラグとケーブル、購入したワイヤレス充電クレードルを接続します。
- 2 クレードルを水平面か、メーカー推奨の場所に置きます。
- 3 端末の画面を上にしてクレードルの上に置きます。最適なパフォーマンスにするため、端末をクレードルの中央部分か、メーカー推奨の場所に置いてください。
- 4 ワイヤレス充電器に端末を置くと数秒で充電が始まります。充電が始まると、音が鳴ります。充電が始まると、ステータスバーに (🔌) または (🔌) アイコンが表示されます。

Huaweiワイヤレス充電器の製品仕様: < 37.7 dBuA/m(10m)

ワイヤレス給電について

本端末はワイヤレス給電対応で、Qi規格に準拠したワイヤレス充電対応のデバイスに給電することができます。ワイヤレス給電を使用する場合、以下の手順に従って使用してください。

- 1 設定アイコンをタップして、**電池 > ワイヤレス給電**をタップし、**ワイヤレス給電**を有効にします。
- 2 本端末と充電対象のデバイスを背中合わせにして、両方のセンサーの位置を合わせると、ワイヤレス給電が開始します。

ワイヤレス給電を使用する場合、以下の点に注意してください。

- ワイヤレス給電を使用する前に、デバイスがワイヤレス充電対応であることを確認してください。
- より効果的に給電するために、両方のセンサーの位置をできるだけ合わせてください。
- ワイヤレス給電をONにした後、2分以内に充電対象のデバイスを置かないとワイヤレス給電がOFFになります。ご注意ください。

ジェスチャーと操作

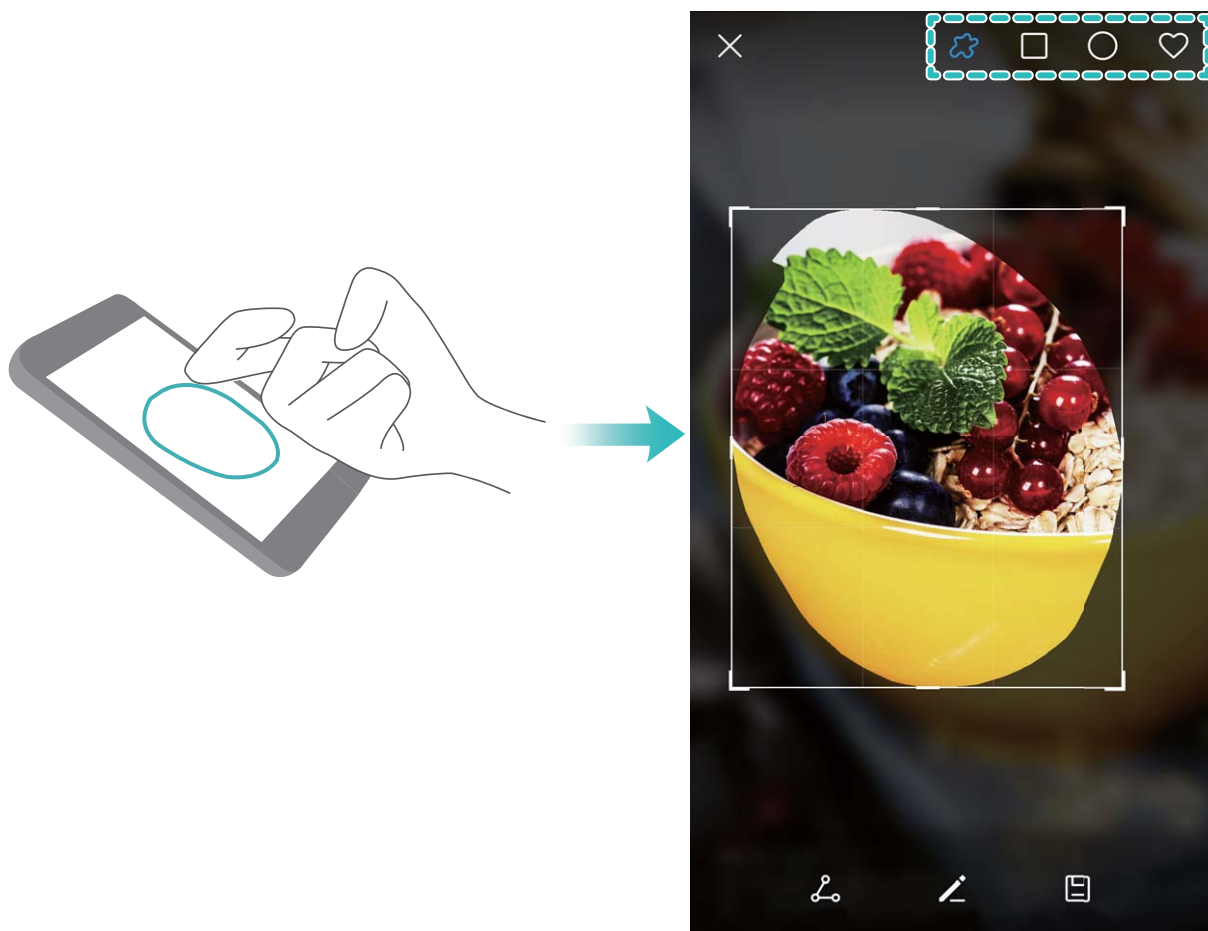
指関節を使用した端末の操作

指関節を使用すると、すばやくスクリーンショットを撮影したり、アプリを開いたり、画面分割モードに移行したりできます。

- ① ナックルジェスチャー機能を使用する前に、ナックルジェスチャースイッチがオンになっていることを確認します。この機能を有効にするには、 **設定** を開き、**スマートアシスト > モーションコントロール** に移動します。

全画面スクリーンショットの撮影: 全画面スクリーンショットを撮影するには、1つの指関節で画面を2回ノックします。

部分スクリーンショットの撮影: 1つの指関節で画面をノックして押したままにし、画面に青い印が表示されるまで待ちます。次に、スクリーンショットを撮影する領域の輪郭線を指関節で描きます。指関節を動かすと、画面に青い線が表示され、選択した領域が強調表示されます。画面から指関節を離し、選択した領域のスクリーンショットを撮影します。画面の右上にあるアイコンをタップすると、スクリーンショットの形を変更できます。



スクロールスクリーンショットの撮影: 1つの指関節で画面をノックして押したままにし、画面に青い印が表示されるまで待ちます。次に、指関節を使用して画面上に「S」を描きます。画面が自動的にページの下までスクロールし、ページ全体のスクリーンショットが取得されます。

画面分割モードへの移行:1つの指関節で画面をノックして押したままにし、画面に青い印が表示されるまで待ってから、画面中央で指関節を水平方向にスライドすると、画面分割モードが有効になります。

スクリーンショットとスクリーン録画

画面全体のスクリーンショットの撮影

キーの組み合わせによるスクリーンショットの撮影:電源ボタンと音量ダウンボタンを同時に長押しすると、画面全体のスクリーンショットを撮影できます。

ショートカットスイッチによるスクリーンショットの撮影:ステータスバーを下にスワイプしてショートカットパネルを開いてから  をタップすると、画面全体のスクリーンショットを撮影できます。

指関節によるスクリーンショットの撮影:指関節で続けて軽く2回画面をタップすると、画面全体のスクリーンショットを撮影できます。



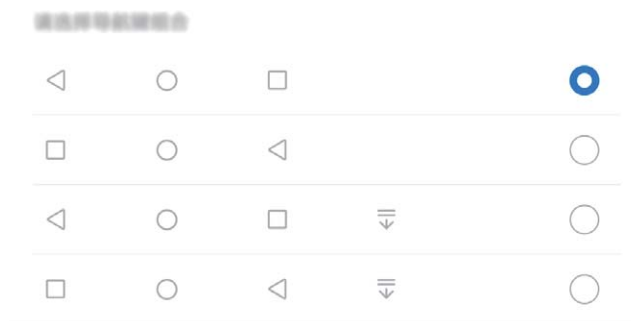
ホーム画面

ナビゲーションバー

ナビゲーションバーレイアウトの設定

ナビゲーションバーを使用すると、簡単にホーム画面にアクセスしたり、前のページに戻ったり、アプリを終了したり、最近使用したアプリを表示したりすることができます。

ナビゲーションバーレイアウトを設定するには、 **設定** に移動してから **システム > システムナビゲーション > 3つのキーによるナビゲーション > 設定** に移動し、ナビゲーションキーの組み合わせを選択した後に使用頻度に応じて **ナビゲーションキーを非表示** を有効／無効にします。



-  **戻るキー**: タップすると前のページに戻るか、アプリを終了します。テキスト入力中にタップすると、画面のキーボードが閉じます。
-  **ホームキー**: タップすると、ホーム画面に戻ります。長押しすると、Googleアシスタント機能が起動します。
-  **履歴キー**: タップすると最近使用したアプリの一覧が表示されます。長押しすると、画面分割モードが有効になります。
-  **下方スワイプ通知キー**: タップすると通知パネルが開きます。

履歴キーを使用したバックグラウンドアプリの管理

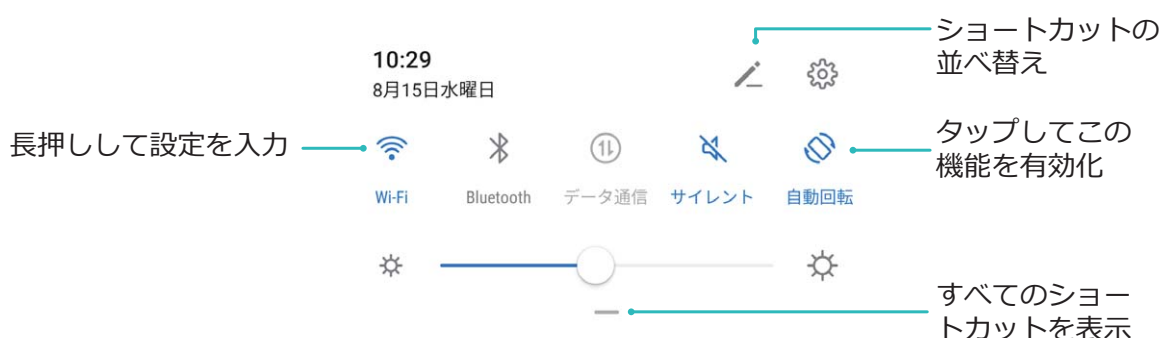
最近使用したアプリに簡単に切り替えたい場合、履歴キーを使用してみてください。履歴キーを使用すると、最近使用したアプリにすぐに切り替えることができます。このキーを使ってバックグラウンドアプリを閉じ、端末の動作速度を上げることもできます。

-  をタップします。最近使用したバックグラウンドアプリの表示、切り替え、終了、ロックができます。
- **最近使用したアプリの表示**: 最近使用したアプリが画面に表示され、左右にスワイプして確認できます。

- **最近使用したアプリへの切り替え**: 画面を左右にスワイプして使用したいアプリを見つけ、アプリタブをタップします。
- **アプリの終了**: アプリタブを上からスワイプすると、該当するアプリが終了します。
- **すべてのアプリの終了**:  をタップするとすべてのアプリを終了できます。

ショートカットスイッチを使用してよく使う機能を素早く有効化

モバイルデータ通信またはWi-Fiを素早く有効／無効にしたい場合があります。ステータスバーを下にスワイプしてショートカットパネルを開き、該当のショートカットスイッチをタップすると、該当する機能を有効／無効にできます。スイッチアイコンを長押しすると、該当する機能の設定ページに移動できます。



通知パネルとステータスバー

通知アイコンとステータスアイコンについて

ステータスバー（端末画面最上部）のアイコンを見ると、ネットワーク接続、電池残量、端末がサイレントモードのときに受信した新しいメッセージなど、端末の全体的なステータスをすぐに確認できます。

ステータスアイコン: ステータスのアイコンをチェックすると、ネットワーク接続、電波強度、電池残量、時刻といった端末の状態をすぐに確認できます。

 ネットワーク状態を示すアイコンは、地域やサービスプロバイダーによって異なる場合があります。

	電波強度		電波なし
4G	4G通信	3G	3G通信
H⁺	HSPA+通信	H	HSPA通信
LTE	LTE通信		NFC有効
R	ローミング		機内モード有効
	VoLTE有効		Wi-Fiネットワーク接続
	Wi-Fiネットワーク利用可		GPSから位置情報を受信中

	Bluetooth有効		サイレントモード有効
	満充電		充電
	バイブモード有効		電池残量わずか
	アラーム有効		SIMカードなし
	ヘッドセット接続		

通知アイコン:新しいメッセージがある場合、端末の通知やリマインダー、関連アイコンがステータスバーに表示されます。

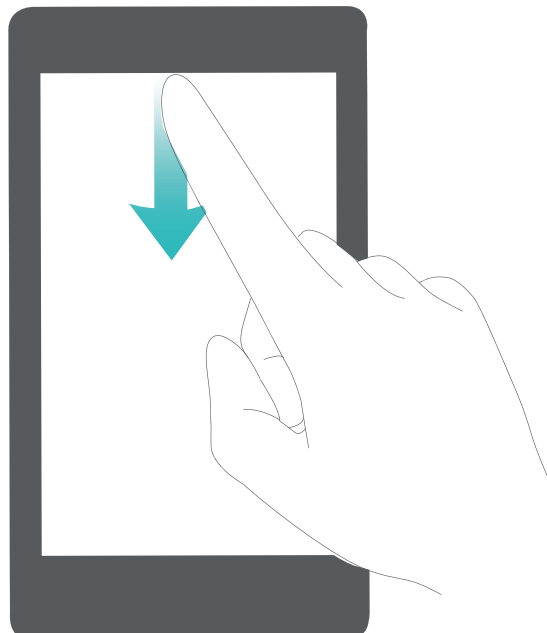
	不在着信		新規メール
	データのダウンロード中		新着ボイスメール
	今後の予定		データのアップロード中
	データの同期中		端末メモリ空き容量なし
	ログインまたは同期で問題が発生		同期失敗
	VPNへの接続		その他の通知

通知パネルを開いて重要な情報を確認

重要な通知は見落とさず確認したいものです。端末のステータスバーから、リアルタイムの通知情報と端末の動作状態を表示できます。

通知リマインダーがある場合、画面を点灯してステータスバーを下にスワイプすると、通知を表示できます。通知とステータスバーの設定にアクセスするには、以下の操作を実行します。

画面のロックが解除されているときに通知パネルにアクセスする:ステータスバーを下にスワイプして、通知パネルを開きます。ショートカットスイッチはアイコンをタップすることでオン／オフを切り替えることができます。また、通知をタップすれば詳細を表示することができます。



通知とステータスバーに表示する通知の数を設定したり、通知を非表示にしたい場合は、 **設定** をタップし、**通知** > **その他の通知設定** > **通知方法** に移動します。次に、必要に応じて **件数** または **なし** を選択します。

アプリのわずらわしい通知の無効化

アプリの通知が多すぎると、わずらわしく感じる場合があります。アプリの通知を無効にすることで快適に使用できます。

 **設定** を開いて **通知** に移動します。以下の操作を行うことができます。

- **すべてのアプリでプッシュ通知を無効にする**: **一括管理** をタップし、**すべて** を無効にします。

通知のカスタマイズ

デフォルトの通知リマインダーが気に入らないこともあるでしょう。通知リマインダーをカスタマイズして、通知を好みの方法で受け取ることができます。

 **設定** を開き、**通知** > **その他の通知設定** に移動します。ここから、以下の操作を行うことができます。

- **通知による画面点灯の有効化**: **通知で画面を点灯** を有効にします。端末画面が消灯状態の場合、通知を受け取ると画面が点灯します。
- **パルス通知ランプの設定**: **LED通知** をオンに切り替えると、新しい通知を受け取るたびに通知ランプが点滅します。
- **通知方法の設定**: **通知方法** をタップします。好みに応じて **アイコン**、**件数** または **なし** を選択できます。

画面ロックとロック解除

ロック画面パスワードによるプライバシー保護

端末には、プライベートな写真、連絡先情報、Alipayのようなバンキングアプリなど、保護する必要がある情報が多数保存されています。ロック画面パスワードを設定することで、端末のロックを解除するたびにパスワードが要求されます。ロック画面パスワードにより、端末を紛失してしまった場合や、不正なユーザーがアクセスした場合でも、個人情報を保護できます。

ロック画面パスワードの設定:  **設定** を開いて **セキュリティとプライバシー** > **ロック画面のパスワード** に移動し、ロック画面パスワードのいずれかのタイプを設定します。

- **PINの設定:** PIN番号は、一連の数字で、初期設定は、6桁のPIN番号です。PIN入力による端末のロック解除は、簡単かつシンプルです。安全性を高めるには、長いランダムな数字の組み合わせをPINとして使用します。**ロック画面のパスワードを設定** に移動して、画面の指示に従ってPINを設定します。または、**ロック解除方法を変更** をタップして **4桁のPIN** または **カスタムPIN** を設定します。
- **パターンの設定:** 事前に設定したパターンを画面に描くことで端末のロックを解除します。安全性を高めるには、重複する線を含むパターンを使用します。**ロック画面のパスワードを設定** > **ロック解除方法を変更** > **パターン** に移動し、同じパターンを2回描きます。4つ以上の点を結ぶパターンにする必要があります。
- **パスワードの設定:** 数字、文字、特殊文字からなるパスワードは、PINやパターンよりも安全です。安全性を高めるには、数字、文字、特殊文字を含む8文字以上のパスワードを使用してください。パスワードを忘れると、端末のロックが解除できなくなるため、パスワードを忘れないようにしてください。**ロック画面のパスワードを設定** > **ロック解除方法を変更** > **パスワード** に移動して、画面の指示に従ってパスワードを設定します。
- **スマートバンドによる端末のロック解除:** スマートバンドを使用すれば、バンドを端末から80cm以内に近づけると、画面が点灯します。画面をスワイプするとすぐに端末のロックが解除されます。**スマートロック解除** をタップし、画面の指示に従って設定を行います。
- **指紋による端末のロック解除:** ロック解除方法としてこの方法をお勧めします。指紋によるロック解除では、安全かつ簡単に端末のロックを解除できます。ロック画面パスワードの設定後に、ポップアップ表示されるダイアログボックスの **登録** をタップし、画面の指示に従って指紋を登録します。
- **セキュリティ上の理由から、ロック画面パスワードは無効にしないこと:** ロック画面パスワードにより、端末への不正なアクセスを防止できます。端末を安全に保護するため、画面ロック方法として **ロック画面のパスワードを無効化** は選択しないことをお勧めします。
- **パスワードを忘れないようにするために定期的に表示されるパスワードプロンプト:** 画面ロックパスワードを入力しない状態が3日間続くと、パスワードを入力して端末のロックを解除するように求められます。

画面をロックして端末をすぐに保護する

一定時間端末を使用しないと、画面が消灯し、ロックされます。画面が点灯している間は端末を使用でき、画面のロックを解除する必要はありません。プライバシーを保護し、誤った入力を防止するため、端末を使用していないときには画面をロックしてください。

-  **ロック画面パスワードを設定することで、プライバシーを保護できます。端末をロックする方法を次に示します。**

電源ボタンで画面を瞬時にロックする:いつでも電源ボタンを押せば画面がロックします。

ワンタップ画面ロックで画面をロックする:ホーム画面で2本の指をピンチインすると、編集画面が表示されます。**ウィジェット > 画面ロック** をタップし、ホーム画面に **画面ロック** ウィジェットを追加します。これにより、電源ボタンの劣化を軽減できます。ホーム画面編集モードを終了したら、**画面ロック** ウィジェットをタップすると画面がすぐにロックされます。画面をこの方法でロックするには、まず、**画面ロック** ウィジェットがあるホーム画面ページに切り替えます。

ホーム画面の管理

ホーム画面のアイコンの管理

アプリのアイコンが散らばってホーム画面が雑然とすることがよくあります。ホーム画面のアイコンを移動または削除することができます。また、アクセスしやすいようにアイコンをフォルダに整理することもできます。

ホーム画面のアイコンの移動:ホーム画面でアプリのアイコンを長押しし、端末が振動したらアイコンをホーム画面上の任意の位置までドラッグします。

アプリの削除:ホーム画面で、アンインストールするアプリのアイコンを長押しし、端末が振動したら**アンインストール** をタップします。画面の指示に従ってアプリを削除します。

-  **システムを正常に動作させるために、プリインストールされているシステムアプリの一部はアンインストールできないようになっています。**

フォルダの作成:ホーム画面でアプリのアイコンを長押しし、端末が振動したらアイコンを別のアイコンの上までドラッグします。2つのアイコンが新しいフォルダ内に格納されます。



フォルダの削除: フォルダを開いて **+** をタップし、すべてのアプリを選択解除してから **OK** をタップします。フォルダが自動的に削除されて、フォルダ内にあったすべてのアプリアイコンがホーム画面に移動します。

フォルダ名の変更: フォルダを開いてフォルダ名をタップし、新しい名前を入力します。

フォルダ内のアプリアイコンの追加または削除: フォルダを開いて **+** をタップし、アプリを選択または選択解除してから **OK** をタップします。選択したアプリアイコンは自動的にフォルダに追加され、選択解除したアプリはフォルダから削除されます。

- i** アプリのアイコンをフォルダから削除する別の方法として、フォルダ内の削除対象のアイコンを長押しし、端末が振動したらアイコンをホーム画面までドラッグすることでも削除できます。

ホーム画面の管理

ホーム画面にあふれるほどアイコンが増えてしまうことがあります。ホーム画面に新しいページを追加して、好きなようにカスタマイズすることができます。

ホーム画面上の何もない領域を長押しすると、ホーム画面編集モードになります。以下の操作を実行できます。

- **新しい画面ページの追加:** 新しい画面ページを追加するには、画面の左右どちらかにある **+** をタップします。
- **空の画面ページの削除:** ページを削除するには、**×** をタップします。
 - i** 画面ページ上にアプリのアイコンまたはウィジェットがある場合、そのページを削除することはできません。

- **画面ページの並べ替え**: 移動する画面ページを長押しして、該当する場所にドラッグします。
- **デフォルトのホーム画面ページの設定**: ホーム画面の上部にある  をタップすると、その画面ページがデフォルトのホーム画面ページとして設定されます。

ホーム画面の壁紙の設定

デフォルトの壁紙を変えたいことがあります。お気に入りの写真をホーム画面の壁紙として設定し、ホーム画面をカスタマイズできます。

 **設定** を開いて、**ホーム画面と壁紙** > **壁紙** に移動します。以下の操作を行うことができます。

画像をホーム画面の壁紙として設定する: ギャラリー をタップするか、またはお好みの画像を選択し、画面の指示に従って **ロック画面**、**ホーム画面**、もしくは **両方** を選択します。

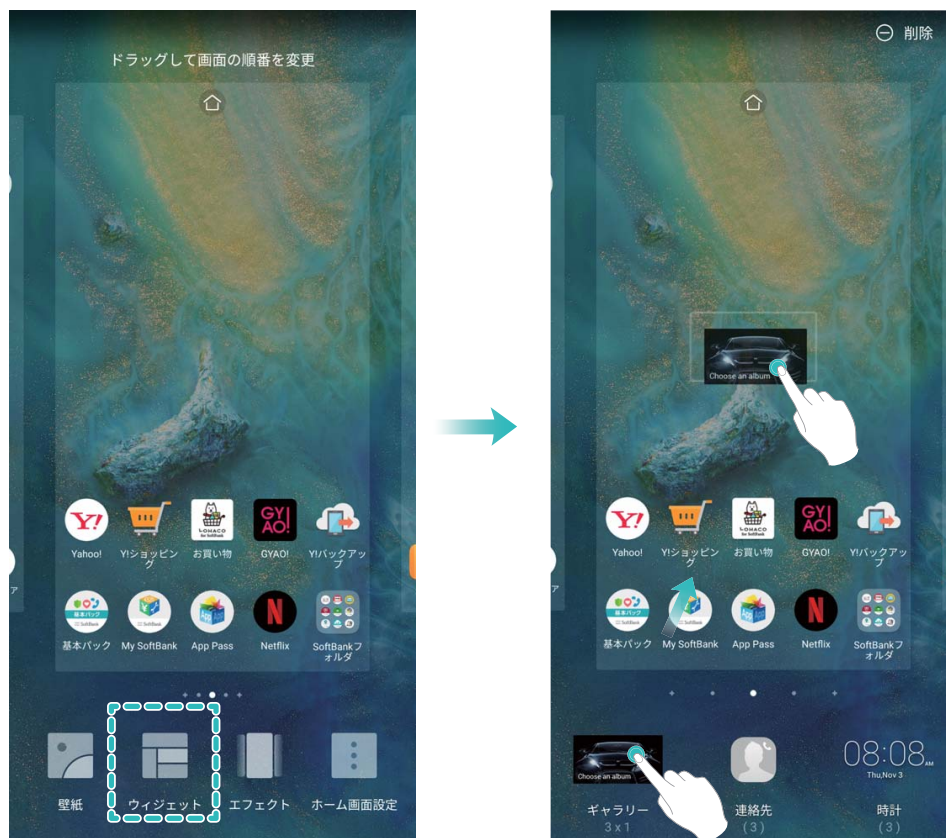
ギャラリーで写真を壁紙として設定: 素敵な写真を壁紙として設定したいときがあります。  **ギャラリー** で、お気に入りの写真を開いて、**⋮** > **登録** > **壁紙** に移動し、画面上の指示に従ってホーム画面の壁紙としてその写真を設定します。

ホーム画面のウィジェットの管理

ホーム画面でウィジェットを簡単に管理したいと思ったことはありませんか？ホーム画面のウィジェットを追加、移動、削除して、ホーム画面を整理し使いやすくなります。

ウィジェットの追加: ホーム画面上の何もない領域を長押しすると、ホーム画面編集モードになります。

ウィジェット をタップし、ウィジェットを長押ししてホーム画面上の何もない領域までドラッグするか、該当のウィジェットをタップします。



-  ホーム画面上にウィジェットを配置するための十分なスペースがあることを確認してください。スペースが足りない場合は、空の画面ページを追加するか、現在のホーム画面ページ上でウィジェットを配置できるスペースを確保してください。

ウィジェットの削除: ホーム画面上のウィジェットを長押しし、端末が振動したら、**削除** を選択します。

ウィジェットの移動: ホーム画面上のウィジェットを長押しすると、端末が振動します。ウィジェットを画面上の好きな場所にドラッグします。

アプリドロワーを使用したアプリの格納

ホーム画面上の1か所にアプリをまとめて格納して、すっきりとしたホーム画面にすることができます。ホーム画面でアプリドロワーを有効にすると、すべてのアプリをそこに格納して、ホーム画面のスペースを確保できます。

 **設定** を開き、**ホーム画面と壁紙** > **ホーム画面のスタイル** に移動し、**ドロワー** を選択します。標準のホーム画面に戻すには、**標準** を選択します。

-  **アプリドロワー内のアプリのアイコンをホーム画面に追加する:** アプリドロワーを有効にした後、ホーム画面で  をタップして、アプリリストを開きます。アプリリストで、追加するアプリのアイコンを長押しし、端末が振動したら、そのアイコンをホーム画面上の目的の位置にドラッグします。

連絡先

名刺の管理

名刺を読み取って連絡先に追加

 **連絡先** を開き、**名刺** > **名刺読み取り** に移動して、以下の操作を実行できます。

- **1枚の名刺の読み取り**: 名刺を平らな場所に置き、名刺のテキストがファインダーではっきりと読み取れるようにカメラのフォーカスを合わせてから、 をタップします。



- **複数の名刺の読み取り**: **複数** モードに切り替え、画面上の指示に従って複数の名刺を撮影します。名刺の情報は自動的に連絡先情報に変換され、端末の **名刺** に保存されます。

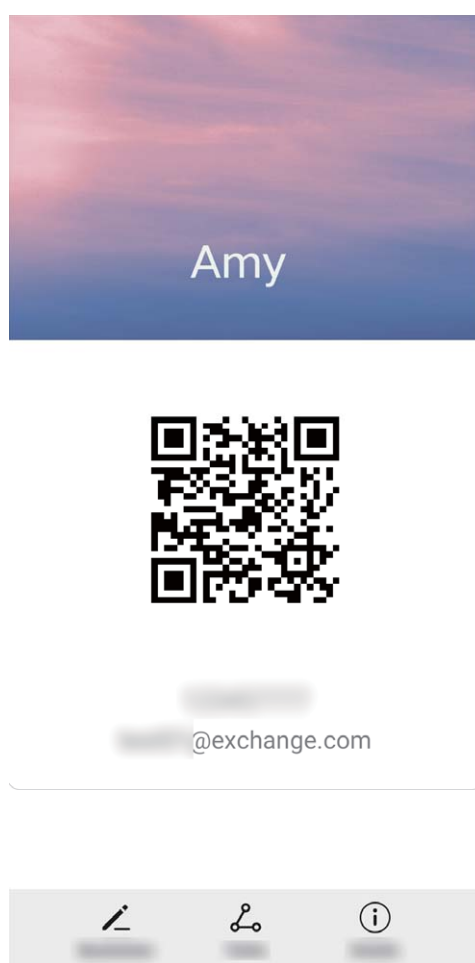
 保存した名刺を表示するには、 **連絡先** を開いて、読み取った連絡先を選択し、**詳細** に移動します。

電子名刺を使用した連絡先の共有

自分の名刺の共有:  **連絡先** を開き、**マイカード** をタップして自分のプロフィール写真を設定し、氏名、勤務先住所、電話番号などを入力します。次に  をタップすると、端末がQRコードの名刺を自動

作成します。これにより、QRコードを使用して自分の名刺を直接共有することが可能になります。また、

🔗 をタップして共有方法を選択し、画面の指示に従って共有することもできます。



連絡先の共有: 👤 **連絡先** を開いて、共有したい連絡先を選択してから右上隅のQRコードをタップし、QRコードを使用している連絡先を共有します。**共有** をタップして共有方法を選択し、画面の指示に従って共有処理を完了できます。

- 📘 相手の端末がQRコード分析に対応している場合、直接QRコードを撮影したり、読み取ったりして連絡先を追加できます。

連絡先の検索

👤 **連絡先** を開きます。連絡先リストでは、以下の方法で検索することができます。

- 📘 できる限り正確な検索結果を取得するには、端末ですべての連絡先が表示されるようにしてください。連絡先リストの画面で ⋮ > **表示設定** に移動して、**すべての連絡先** をタップします。

- 横にあるインデックスをドラッグして、リストをスクロールします。
- 連絡先リストの上部にある検索バーに、連絡先の名前、頭文字、電話番号、またはメールアドレスを入力します。検索結果は、検索バーの下に表示されます。「John London」のように複数の検索キーワードを入力することもできます。すべてのキーワードに一致する連絡先が検出されます。

- 📘 連絡先の検索時にエラーメッセージが表示された場合は、連絡先リストの画面で ⋮ > **連絡先を整理** に移動してから、**インデックスデータを構築** > **OK** をタップします。

連絡先の管理

連絡先のインポートとエクスポート

機種変更した場合、既存の連絡先を新しい端末に移行する必要があります。

 **連絡先** を開いて  > **インポート／エクスポート** に移動し、以下のいずれかの操作を行います。

- **連絡先のインポート**: ストレージからインポート、Bluetooth経由でインポート、または SIMカードからインポート を選択して、画面の指示に従います。
- **連絡先のエクスポート**: ストレージにエクスポート、SIMカードにエクスポート、または **連絡先の共有** を選択して、画面の指示に従います。デフォルトでは、**ストレージにエクスポート** を選択してエクスポートされた .vcf ファイルは、端末内部ストレージのルートディレクトリに保存されます。**ファイル** を開いて、エクスポートされたファイルを表示できます。

連絡先の管理

連絡先アプリでは、さまざまな機能を使って連絡先を管理できます。連絡先リストをシンプルにしたり、端末にある連絡先のみまたはSIMカードにある連絡先のみを表示したり、よく使う連絡先を見つけやすくすることが可能です。

重複する連絡先の統合: 連絡先リストに重複する連絡先がある場合、**重複した連絡先の統合** 機能を使って統合できます。連絡先リストで  > **連絡先を整理** > **重複した連絡先の統合** に移動し、統合する連絡先を選択してから **統合** をタップします。

アカウント別の連絡先を表示する: 端末またはSIMカードにある連絡先だけを表示するには、 > **表示設定** に移動して、連絡先を表示するアカウントを選択します。また、以下の操作を行うことができます。

- **簡易レイアウトの有効化**: 連絡先リストでプロフィールの写真、会社、役職を非表示にするには、連絡先リストの画面から  > **表示設定** に移動して、**簡易表示** を有効にします。
- **連絡先のストレージ容量の確認**: 連絡先のストレージ容量を確認するには、連絡先リストから  > **表示設定** に移動します。**アカウント** フィールドに、端末またはSIMカードで使用可能なストレージ容量とストレージの合計容量が表示されます。

連絡先をお気に入りに追加する: いつも特定の連絡先を探すことにうんざりすることがあります。よく使う連絡先にすばやく簡単にアクセスできるように、よく使う連絡先をお気に入りに追加できます。連絡先リストでお気に入りに追加するエンTRIESをタップし、**お気に入りに追加** をタップして、お気に入り画面にそのエンTRIESを追加します。

連絡先グループの管理

数名の同僚にまとめてメッセージを送信したり、連絡先のグループを作ったりする必要がありますか？スマートグループを使用すると、会社、都市、最近連絡した時間に基づいて連絡先が自動的にグループ化されるため、Eメールやメッセージを一斉送信できるようになります。

連絡先グループの作成: グループリストで  をタップして、グループ名(「家族」や「友人」など)を入力してから OK をタップします。画面の指示に従って連絡先を追加し、 をタップします。

スマートグループ連絡先にメッセージを送信する: グループリストの **スマートグループ** セクションでグループを開き、 をタップしてメッセージを送信するか、 をタップしてEメールを送信します。

グループの編集: グループリストで、編集するグループを選択してから  をタップして連絡先を追加するか、 をタップして **メンバーを削除**、**グループ着信音**、**グループの削除**、または **名前を変更** を選択します。

グループの削除: グループリストで、削除するグループを長押ししてから **削除** をタップします。

ブラックリストへの連絡先の追加

連絡先をブラックリストに追加して、それらの連絡先から迷惑電話がかかってこないようにすることができます。

 **連絡先** を開いて、ブラックリストに追加する連絡先をタップしてから、 > **ブラックリストに追加** に移動します。端末により、ブラックリストに登録されている連絡先からの着信とメッセージが自動的にブロックされます。

ブラックリストの連絡先の表示:  **端末管理** を開いて **ブロック** に移動し、**ブラックリスト** をタップしてブラックリストを表示します。

ブラックリストから連絡先を削除する:  **連絡先** を開いて、ブラックリストから削除する連絡先をタップしてから、 > **ブラックリストから削除** に移動します。

通話／メッセージ履歴の消去

プライバシーを保護するために、消去機能を使用して連絡先ごとに通話／メッセージ履歴を消去できます。

 **連絡先** を開き、連絡先を選択して  > **履歴を消去** > **消去** に移動します。該当する連絡先のすべての通話／メッセージ履歴が消去されます。

サードパーティ製アプリの連絡先を統合

連絡先情報を自分の SNS アカウントに関連付ける

端末上の各連絡先の職業は？メールアドレスは？役職は？LinkedInなどのサードパーティ製SNSアプリを使用して連絡先の詳細情報を調べることができます。

LinkedInアカウントとの関連付け:  **連絡先** を開いて  > **設定** > **LinkedInアカウントを関連付け** に移動し、画面の指示に従ってLinkedInアカウントにログインします。ログイン後、ご利用の端末にある連絡先情報が自動的に更新されます。すべてのLinkedIn連絡先情報を同期させるには、LinkedIn設定画面の **連絡先** から **LinkedIn連絡先の同期** > **すべてのLinkedInの連絡先** に移動して、**同期** または **LinkedInの自動更新** を選択します。

LinkedInの連絡先情報を表示する: LinkedInの連絡先を1つ開いて、オンラインでLinkedInのプロフィールを表示します をタップします。

LinkedIn連絡先の関連付けを解除する:  > 連絡先 >  > 設定 > LinkedIn に移動して、関連付け解除 を選択します。

電話

基本的な通話機能

発信

ダイヤル画面で、電話番号の一部を入力するか、連絡先の名前の最初の文字を入力します。端末が該当する連絡先を自動的に検索します。

 **電話** を開きます。ダイヤル画面で、電話番号を入力するか、連絡先の名前の最初の文字を入力します。端末で連絡先と通話履歴から該当する番号が自動的に検索されます。検索結果一覧から、電話をかける連絡先をタップします。連絡先のステータス(呼び出し中または転送が有効であるかどうかなど)を、画面上で確認できます。通話を終了するには、 をタップします。

 電話をかける番号をコピーしてからダイヤル画面を開き、 をタップし貼り付けを選択するとその番号で発信することができます。

電源ボタンを押して通話を終了する: 間違った電話番号にかけて、素早く通話を取り消したいと思うことはありませんか? こうした場合のために、**電源ボタンで通話を終了** を設定することができます。電話画面で  > **設定** > **その他** に移動し、**電源ボタンで通話を終了** を有効にすると、電源ボタンを押すだけですばやく通話を終了できるようになります。

緊急通報

緊急時には、画面がロックされている場合でも、端末の電源が入っていて圏内にいれば、緊急通報を行うことができます。

 緊急通報が利用できるかどうかは、現地の法規制やインターネットサービスプロバイダによって異なります。ネットワークの問題や、通信環境で障害が発生したりすると、緊急通報できない場合があります。緊急時の重要な通信は、端末だけに頼らないようにしてください。

 日本国内では、音声通話(IP 電話を除く)対応の SIM カードを取り付けていない場合や、PIN コードの入力画面、PIN コードロック・PUK ロック中には、緊急通報 110 番、119 番、118 番に発信できません。

 **電話** を開くか、ロック画面で **緊急通報** をタップして、自分の所在地の緊急番号を入力画面で入力し、 をタップします。電波状況が良好な場所で、端末がインターネットに接続されていて、位置情報サービスが有効になっている場合は、端末側で自動的に現在地を取得して画面に表示します。

通話保留を有効にして重要な着信を受ける

通話中でも他の電話を受けられるようにしたいと思いませんか? 通話保留機能を使用すると、新しい着信に応答した後、2つの通話を切り替えることができます。

 **電話** を開いて  > **設定** > **その他** に移動し、**割込通話** を有効にします。通話中に別の着信があったら、 をタップして応答し、最初の通話を保留中にします。通話を切り替えるには、 をタップするか、通話リストで保留中の通話をタップします。

着信転送による不在着信の回避

電話に出れない場合、着信を別の番号に転送できます。

 一部の通信事業者では、この機能に対応していない場合があります。

 電話を開いて  > **設定** > **着信転送** に移動します。着信の転送先の番号を入力し、その番号を確認します。端末で着信転送が有効になっている場合、着信は事前に設定された番号に自動的に転送されます。

通話履歴の削除

不要になった通話履歴は削除できます。

 電話を開き、 をタップしてダイヤルパッドを非表示にします。次のいずれかの操作を行うことができます。

- **1つの記録の削除**: エントリを長押ししてから、**履歴の削除** をタップします。
- **複数の記録の削除**:  > **複数の連絡先を削除** に移動し、削除するエントリまたは **すべて選択** を選択し、 をタップします。

ボイスメールの有効化

端末の電源が切れているときに重要な電話を取れないことが心配になりませんか？ボイスメールは発信者からのリアルタイムのメッセージを記録できるため、重要な電話を取り損ねることを心配する必要がなくなります。

 ボイスメールは、通信事業者側で対応している必要があります。ボイスメールサービスが有効になっていることを確認してください。ご利用の通信事業者に連絡して、ボイスメール番号、サービスの詳細、料金に関する情報を入手してください。

ボイスメールの有効化:  電話を開いて  > **設定** に移動し、**その他** をタップします。続いて **ボイスメール** > **ボイスメールの番号** に移動して、通信事業者から提供されたボイスメール番号を入力します。

ボイスメールメッセージの確認: 入力画面で 1 を長押ししてボイスメールを呼び出し、メッセージを聞きます。

国際ローミングを有効にして国際通話を行う

出張や休暇で海外にいるときは、端末でローミングが有効になっていれば、国番号をダイヤルせずに電話をかけることができます。

 この機能の利用には、通信事業者側でこの機能に対応している必要があります。SIMカードに対してローミングまたは国際ローミングが有効になっていることを確認してください。詳細については、ご利用の通信事業者にお問い合わせください。

 電話 または  **連絡先** を開いて電話をかけます。

VoLTE

VoLTE: 通話とデータ通信を同時に実行

VoLTE (Voice over LTE) では、通話とデータ通信サービスの両方を同じ4Gネットワーク上で実現できるため、通話中でもインターネットを使用できます。また、VoLTEにより通話確立までの時間が短縮し、より高品質の音声およびビデオ通話を利用できます。

ご利用の端末のSIMカードスロットは4G、VoLTEに対応しています。

- **4G:** ご利用の端末のSIMカードスロットは4Gに対応しています。
- **VoLTE:** ご利用の端末のSIMカードスロットはVoLTEに対応しているため、HD通話(高品質通話)をしながらインターネットを使用できます。

VoLTE を有効にして HD 通話を楽しむ

 **設定** を開いて **無線とネットワーク** > **モバイルネットワーク** に移動します。SIMカード(ご利用の通信事業者のネットワークで対応している場合)の設定エリアで、以下の操作を実行できます。

- **4Gの有効化:** 4G を有効にします。通信事業者によるカスタマイズ設定によっては、端末に **4G** スイッチがない場合があります。これは、4Gがすでに有効になっており、手動でオンにする必要がないことを示しています。
- **VoLTE通話の有効化:** VoLTE通話 を有効にします。

+メッセージ

+メッセージについて

データ移行について

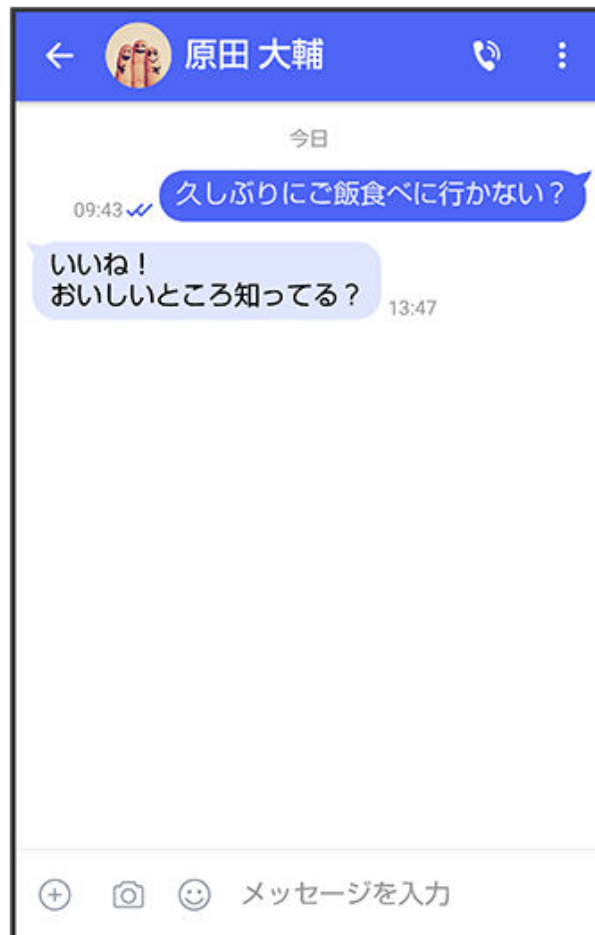
データ移行について、詳しくは「[+メッセージ 使い方ガイド](#)」を参照してください。

+メッセージ利用時の操作

- ヘルプを確認する:ホーム画面で  (+メッセージ)    マイページ  ヘルプ
- 利用規約／プライバシーポリシー／著作権情報を確認する:ホーム画面で  (+メッセージ)  
 マイページ  +メッセージについて  利用規約／プライバシーポリシー／著作権情報

+メッセージでできること

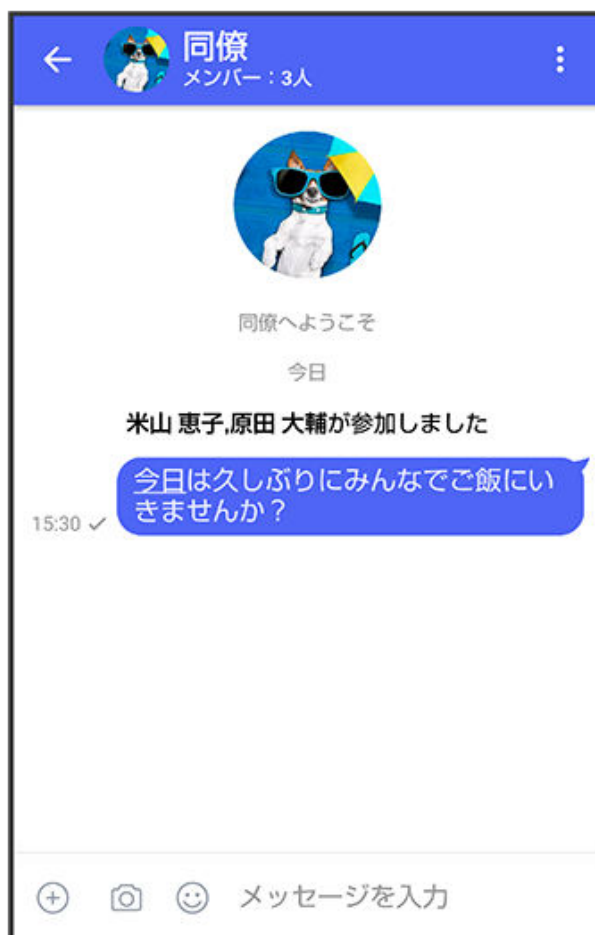
- 1  (+メッセージ)は電話番号を知っている相手とメッセージのやりとりができるアプリです。



- 2 写真や動画はもちろん、スタンプや現在地の情報を送受信することもできます。



3 複数の相手とメッセージのやり取りができるグループメッセージ機能も利用できます。



4 フォルダ形式の表示で利用することもできます。



メッセージの種類

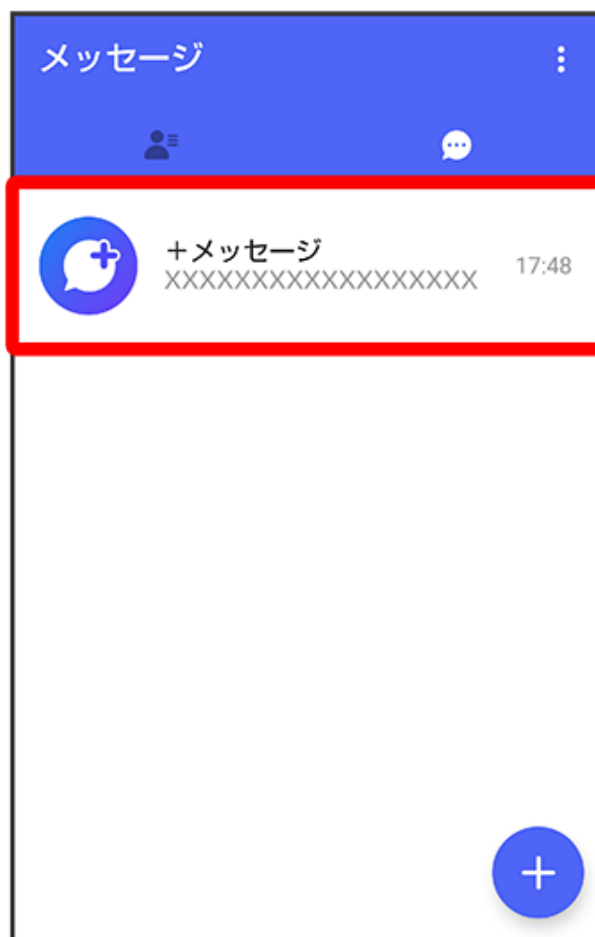
 (+メッセージ)では、3種類のメッセージを送受信できます。利用できるメッセージの種類は次のとおりです。

項目	説明
＋メッセージ	携帯電話の電話番号を宛先として、本アプリを利用している端末とメッセージの送受信ができます。画像や動画のほか、スタンプや位置情報などを送信することができます。最大全角2730文字まで送受信可能です。
SMS	携帯電話の電話番号を宛先として、短いメッセージ(全角70文字まで)の送受信ができます。
S!メール	ソフトバンク携帯電話(S!メール対応端末)のほか、他社の携帯電話、パソコンなどのeメール対応端末とも送受信できるメールです。SMSより長いメッセージ、画像や動画などを添付して送信することができます。

＋メッセージからのお知らせについて

初回起動時の設定をすると「＋メッセージ」からメッセージが送信されます。

- 「＋メッセージ」ではサービスのメンテナンス情報等が配信されます。
- 「＋メッセージからのお知らせ」はブロックや返信はできません。



+メッセージ利用の準備を行う

👤 (+メッセージ)をはじめて起動したときは、👤 (+メッセージ)についての説明画面や利用規約が表示されます。画面に従い、👤 (+メッセージ)を利用するための許可の設定や利用規約への同意、プロフィールの設定を行います。また、パスコードの設定等、快適にご利用いただくための設定を行います。

初回起動時の設定を行う

Wi-FiをOFFにしてから操作してください。

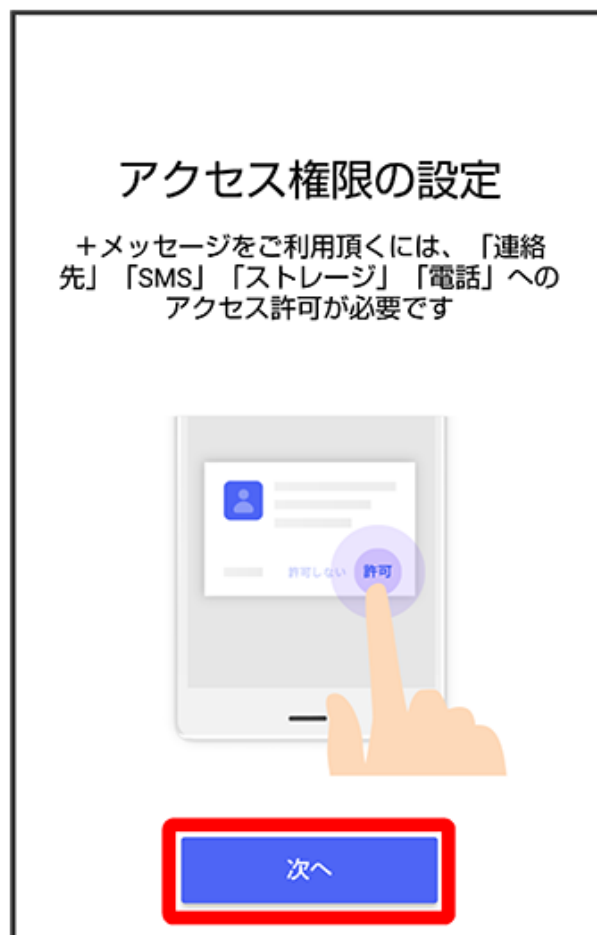
- 1 ホーム画面で 👤 (+メッセージ)



2 次へ



3 次へ



- 4 設定画面に従って操作します
- 5 設定が完了すると画面が自動的に切り替わります



6 すべて同意する

利用規約

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXX

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXX

XXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

SMS/S!メール
のみ利用

すべて
同意する

i SMS／S!メールのみ利用をタップした場合は、SMS／S!メールのみの利用となり、+メッセージは利用できません。

7 画面を左にフリック



i スキップをタップすると手順11に進みます。

8 画面を左にフリック



 スキップをタップすると手順11に進みます。

9 画面を左にフリック



 スキップをタップすると手順11に進みます。

10 画面を左にフリック



i スキップをタップすると手順11に進みます。

11 プロフィール(名前／ひとこと／位置情報)を設定



- i** 設定せずにOKをタップして、あとで設定することもできます。詳しくは「[プロフィールを編集する](#)」を参照してください。

12 OK

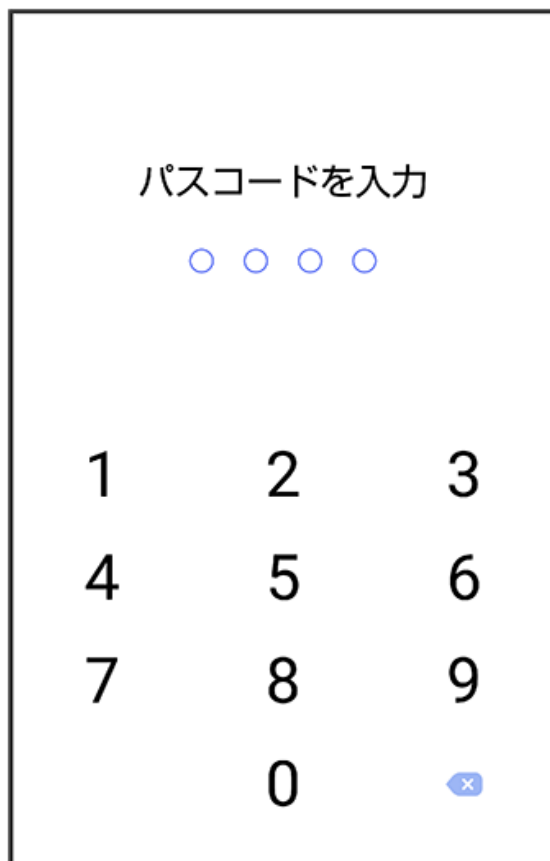


- i** 初回起動の設定が完了します。

- (+メッセージ) / (SoftBankメール) のバックアップデータが本体 / SoftBankサーバー内にあるときは、復元の画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

パスコードを設定する

パスコードを設定すると、 (+メッセージ) を開く際にパスコードの入力が必要になります。



1 ホーム画面で (+メッセージ)



2



3 マイページ



4 設定



5 プライバシー



6 パスコードを設定

← プライバシー

パスコードを設定
アプリ起動時にパスコード入力が必要になります。
パスコードを忘れた場合、再度インストールし直す
必要があります。その場合メッセージがすべて削除
されます。

メッセージの既読機能
既読機能をオフにすると、メッセージを
読んだことをお互いに確認できなくな
ります ☒

ブロックリスト

ブロックメッセージ

My SoftBankへ移動
My SoftBank(Webページ)から、メールアドレスの変
更や迷惑メールフィルターの設定が行えます。

7 パスコードを入力

← パスコード設定

新しいパスコードを入力

○ ○ ○ ○

1

2

3

4

5

6

7

8

9

0

✕

8 パスコードを再度入力

← パスワード設定

パスワードを再入力

○ ○ ○ ○

1 2 3

4 5 6

7 8 9

0 

9 通知時にメッセージの内容を表示するかどうかを設定

← パスワード設定

パスワードを再入力

プライバシー設定の追加

通知時のメッセージ内容表示をオフにしますか？

☐ 以後、表示しない

閉じる はい

7 8 9

0 

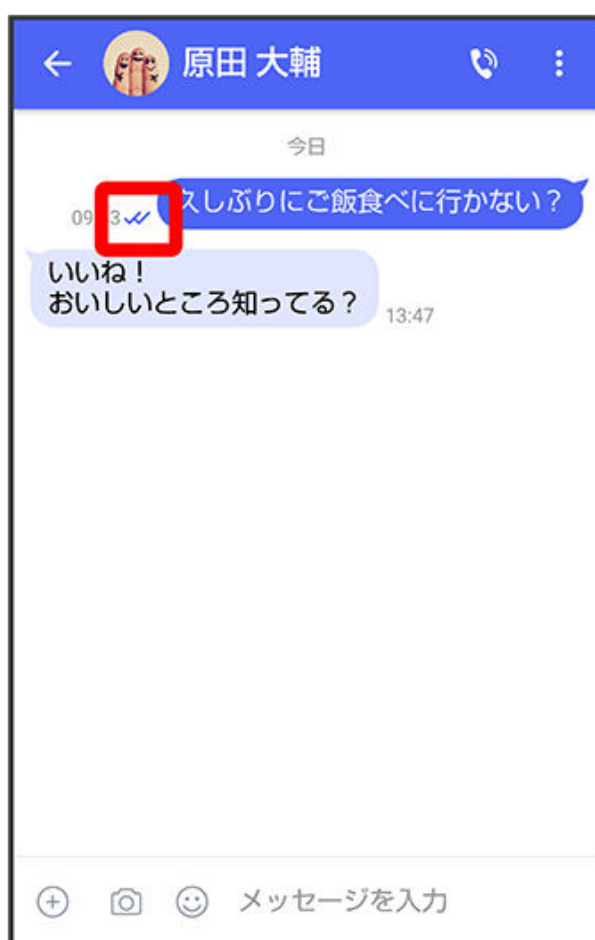
 パスコードが設定されます。

- パスコードの設定を解除するホーム画面で  (+メッセージ)  パスコードを入力   マイページ  設定  プライバシー  パスコード設定を解除

既読を通知する設定を変更する

初期設定では、受信した+メッセージを確認すると、相手の画面に表示されるアイコンが  (配信済み) から  (既読) に変わり、メッセージの既読を相手に通知します。受信したメッセージを確認しても  のままにし、既読であることを相手に通知しない設定に変更することもできます。

- 既読であることを相手に通知しない設定に変更すると、送信したメッセージを相手が既読にしたことも通知されなくなります。



- 1 ランチャー画面で  (+メッセージ)



2



3 マイページ



4 設定



5 プライバシー



6 メッセージの既読機能



 既読を通知する設定が変更されます。

タップするたびに、有効()／無効()が切り替わります。

不明な差出人からのメッセージを振り分ける設定を変更する

連絡先に登録していない差出人からのメッセージを、連絡先に登録している差出人からのメッセージと分けて表示するかどうかを設定します。

設定を有効にすると、連絡先に登録していない差出人からのメッセージは通知されなくなります。



1 ホーム画面で  (+メッセージ)



2



3 マイページ



4 設定



5 メッセージ



6 連絡先未登録者をフィルタリング



 不明な差出人からのメッセージを振り分ける設定が変更されます。

タップするたびに、有効()／無効()が切り替わります。

データを移行する

機種変更する際、これまでお使いの機種でメッセージをバックアップし、新たな機種で復元することで、メッセージの履歴を引き継ぐことができます。

詳しい手順は、「[+メッセージ 使い方ガイド](#)」をご覧ください。

連絡先を利用する

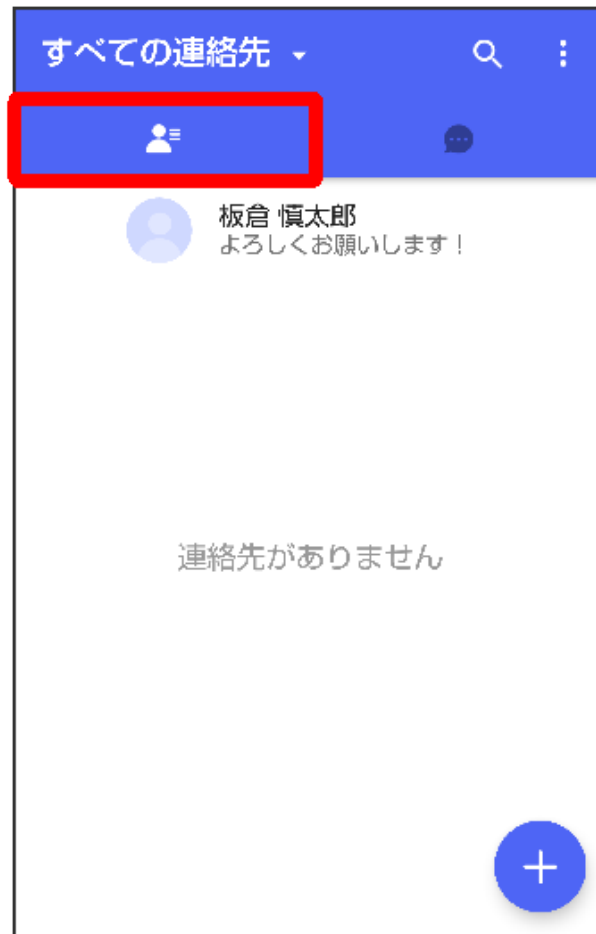
 (+メッセージ)の連絡先は、本体に保存されている連絡先と連動しています。 (+メッセージ)で連絡先を追加すると、本体にも連絡先が保存されます。+メッセージを送受信できる連絡先は自動で認識され、 が表示されます。

プロフィールを確認する

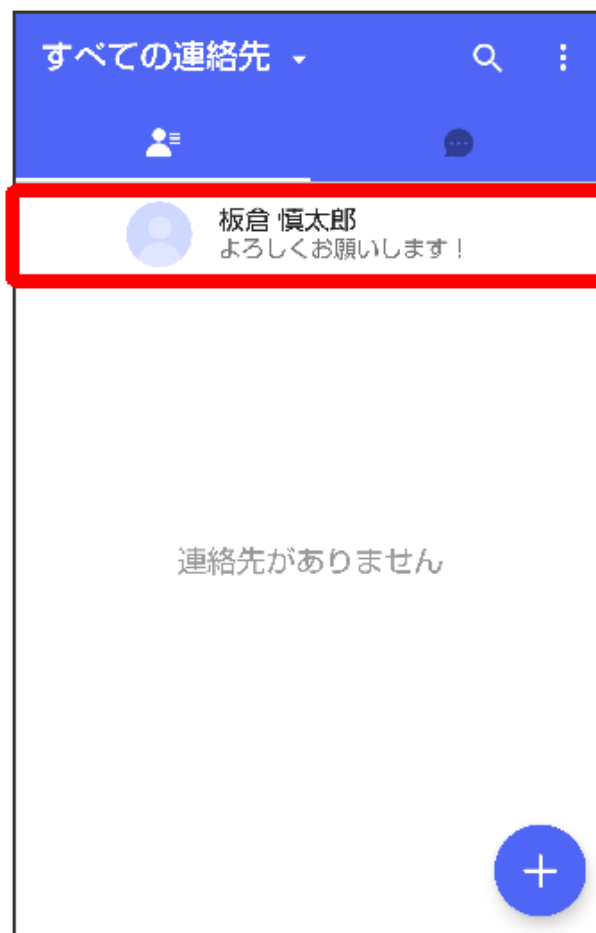
1 ホーム画面で  (+メッセージ)



2 



3 プロフィールをタップ



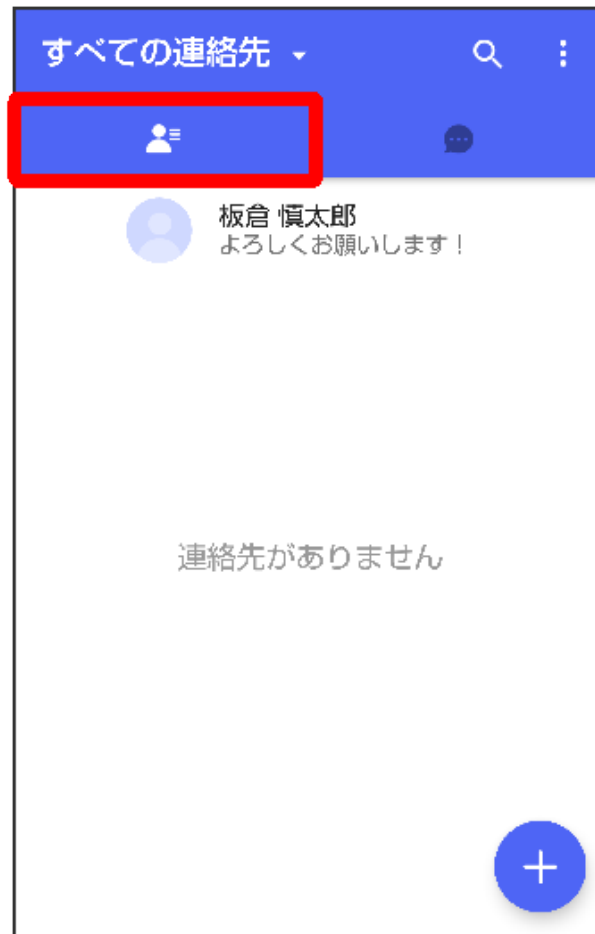
- プロフィール画面が表示されます。

プロフィールを編集する

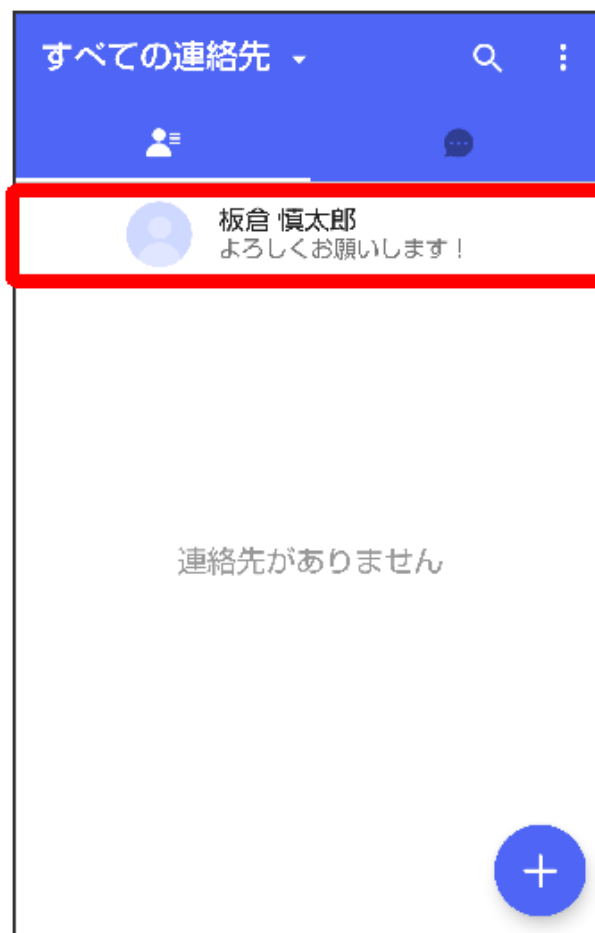
1 ランチャー画面で (+メッセージ)



2



3 プロフィールをタップ



4 各項目を編集 ➡ OK



-  • プロフィールの編集が完了します。

プロフィール画面の見かた



- | | |
|---|--------------|
| ① | プロフィール画像 |
| ② | プロフィール画像編集 |
| ③ | 名前／名前編集 |
| ④ | ひとこと／ひとこと編集 |
| ⑤ | 位置情報／位置情報編集 |
| ⑥ | プロフィール公開情報設定 |

連絡先を検索する

- 1 ランチャー画面で  (+メッセージ)



2 



3 

4 検索するキーワードを入力



i 検索結果が表示されます。

連絡先を QR コードで追加する

1 ホーム画面で  (+メッセージ)



2 



3 +



4 QRコードで追加

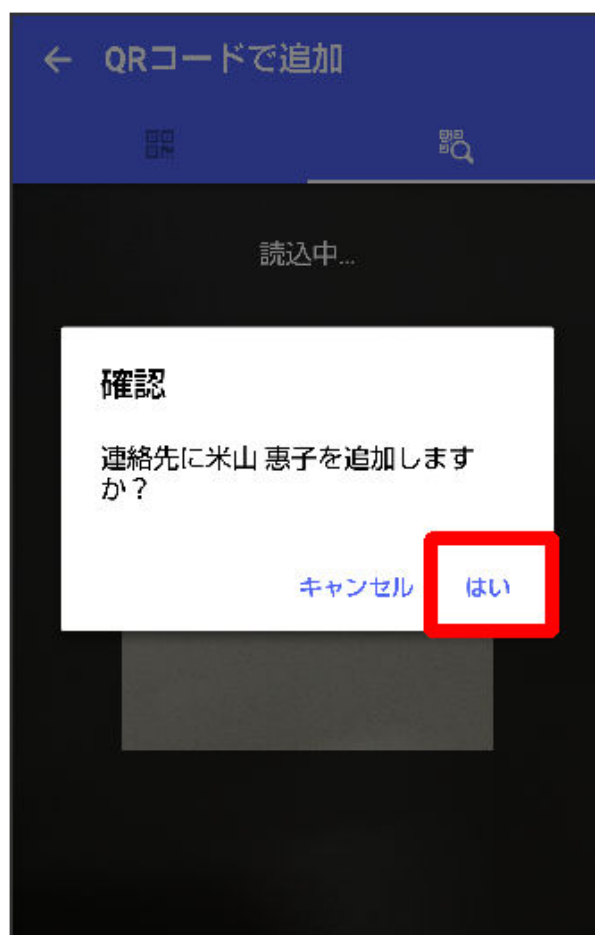


- 新しい連絡先をタップすると、連絡先が開き、連絡先を作成することができます。

5 相手機器でQRコードを表示 ➡ QRコードを画面中央に表示



6 はい



i 連絡先が追加されます。

- 自分のQRコードを表示する:ホーム画面で  (+メッセージ)    マイページ  QRコード

連絡先ごとに通知音を変更する

1 ホーム画面で  (+メッセージ)



2 

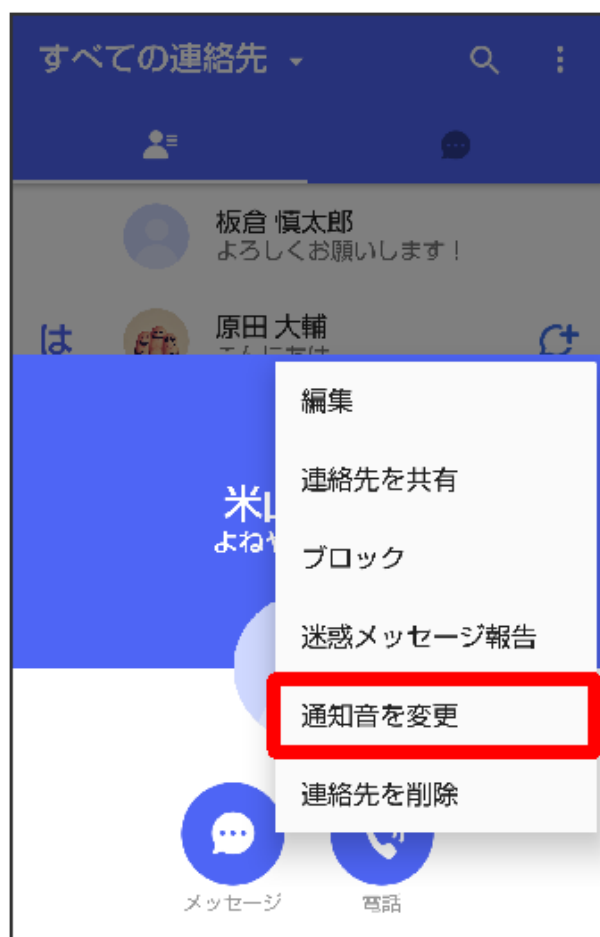


3 通知音を変更する連絡先をタップ



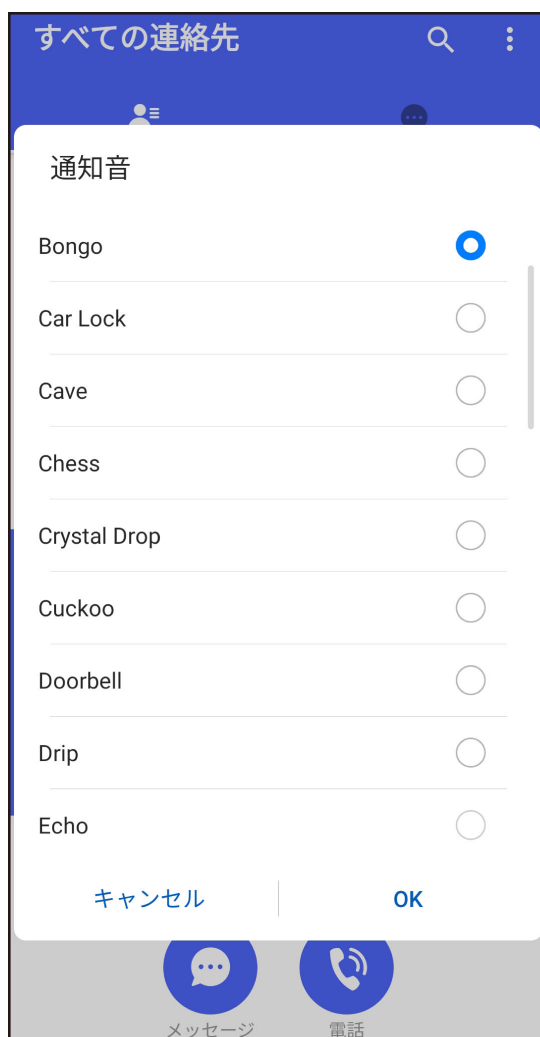


5 通知音を変更



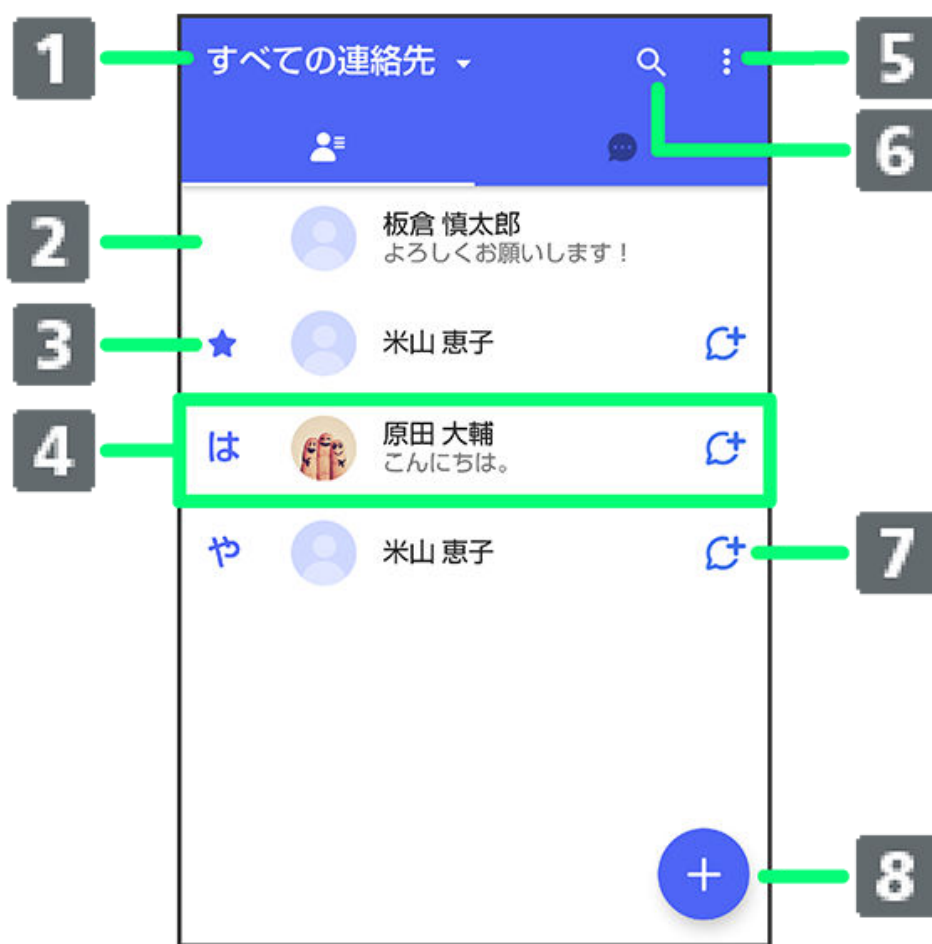
 確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

6 通知音をタップ ➡ OK



通知音の変更が完了します。

連絡先一覧画面の見かた



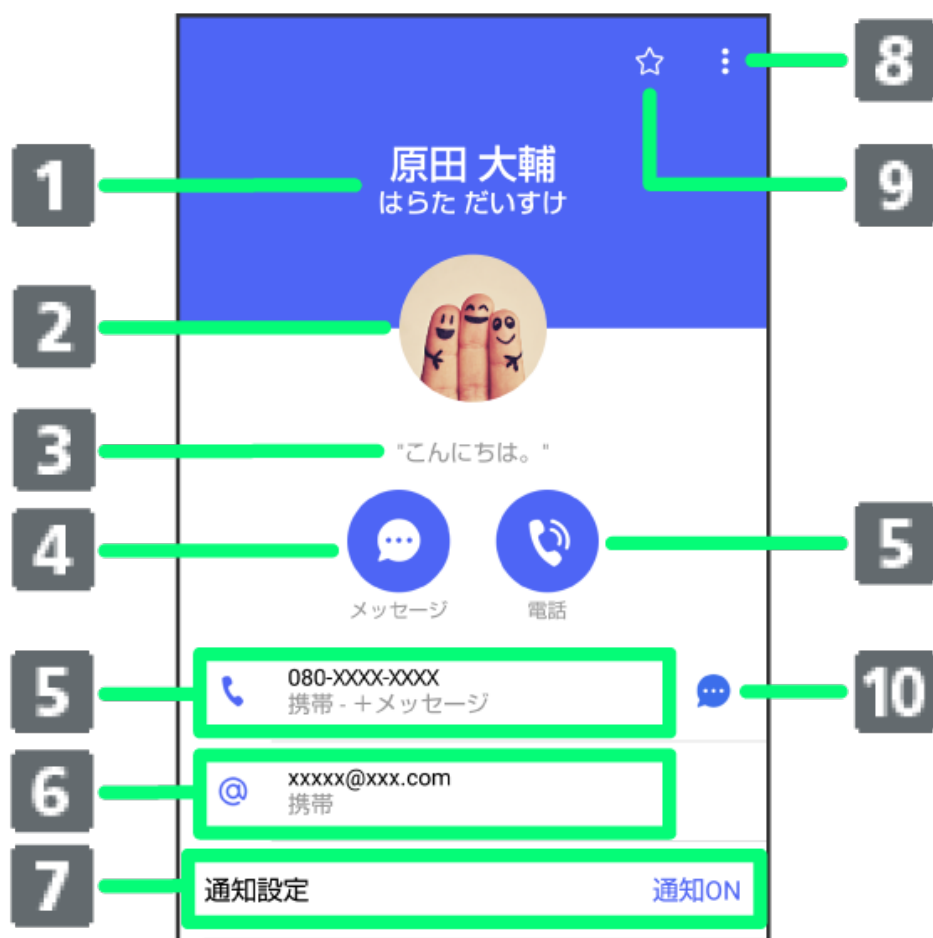
- | | |
|---|-------------------------|
| ① | 表示する連絡先の切り替え |
| ② | プロフィールを表示 |
| ③ | お気に入りに登録した連絡先 |
| ④ | 連絡先詳細画面を表示 |
| ⑤ | メニューを表示 |
| ⑥ | 連絡先を検索 |
| ⑦ | +メッセージの連絡先 ¹ |
| ⑧ | 連絡先の追加 |

1  (+メッセージ)を利用している連絡先に表示されます。

表示する連絡先を切り替える

連絡先一覧画面ですべての連絡先/+メッセージの連絡先  +メッセージの連絡先/すべての連絡先

連絡先詳細画面の見かた



①	名前
②	プロフィール画像
③	ひとこと
④	メッセージ作成
⑤	電話発信
⑥	S!メール作成
⑦	通知設定の変更
⑧	メニューを表示
⑨	お気に入り登録()／解除()
⑩	+メッセージ／SMS作成
⑪	+メッセージに招待 ¹

1  (+メッセージ)を利用していない連絡先に表示されます。

連絡先詳細画面利用時の操作

連絡先をお気に入りに登録／解除する

連絡先詳細画面で  ／ 

- タップするたびに、登録()／解除()が切り替わります。

連絡先を編集する

連絡先詳細画面で   編集  各項目を編集  画面の指示に従って操作

連絡先を共有する

連絡先詳細画面で   連絡先を共有  共有先のメッセージをタップ  共有する情報を選択( 表示)  OK

- 連絡先詳細画面で   連絡先を共有    共有先の連絡先をタップ  OK  共有する情報を選択( 表示)  OKと操作しても連絡先を共有できます。

共有先の連絡先がS!メールのときは、メッセージを入力   をタップすると情報が添付されたメッセージが送信されます。

連絡先に登録してある電話番号／メールアドレスからのメッセージをブロックする

連絡先詳細画面で   ブロック

- メッセージのブロックについて詳しくは、メッセージをブロックするを参照してください。
- 連絡先のブロックを解除するときは、連絡先詳細画面で   ブロック解除をタップします。

連絡先を迷惑メッセージ報告する

連絡先詳細画面で   迷惑メッセージ報告  報告する電話番号／メールアドレスをタップ  報告理由を選択  

連絡先を削除する

連絡先詳細画面で   連絡先を削除  削除

- 本体の連絡先も削除されます。

メッセージを送信する

送信するメッセージの種類を切り替える

メッセージ画面で    SMS／S!メールに切替／+メッセージに切替

+メッセージで送受信できるデータについて

メッセージの種類によって、送受信できるデータが異なります。

- +メッセージで送受信できるデータのサイズは最大100MBです。
- S!メールで送受信できるデータのサイズは最大2MBです。

メッセージ	データ
+メッセージ	スタンプ、画像、動画、音声メッセージ、位置情報、連絡先、スケッチ、ファイル
S!メール	画像、動画、音声メッセージ、位置情報、連絡先、スケッチ、ファイル

新しいメッセージを送信する

1 ホーム画面で  (+メッセージ)

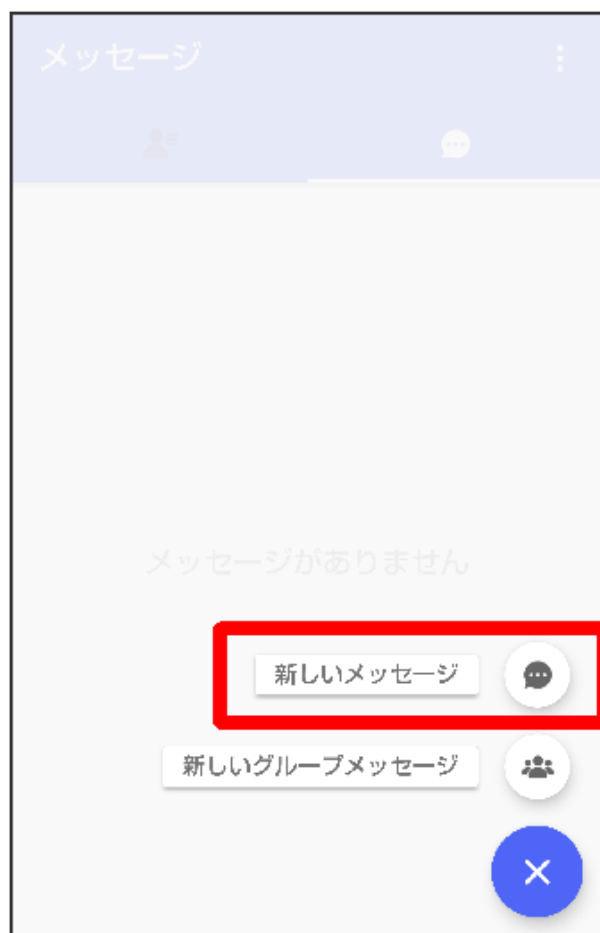


2 



3 

4 新しいメッセージ



5 送信する宛先をタップ



 メッセージ画面が表示されます。

- 連絡先に登録していない電話番号／メールアドレスへ送信する場合は、  電話番号／メールアドレスを入力  直接指定をタップしてメッセージを作成できます。

6 メッセージ入力欄をタップ



7 メッセージを入力 ➡ ➤



 メッセージが送信されます。

スタンプを送信する

1 メッセージ画面で 



2 



3 スタンプの種類をタップ



4 スタンプをタップ



 スタンプが送信されます。

画像／動画を送信する

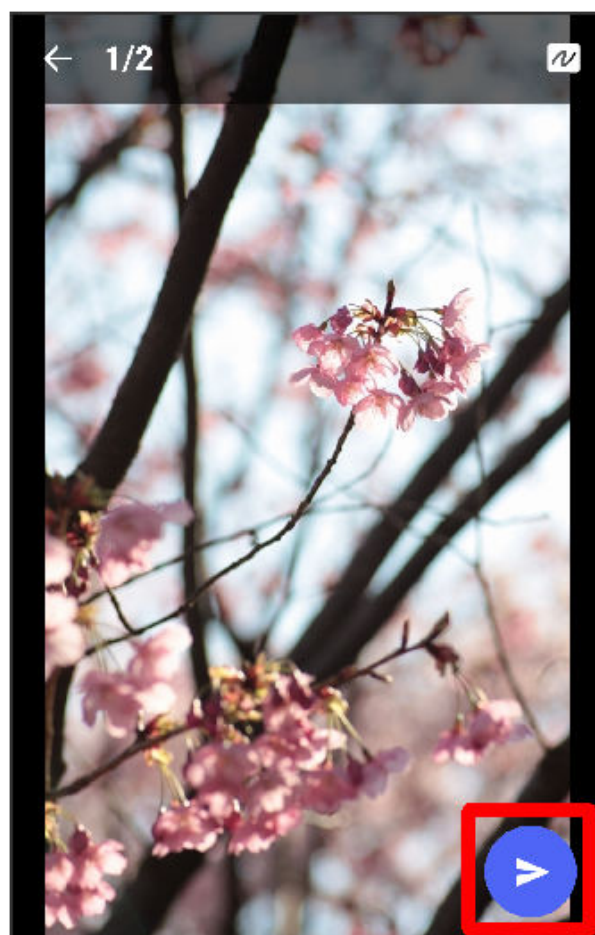
1 メッセージ画面で 

2 

3 送信する画像／動画をタップ



4 >



 画像／動画が送信されます。

- 確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。
- 画像を編集するときは、  画像を編集   をタップしてください。
- S!メールの場合は、メッセージを入力   をタップすると画像／動画が添付されたメッセージが送信されます。

音声メッセージを送信する

1 メッセージ画面で



2



3 



 ボイスメッセージの録音が始まります。

4 録音終了時に



-  をタップすると音声メッセージを再生できます。
-  をタップすると音声メッセージが削除されます。

5



 音声メッセージが送信されます。

- S!メールの場合は、メッセージを入力   をタップすると音声メッセージが添付されたメッセージが送信されます。

位置情報を送信する

- 1 メッセージ画面で 

2 

- アプリの更新が必要なときは、画面の指示に従って更新してください。

3 地図を上にフリック

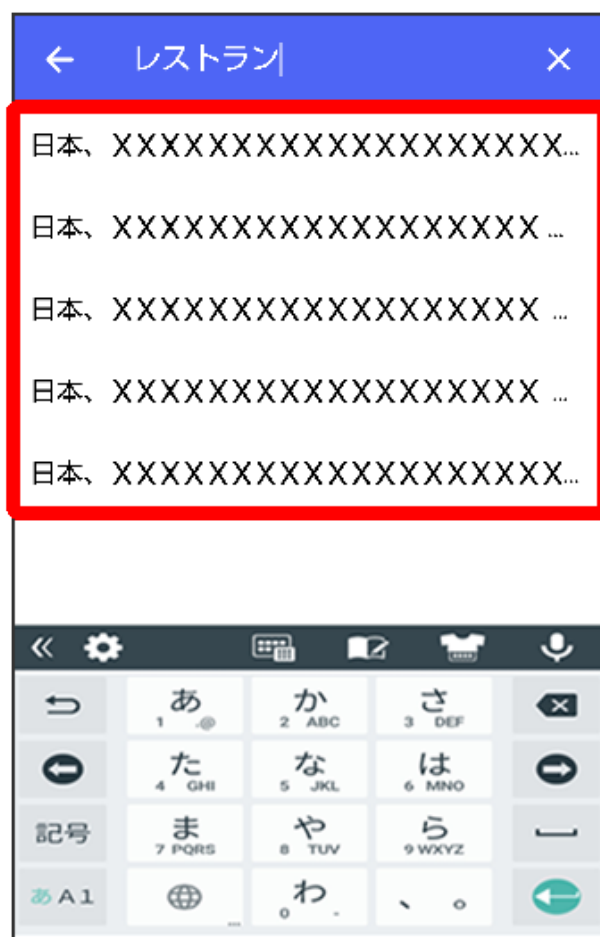


-  をタップすると、現在地情報が送信されます。

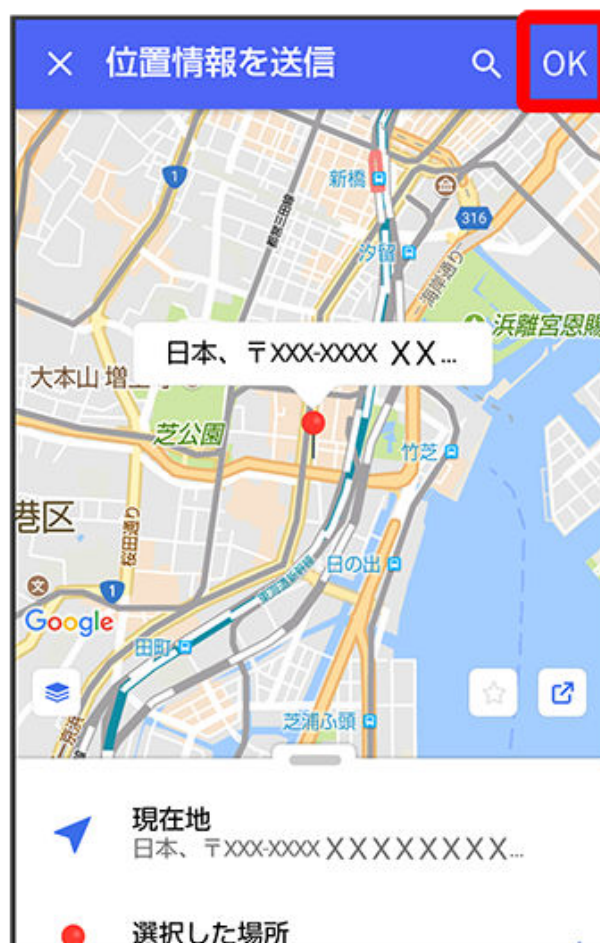
4



5 位置情報のキーワードを入力 ➡ 送りたい位置情報をタップ



6 OK



 位置情報が送信されます。

- S!メールの場合は、メッセージを入力   をタップすると位置情報が添付されたメッセージが送信されます。

連絡先を送信する

- 1 メッセージ画面で 



2 ...



3 連絡先



4 連絡先を選択 → OK



 選択した連絡先が複数件あるときは、連絡先が送信されます。

5 共有する情報を選択 OK



 連絡先が送信されます。

- S!メールの場合は、メッセージを入力   をタップすると連絡先が添付されたメッセージが送信されます。

スケッチを送信する

1 メッセージ画面で



2 ...

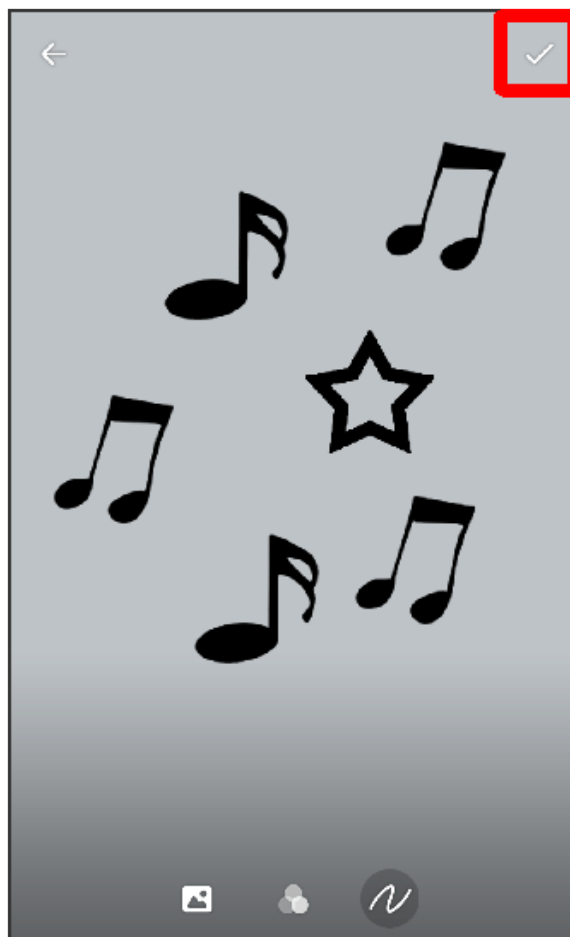


3 スケッチ



 スケッチ画面が表示されます。

4 スケッチを編集  



i スケッチが送信されます。

- 確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。
- S!メールの場合は、メッセージを入力   をタップするとスケッチが添付されたメッセージが送信されます。

スケッチ編集時の操作

背景色を変更する

スケッチ画面で   色をタップ

フィルターを設定する

スケッチ画面で   フィルターをタップ

ペンを利用する

スケッチ画面で   

- スケッチ画面をなぞると線を描くことができます。
- ペンの線の太さを変更するときは、「線の太さ／サイズ」の  を左右にドラッグします。
- ペンの不透明度を変更するときは、「不透明度」の  を左右にドラッグします。
- ペンの色を変更するときは、  色をタップします。

スタンプを利用する

スケッチ画面で     スタンプをタップ

消しゴムを利用する

スケッチ画面で   

- スケッチ画面をなぞるとペンで描いた線やスタンプを削除できます。

スケッチをリセットする

スケッチ画面で     削除

- ペンで描いた線やスタンプをすべて削除できます。

ファイルを送信する

1 メッセージ画面で 



2 ○○○



3 ファイル共有



4 送信したいファイルがあるフォルダをタップ

5 ファイルをタップ



 ファイルが送信されます。

- S!メールの場合は、メッセージを入力   をタップするとファイルが添付されたメッセージが送信されます。

メッセージを確認する

ローミング時の+メッセージや S!メールの利用について

ローミング中に+メッセージやS!メールを利用する場合は、ホーム画面で  (設定)  無線とネットワーク  モバイルネットワーク  データローミングをタップしてデータローミングを有効( 表示)にしてください。

メッセージを確認する

- 1 ホーム画面で  (+メッセージ)



2 



 メッセージ一覧画面が表示されます。

3 メッセージをタップ



 メッセージ画面が表示されます。

手動でS!メールを受信する

ホーム画面で  (+メッセージ)   マイページ  新着メール受信  新着メール問い合わせ  OK

メッセージをブロックする

1 ホーム画面で  (+メッセージ)



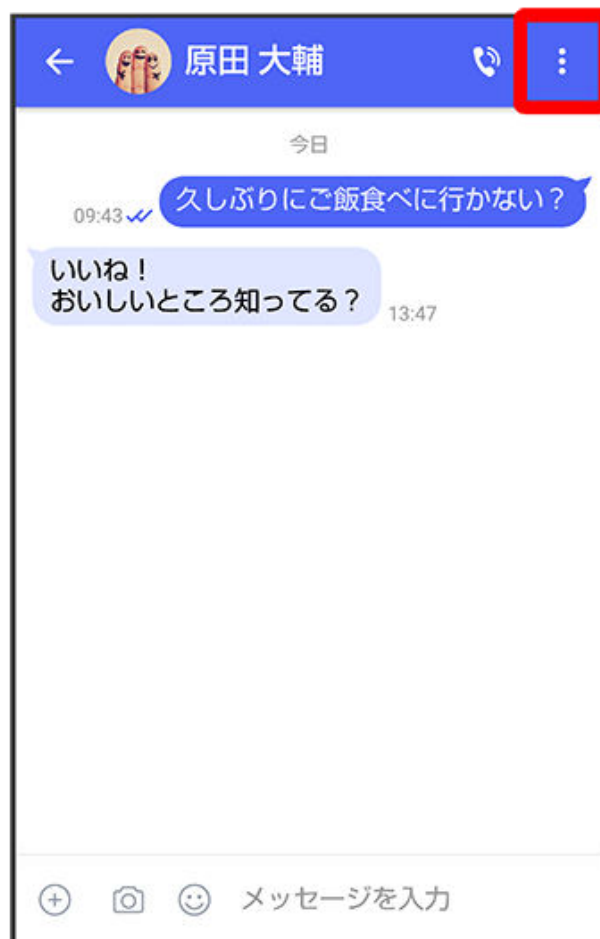
2 



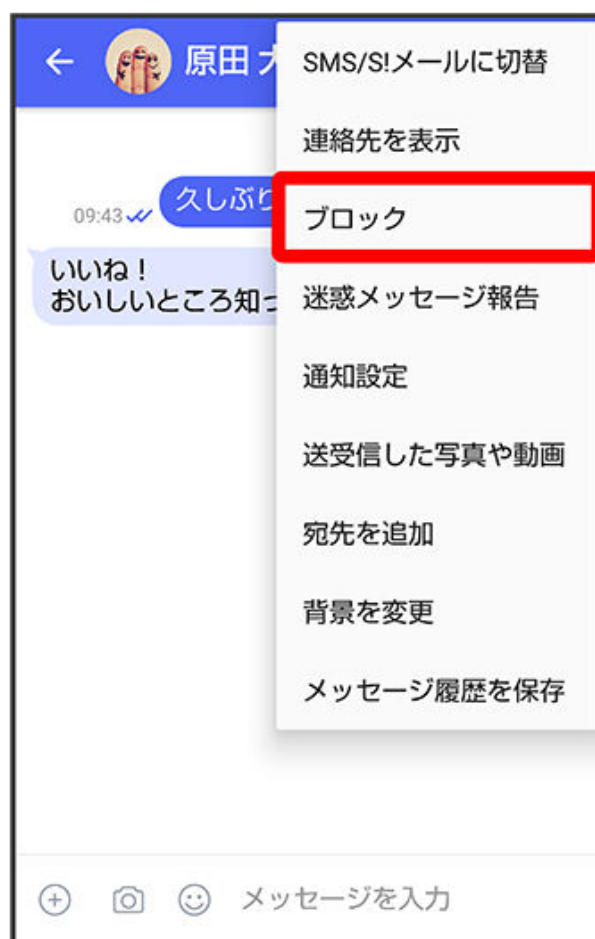
3 ブロックしたいメッセージをタップ



4



5 ブロック



 メッセージがブロックされます。

メッセージのブロックについて

メッセージをブロックすると、ブロックした電話番号／メールアドレスからのメッセージがメッセージ一覧画面に表示されなくなり、受信しても通知されなくなります。ブロックしたメッセージは、ブロックメッセージフォルダに保存されます。また、ブロックした電話番号／メールアドレスへのメッセージの送信ができなくなります。

メッセージのブロック利用時の操作

• ブロックしたメッセージを確認する

ホーム画面で  (+メッセージ)

   マイページ  設定  プライバシー  ブロックメッセージ  メッセージをタップ

• メッセージのブロックを解除する

ホーム画面で  (+メッセージ)

   マイページ  設定  プライバシー  ブロックリスト  ブロックリスト編集  ブロックを解除したい連絡先のブロック解除

迷惑メッセージを報告する

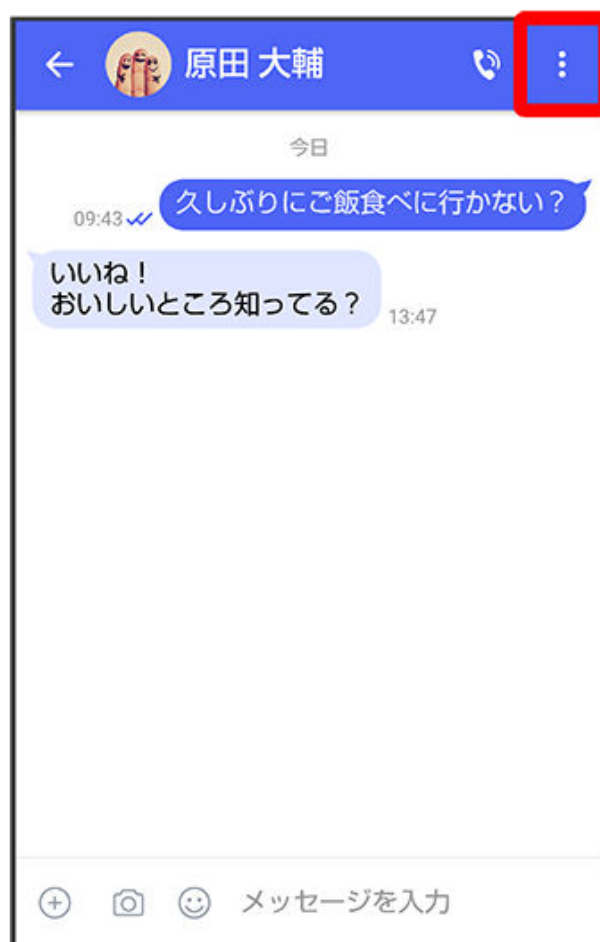
1 ホーム画面で  (+メッセージ)

2 

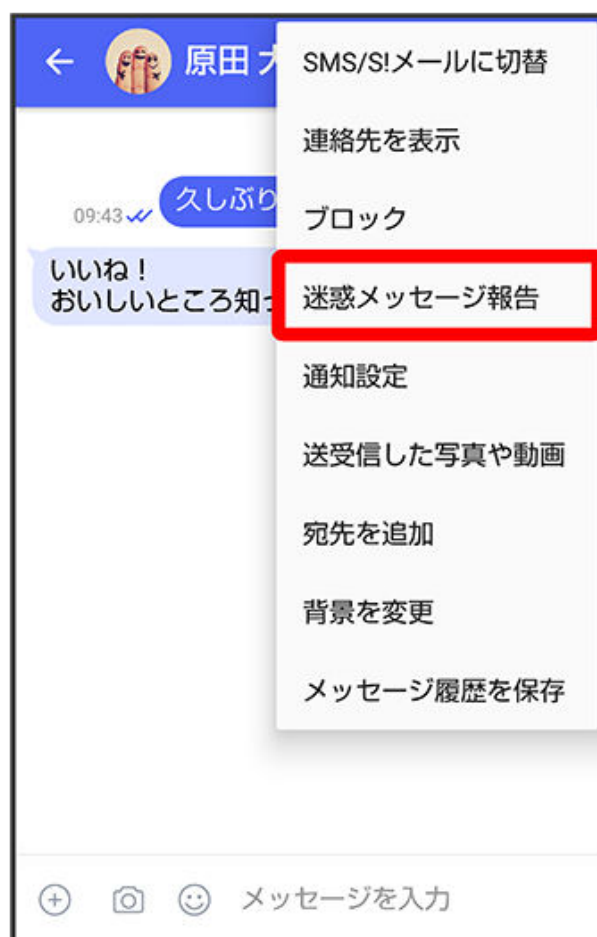
3 報告したいメッセージをタップ



4



5 迷惑メッセージ報告

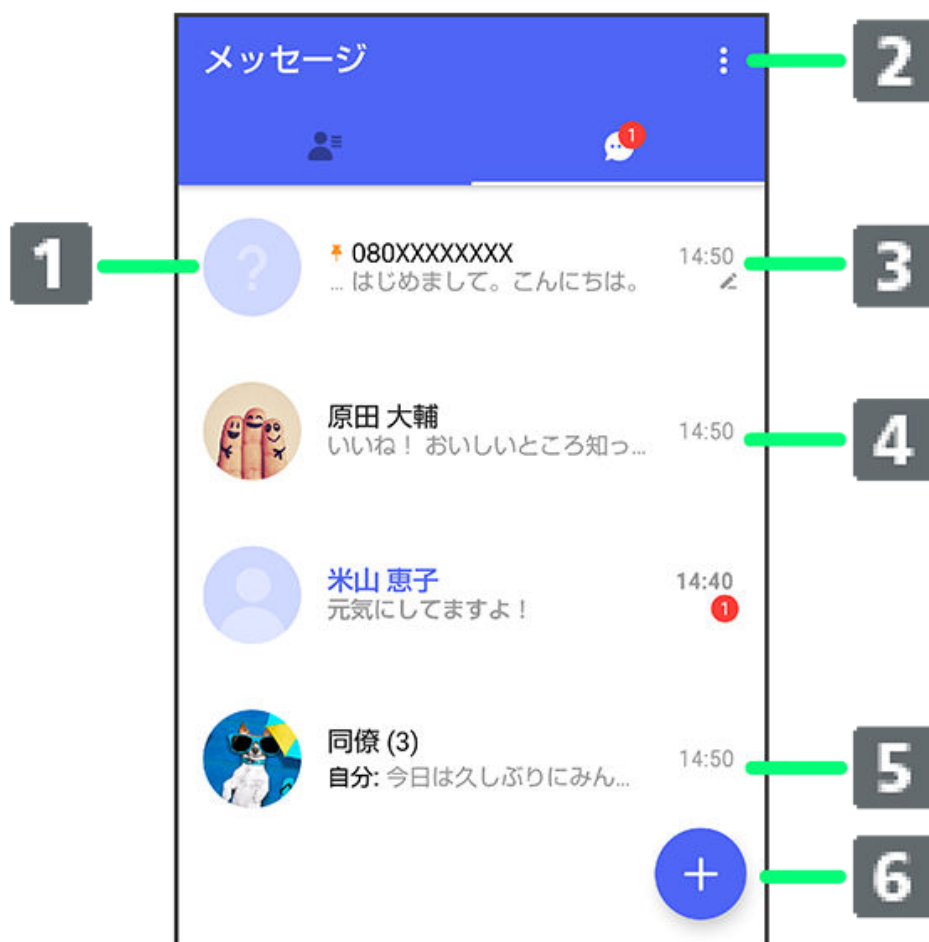


6 報告理由を選択 ➡ ➤



 迷惑メッセージが報告されます。

メッセージ一覧画面の見かた



- | | |
|---|------------------------|
| ① | 登録のない連絡先からのメッセージ |
| ② | メニューを表示 |
| ③ | ピンを付けたメッセージ |
| ④ | プロフィール画像／宛先／送受信・保存日時など |
| ⑤ | グループメッセージ |
| ⑥ | メッセージの新規作成 |

アイコン	説明
	未読メッセージあり ¹
	下書きあり

1 数字は未読メッセージの件数です。

メッセージ一覧画面利用時の操作

- すべてのメッセージを既読にする:

メッセージ一覧画面で   **すべて既読**

- メッセージを並べ替える:

メッセージ一覧画面で   メッセージの並べ替え  受信日時／未読メッセージ／お気に入りの連絡先

- メッセージを削除する:

メッセージ一覧画面でメッセージをロングタッチ    削除

 複数のメッセージを選択するときは、ロングタッチしたあとにほかのメッセージをタップします。

- メッセージを画面上部に固定する(メッセージにピンを付ける):

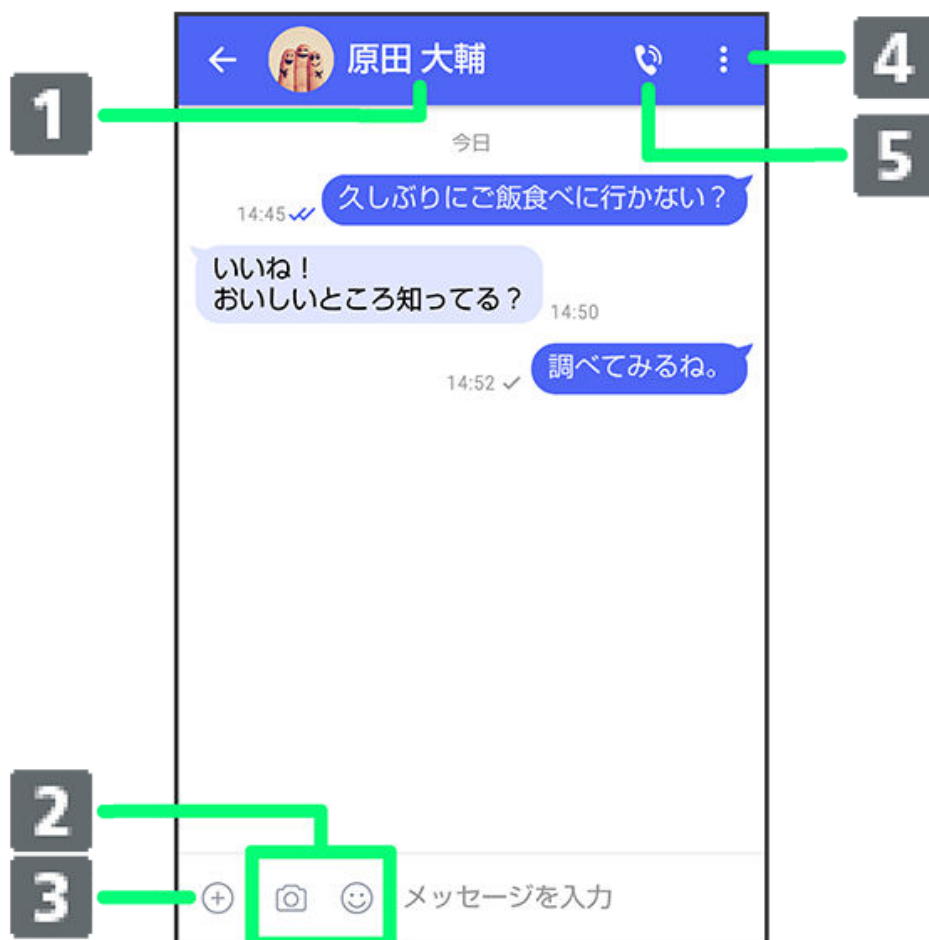
メッセージ一覧画面でメッセージをロングタッチ    ピンを付ける

 メッセージの固定を解除するときは、メッセージ一覧画面でメッセージをロングタッチ    ピンを外すをタップします。

- メッセージごとに通知設定をする:

メッセージ一覧画面でメッセージをロングタッチ    通知設定  1時間通知をOFF／08:00まで通知をOFF／受信通知をOFF

メッセージ画面の見かた



- | | |
|---|-----------|
| ① | 宛先 |
| ② | クイックメニュー2 |
| ③ | ③データの送信3 |

④ メニューを表示

⑤ 電話発信4

- S!メールやSMSのメッセージ画面では、宛先の下に「S!メール」「SMS」と表示されます。
- スタンプやカメラなど、自由に設定できます。詳しくは「[写真や動画の設定](#)」を参照してください。
- +メッセージとS!メールで利用できます。
- +メッセージとSMSのメッセージ画面に表示されます。

アイコン	項目
	既読
	配信済み

 +メッセージでのみ表示されます。

S!メール／SMSでは、配信確認を有効にした場合に表示されます。

メッセージ画面利用時の操作

● 連絡先を表示する

メッセージ画面で   連絡先を表示

● メッセージごとの通知設定をする:

メッセージ画面で   通知設定  1時間通知をOFF／08:00まで通知をOFF／受信通知をOFF

● 送受信した写真や動画などのファイルを一覧表示する:

メッセージ画面で   送受信した写真や動画

 メッセージ画面で、画面の右端から左へフリックしても一覧を表示できます。

● 宛先を追加してグループメッセージを作成する:

メッセージ画面で   宛先を追加  宛先を選択  OK  グループ名・グループ画像を設定 
OK

● メッセージ画面の背景を変更する:

メッセージ画面で   背景を変更  画像をタップ  この画面にのみ適用／すべてに適用

 ● この画面にのみ適用をタップすると、表示しているメッセージ画面の背景が変更されます。

● すべてに適用をタップすると、すべてのメッセージ画面の背景が変更されます。

● 画像をタップする画面でカメラ／ギャラリーをタップすると、撮影した写真や本体に保存されている画像を背景に設定できます。

● メッセージ画面の背景をロングタッチしても、背景を変更できます。

● メッセージ履歴を保存して共有する:

メッセージの履歴と受信した画像や動画を保存して、メールで送信したり他のアプリへコピーすることができます。

メッセージ画面で   **メッセージ履歴を保存**  **メッセージ履歴を共有する宛先をタップ／メッセージ履歴を共有するアプリをタップ**  画面の指示に従って操作

- **送受信したメッセージをコピーする:**

メッセージ画面で送受信したメッセージをロングタッチ



- **送受信したメッセージやファイルを転送する:**

メッセージ画面で送受信したメッセージやファイルをロングタッチ      転送先の連絡先をタップ  OK

- **送受信したメッセージを削除する:**

メッセージ画面で送受信したメッセージをロングタッチ    **削除**

 S!メールの場合は、メッセージ画面で送受信したメッセージをロングタッチ    **削除**  **削除**と操作します。

- **送受信したファイルを保存する:**

メッセージ画面で送受信したファイルをロングタッチ    **保存**

- **送受信したファイルを削除する:**

メッセージ画面で送受信したファイルをロングタッチ    **削除**  **削除**

フォルダ形式の表示に切り替える

メッセージの画面を、フォルダ形式の表示に切り替えることができます。



1 ホーム画面で (+メッセージ)



2



3 マイページ



4 設定



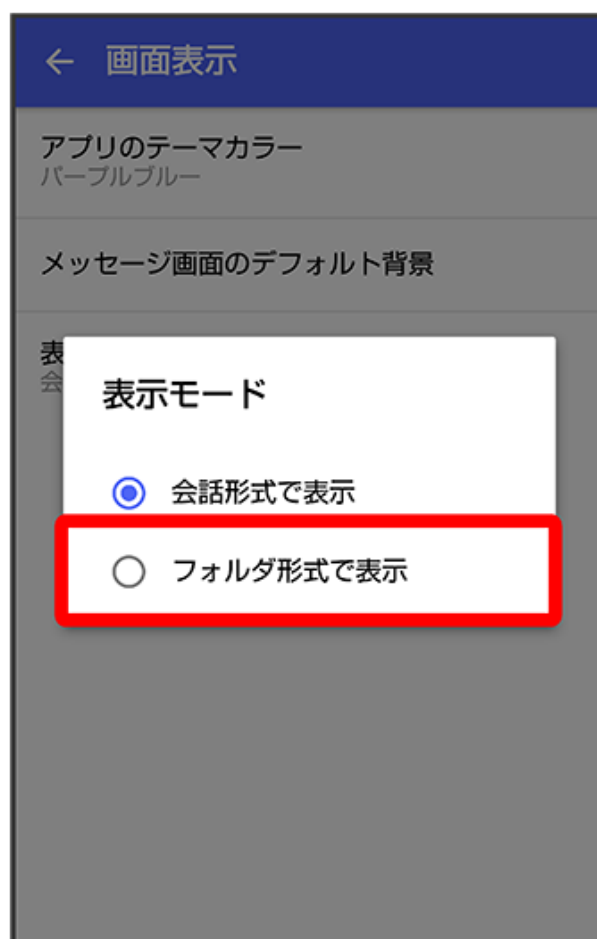
5 画面表示



6 表示モード



7 フォルダ形式で表示



 フォルダ形式の表示に切り替わります。

- フォルダ形式で表示される画面について詳しくは、「[フォルダー一覧画面の見かた](#)」、「[メッセージ詳細画面の見かた\(フォルダ形式表示\)](#)」を参照してください。

フォルダー一覧画面の見かた

フォルダ形式の表示に設定すると、 (+メッセージ) 起動直後の画面はフォルダー一覧画面になります。フォルダ形式への切り替え方法について詳しくは、「[フォルダ形式の表示に切り替える](#)」を参照してください。



- | | |
|---|------------|
| ① | メニューを表示 |
| ② | 未読メッセージ件数 |
| ③ | サブフォルダ |
| ④ | メッセージの新規作成 |

フォルダー一覧画面利用時の操作

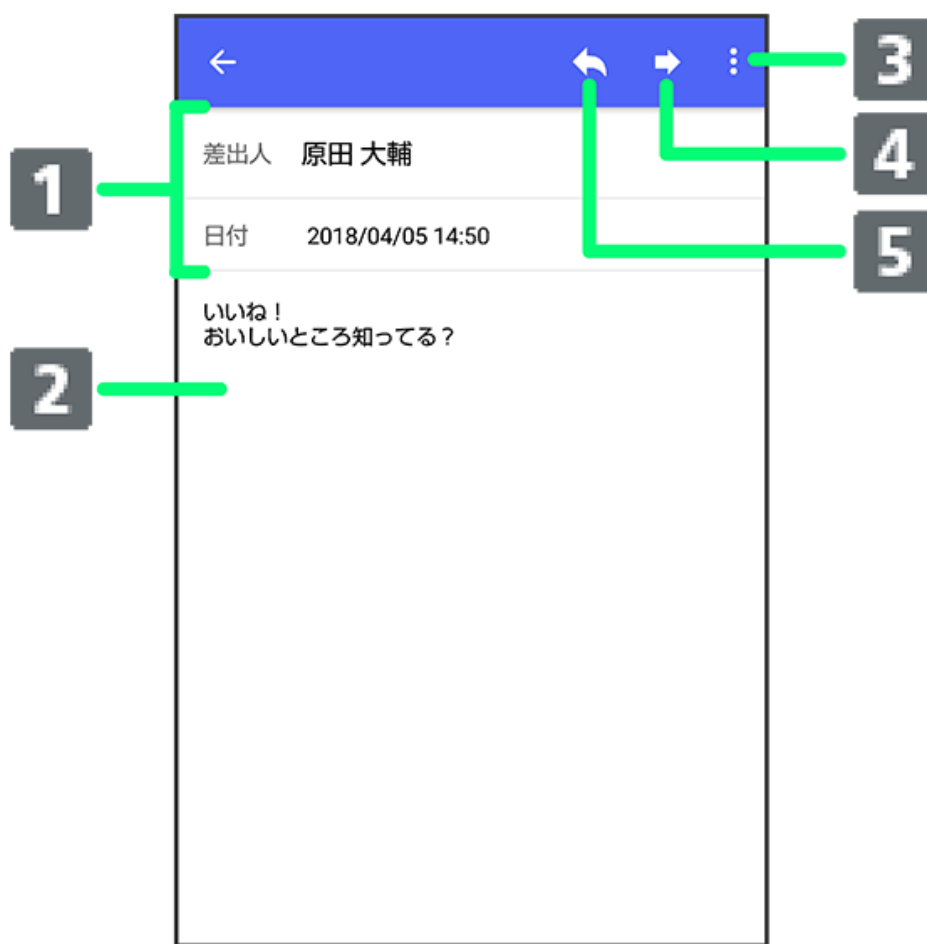
● 受信フォルダを作成する

:フォルダー一覧画面で 受信フォルダ作成 フォルダ名を入力 作成

● 送信フォルダを作成する

:フォルダー一覧画面で 送信フォルダ作成 フォルダ名を入力 作成

メッセージ詳細画面の見かた(フォルダ形式表示)



- | | |
|---|-------------|
| ① | 差出人／送受信日時など |
| ② | 本文 |
| ③ | メニューを表示 |
| ④ | メッセージを転送 |
| ⑤ | メッセージに返信 |

グループメッセージを利用する

グループメッセージについて

 (+メッセージ)利用者同士であれば、グループメッセージを利用することができます。同じグループのメンバーに写真やスタンプなどが共有できます。



グループS!メールについて

メールアドレスや、+メッセージを利用していない電話番号を宛先にしたときは、グループS!メールでの送信となります。グループS!メールでは次の機能は利用できません。

- スタンプの送受信
- グループ名、グループ画像の設定

新しいグループメッセージを送信する

- 1 ホーム画面で  (+メッセージ)

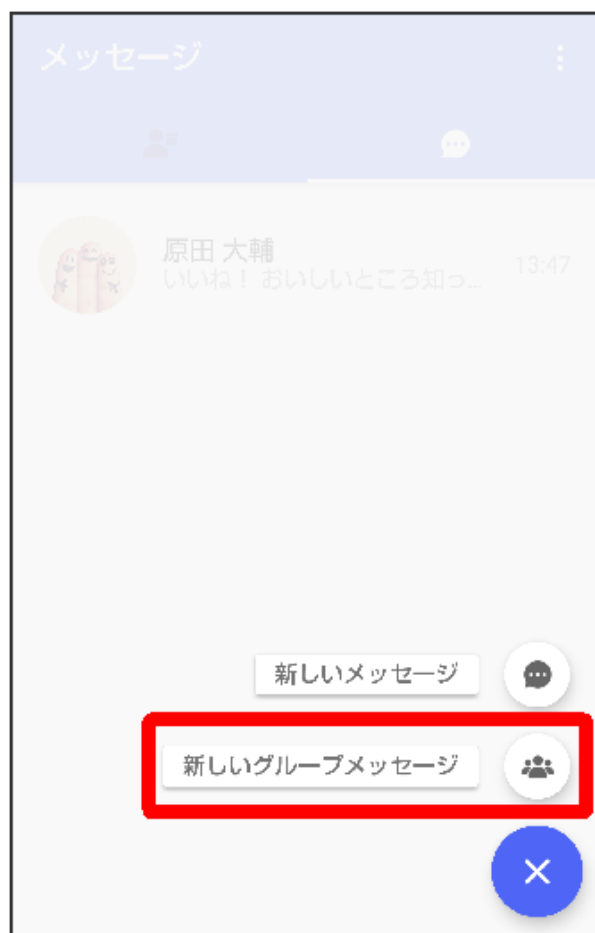


2 



3 

4 新しいグループメッセージ



5 グループメッセージを送信する宛先を選択 ➡ OK



- 最大で99人を宛先に選択できます。

6 グループ名・グループ画像を設定 ➡ OK

← 新しいグループメッセージ OK

グループ名 (入力スキップ可)

同僚

2 / 50

 グループメッセージ画面が表示されます。

7 メッセージ入力欄をタップ

← 同僚 メンバー: 3人

同僚へようこそ

今日

米山 恵子, 原田 大輔が参加しました

メッセージを入力

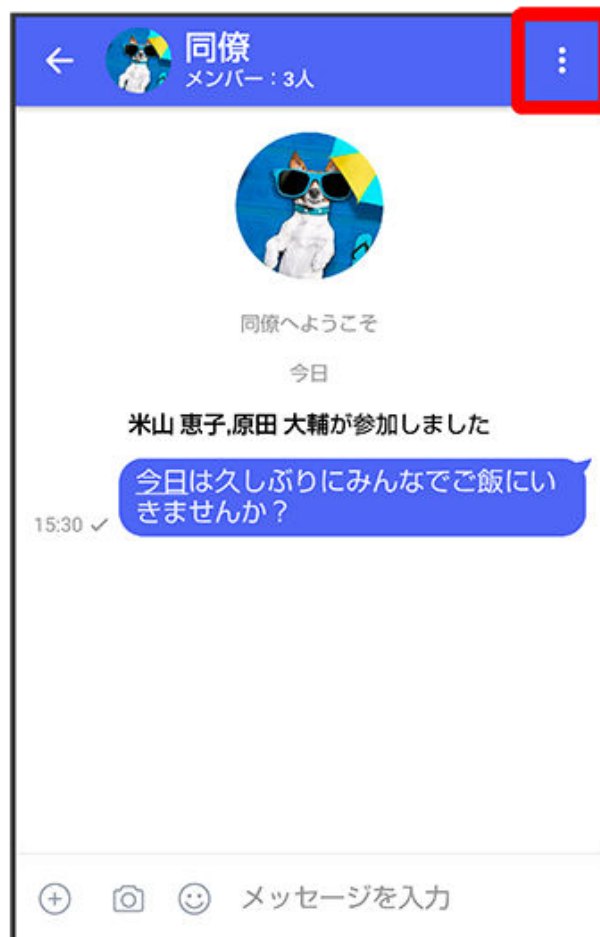
8 メッセージを入力 ➡ ➤



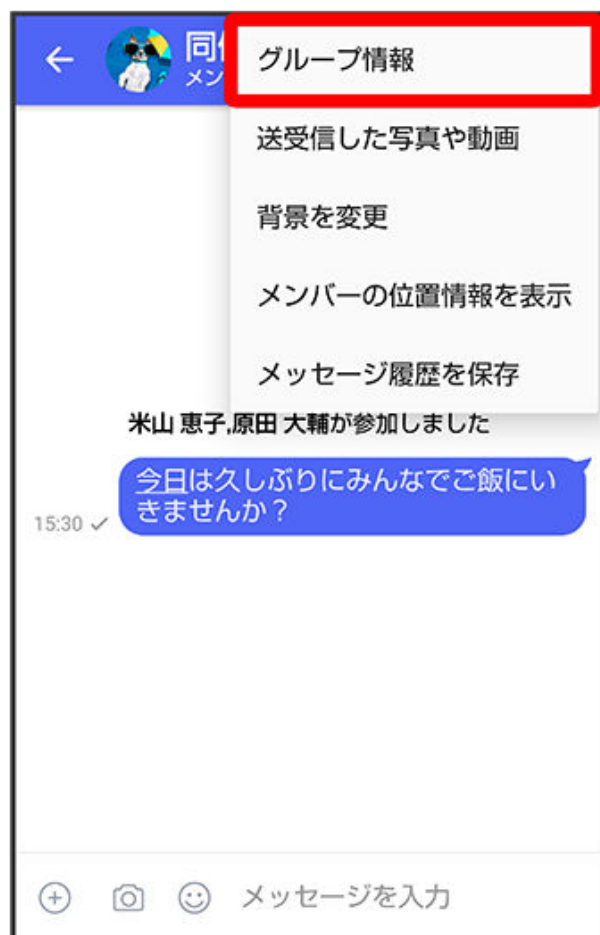
 グループメッセージが送信されます。

グループメッセージに新しいメンバーを追加する

1 グループメッセージ画面で



2 グループ情報



3 宛先を追加



4 宛先を選択 → OK

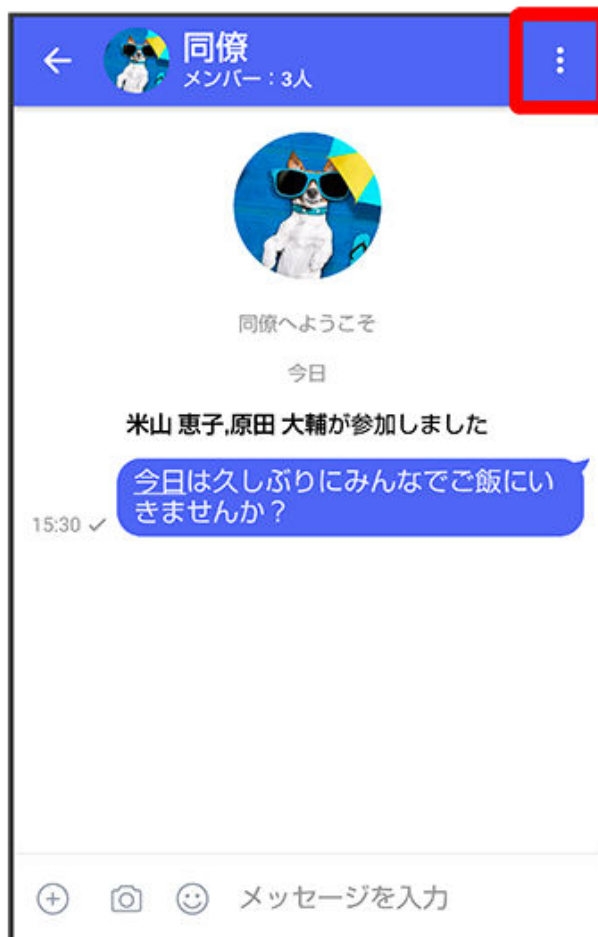


 グループメッセージに新しいメンバーが追加されます。

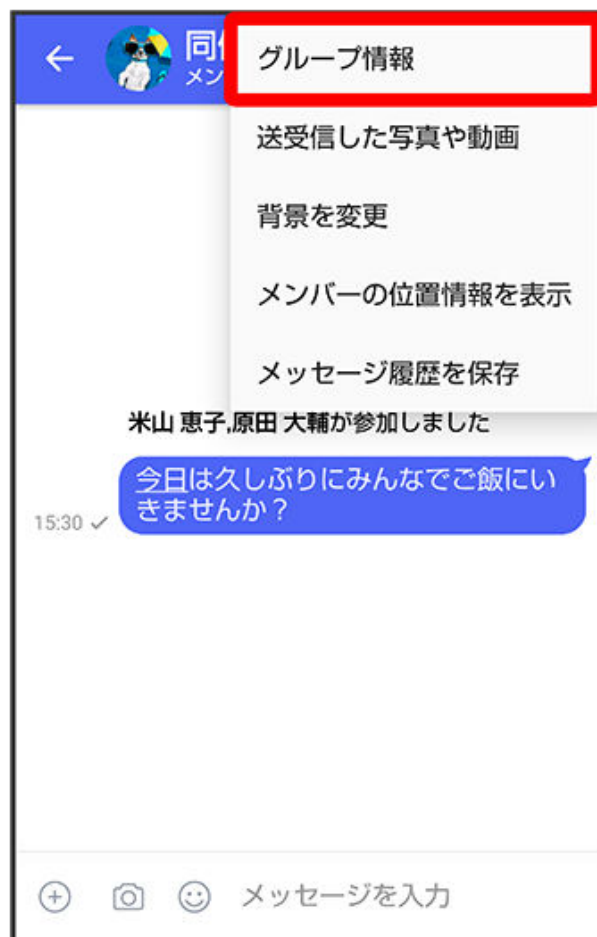
- 追加可能な宛先は、 (+メッセージ)を利用している連絡先のみです。 (+メッセージ)を利用していない連絡先を追加したいときは、新たにグループS!メールを作成してください。

グループから退出する

1 グループメッセージ画面で



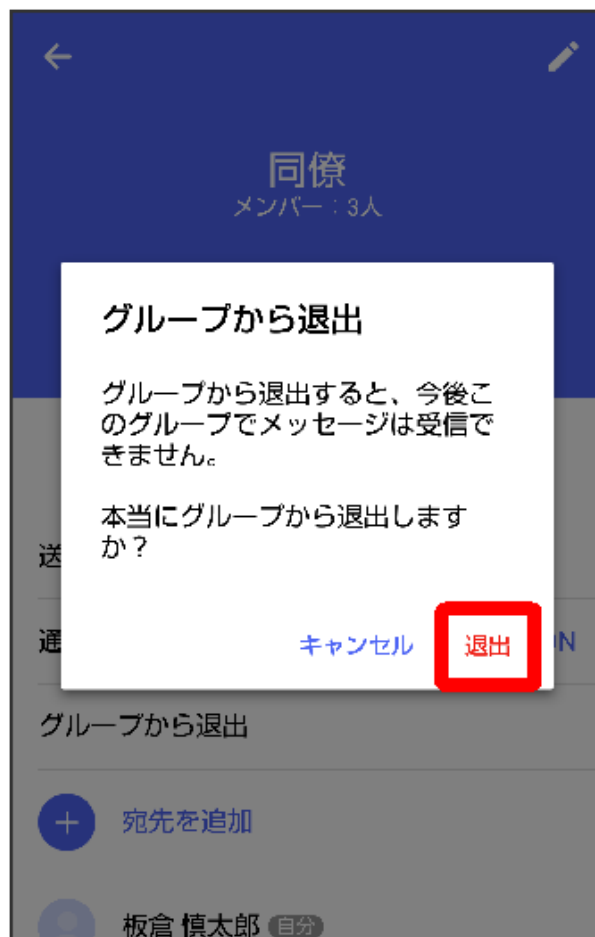
2 グループ情報



3 グループから退出



4 退出



 グループからの退出が完了します。

グループメッセージ画面の見かた



- | | |
|---|---------|
| ① | メンバー数 |
| ② | グループ画像 |
| ③ | メニューを表示 |
| ④ | グループ名 |

グループメッセージ画面利用時の操作

グループ名／グループ画像を変更する

グループメッセージ画面で **⋮** ➡ **グループ情報** ➡ **✎** ➡ **グループ名／グループ画像を設定** ➡ **OK**
通知設定をする

グループメッセージ画面で **⋮** ➡ **グループ情報** ➡ **通知設定** ➡ **1時間通知をOFF/08:00まで通知をOFF/受信通知をOFF**

グループ内で送受信した位置情報をまとめて表示する

グループメッセージ画面で **⋮** ➡ **送受信した現在地を一括表示**

背景を変更する

グループメッセージ画面で **⋮** ➡ **背景を変更** ➡ **背景を選択** ➡ **この画面にのみ適用/すべてに適用**

● カメラ/ギャラリーを選択したときは、画面の指示に従って操作してください。

スタンプを利用する

スタンプストアについて

スタンプストアから、+メッセージで送信できるスタンプをダウンロードすることができます。



スタンプをダウンロードする

- 1 ホーム画面で  (+メッセージ)



2



3 マイページ



4 スタンプストア



5 スタンプをタップ



6 ダウンロード



 スタンプがダウンロードされます。

マイスタンプを管理する

1 ホーム画面で (+メッセージ)



2



3 マイページ



4 スタンプストア

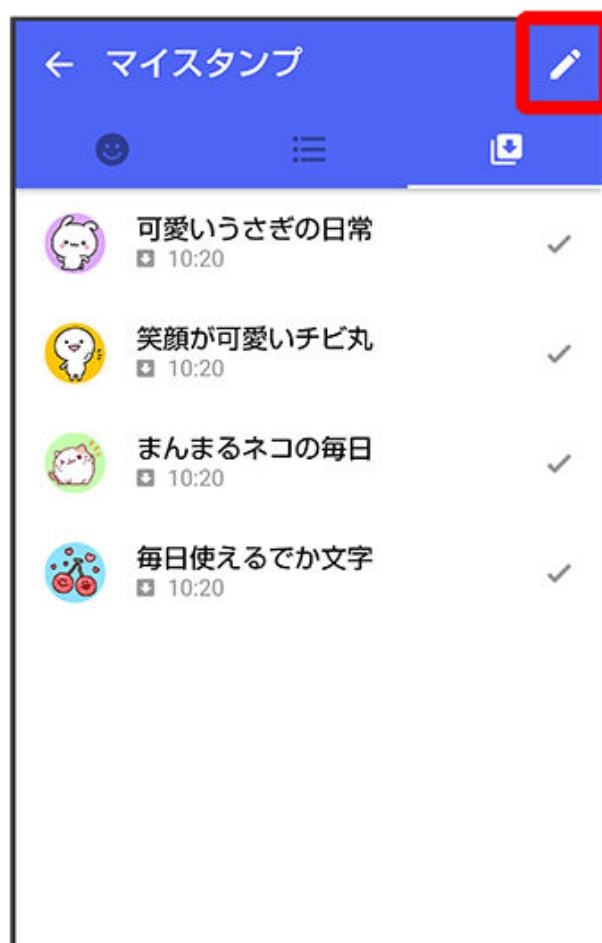


5 



 マイスタンプ画面が表示されます。

6 



 マイスタンプの編集画面が表示されます。

7  をドラッグしてスタンプの順番を変更できます。



8  をタップするとスタンプを削除できます。



9 OK



 マisstampの編集を終了します。

+メッセージの設定をする

メッセージの設定

設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
連絡先未登録者をフィルタリング	連絡先に登録していない差出人からのメッセージを、連絡先に登録している差出人からのメッセージと分けて表示するかどうかを設定します。ONにすると、連絡先に登録していない差出人からのメッセージは通知されなくなります。メッセージ一覧画面で 連絡先登録済み  不明な差出人 をタップすると、連絡先に登録していない差出人からのメッセージを確認できます。
バックアップ・復元	メッセージをバックアップ／復元します。詳しくは、「 バックアップ／復元する 」を参照してください。
改行キーでメッセージを送信	メッセージを入力したあとに、改行キーでメッセージを送信するかどうかを設定します。

すべて既読にする 際の確認	メッセージ一覧画面で   すべて既読をタップしたあとに確認メッセージを表示するかどうかを設定します。
SMSの配信確認	SMS送信時に配信確認するかどうかを設定します。
件名フィールドを含める	S!メール送信時に件名フィールドを表示し、件名を入力できるようにするかどうかを設定します。
S!メールの配信確認	S!メール送信時に配信確認するかどうかを設定します。
S!メールの自動受信	S!メールを自動で受信するかどうかを設定します。

1 ホーム画面で (+メッセージ)



2



3 マイページ



4 設定



5 メッセージ



6 各項目を設定



 設定が反映されます。

写真や動画の設定

設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
[モバイルデータ通信時]写真や動画を自動ダウンロード	モバイルデータ通信時に受信した写真や動画を自動でダウンロードするかどうかを設定します。
[Wi-Fi通信時]写真や動画を自動ダウンロード	Wi-Fi通信時に受信した写真や動画を自動でダウンロードするかどうかを設定します。
送信画像サイズ(推奨)	送信する画像のサイズを設定します。
送信動画サイズ(推奨)	送信する動画のサイズを設定します。
クイックメニュー設定	クイックメニューに表示する機能を設定できます。



2



3 マイページ



4 設定



5 写真や動画



6 各項目を設定



 設定が反映されます。

画面表示の設定

設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
アプリのテーマカラ ー	本アプリ内でアイコンなどに利用される色を変更できます。
メッセージ画面のデ フォルト背景	メッセージ画面の背景画像を設定できます。
表示モード	会話形式／フォルダ形式を切り替えます。詳しくは、「 フォルダ形式の表示に切り替える 」を参照してください。

1 ホーム画面で （+メッセージ）



2



3 マイページ



4 設定



5 画面表示



6 各項目を設定



 設定が反映されます。

通知の設定

設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
新着メッセージ通知	メッセージを受信したときに通知をするかどうかを設定します。
メッセージ内容表示	受信通知にメッセージの内容を表示するかどうかを設定します。
通知音	メッセージを受信したときに通知音を鳴らすかどうかを設定します。
通知音設定	通知音を変更できます。
通知バイブレーション	メッセージを受信したときにバイブレータを動作させるかどうかを設定します。
通知イルミネーション	メッセージを受信したときに本体のLEDを点灯するかどうかを設定します。
グループの通知設定	グループの通知設定を変更できます。

1 ホーム画面で  (+メッセージ)



2



3 マイページ



4 設定



5 通知



6 各項目を設定



 設定が反映されます。

プライバシーの設定

設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
パスコードを設定	アプリ起動時にパスコードを入力するように設定します。詳しくは、「 パスコードを設定する 」を参照してください。
メッセージの既読機能	メッセージの既読を相手に通知するかどうかを設定します。詳しくは、「 既読を通知する設定を変更する 」を参照してください。
ブロックリスト	ブロックした宛先を表示します。
ブロックメッセージ	ブロックした宛先からのメッセージを表示します。
My SoftBankへ移動	My SoftBankへ移動し、メールアドレスの変更や迷惑メールフィルターの設定などができます。

1 ホーム画面で (+メッセージ)



2



3 マイページ



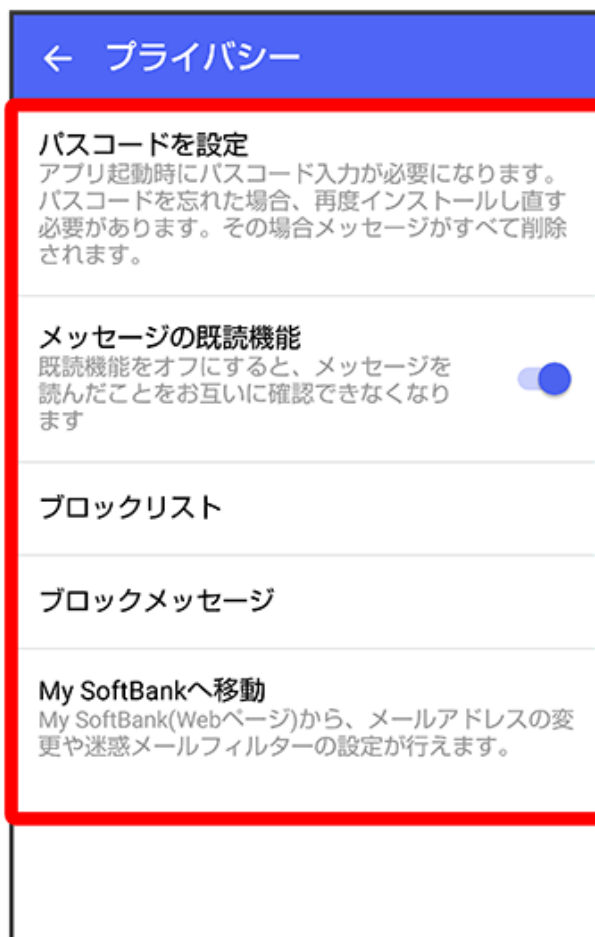
4 設定



5 プライバシー



6 各項目を設定



 設定が反映されます。

その他の設定

設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
+メッセージの連絡先を更新	連絡先の+メッセージの利用状況を更新します。
ユーザー情報引き継ぎ	MNP ¹ でソフトバンク以外の事業者へ転出するときに、  (+メッセージ) の情報を引き継ぐ設定ができます。詳しくは、「 MNP(他社へのお乗り換え)をする際にデータを引き継ぐ 」を参照してください。
+メッセージサービスの初期化	本体およびサーバー上にあるデータを削除できます。

¹ MNP(携帯電話番号ポータビリティ)とは、携帯電話事業者を変更したときに現在の電話番号をそのまま利用できる制度です。

1 ホーム画面で  (+メッセージ)



2



3 マイページ



4 設定



5 その他



6 各項目を設定



 設定が反映されます。

バックアップ／復元する

メッセージデータをサーバーや内部ストレージにバックアップして、復元することができます。

また、MNPで+メッセージサービスを提供する携帯電話事業者へ変更する場合に、（+メッセージ）のユーザー情報を引き継ぐことができます。

バックアップデータについて

- 1 内部ストレージ上のバックアップデータについて
内部ストレージ上のバックアップデータは、次の場合に削除されます。
 - アプリのアンインストールやデータ消去を行った場合
- 2 サーバー上のバックアップデータについて
サーバー上のバックアップデータは、次の場合に削除されます。
 - 保存期限(30日間)を越えた場合
保存期限は復元データ選択画面で確認できます。詳しくは、「[メッセージデータをSoftBankサーバーにバックアップする](#)」を参照してください。
 - 「+メッセージサービスの初期化」を行った場合
初期化について詳しくは、「[その他の設定](#)」を参照してください。

メッセージデータを内部ストレージにバックアップする

- 1 ホーム画面で （+メッセージ）



2



3 マイページ



4 設定



5 メッセージ



6 バックアップ・復元

←

メッセージ

連絡先未登録者をフィルタリング

連絡先未登録の相手からの受信通知をオフにし、メッセージ一覧での表示を登録済みの相手と分けて表示します

☐

バックアップ・復元

ブロックリスト/ブロックメッセージも対象です。復元前後でブロック状態が異なる場合、ブロックが適用されます。

改行キーでメッセージを送信

☐

すべて既読にする際の確認

「すべて既読にする」を選択するときに確認メッセージを表示します

☒

SMSの配信確認

☐

件名フィールドを含める

☐

SIメールの配信確認

☐

7 すべてのメッセージをバックアップ／メッセージを選択

←

バックアップ・復元

メッセージを復元する

最新のバックアップ：2月13日

すべてのメッセージをバックアップ

XX.XXKB

☒

メッセージを選択

未選択

☐

バックアップを開始

- メッセージを選択をタップしたときは、バックアップしたいメッセージを選択 ➡ OKと操作してください。

8 バックアップを開始



9 SDカード／内部ストレージ



 メッセージのバックアップが開始されます。

- 確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

10 閉じる



 メッセージのバックアップが完了します。

メッセージデータを SoftBank サーバにバックアップする

1 ホーム画面で  (+メッセージ)



2



3 マイページ



4 設定



5 メッセージ



6 バックアップ・復元



7 すべてのメッセージをバックアップ／メッセージを選択



- メッセージを選択をタップしたときは、バックアップしたいメッセージを選択 ➡ OKと操作してください。

8 バックアップを開始



9 SoftBank サーバー



 メッセージのバックアップが開始されます。

- 確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。
- SoftBankサーバ上のメッセージデータは、保存期限(30日間)を越えた場合、または+メッセージサービスの初期化を行った場合に削除されます。

10 閉じる



 メッセージのバックアップが完了します。

メッセージデータを内部ストレージから復元する

- 1 ホーム画面で  (+メッセージ)



2



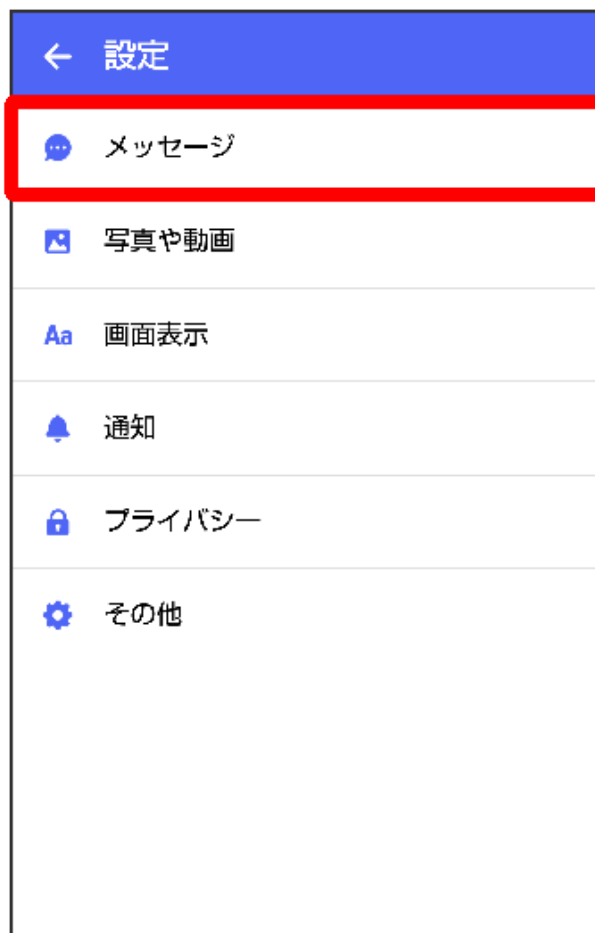
3 マイページ



4 設定



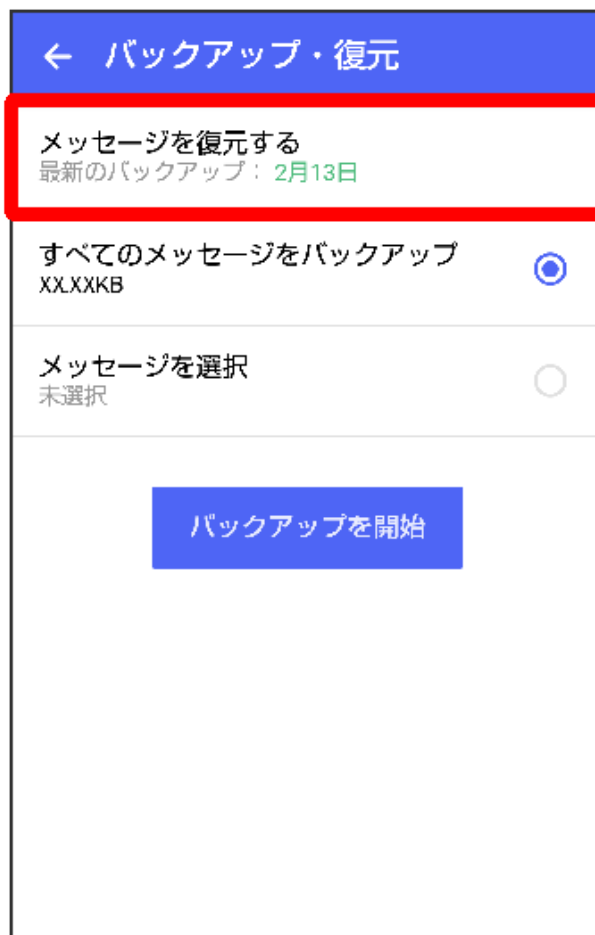
5 メッセージ



6 バックアップ・復元



7 メッセージを復元する



 復元データ選択画面が表示されます。

8 内部ストレージにバックアップしたデータを選択



- 確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

9 すべてのメッセージを復元/メッセージを選択



- メッセージを選択をタップしたときは、復元したいメッセージを選択 ➡ OKと操作してください。

10 復元を開始



 メッセージの復元が開始されます。

11 閉じる



 メッセージの復元が完了します。

メッセージデータを SoftBank サーバーから復元する

1 ホーム画面で  (+メッセージ)



2 



3 マイページ



4 設定



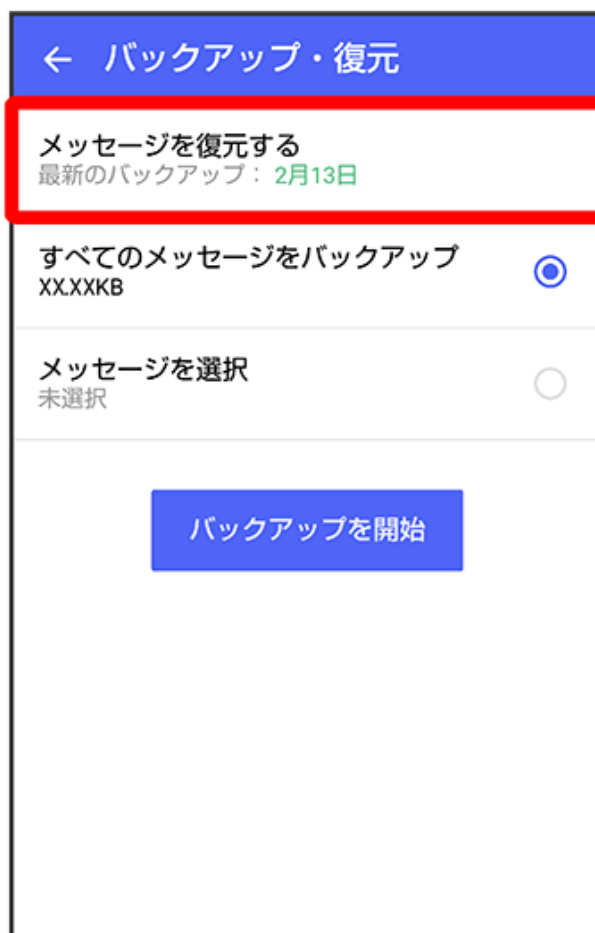
5 メッセージ



6 バックアップ・復元

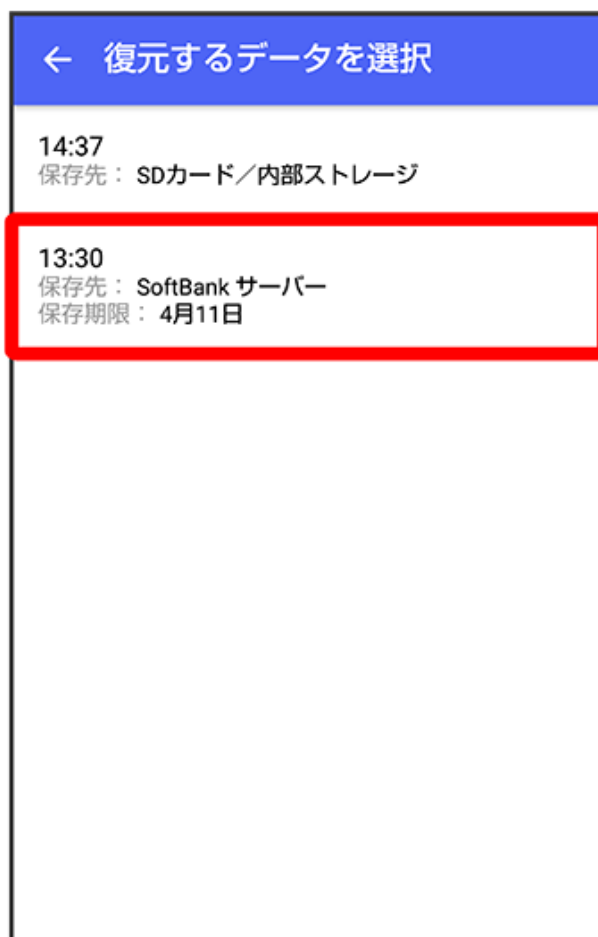


7 メッセージを復元する



 復元データ選択画面が表示されます。

8 サーバーにバックアップしたデータを選択



- 確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

9 すべてのメッセージを復元/メッセージを選択



- **メッセージを選択**をタップしたときは、復元したいメッセージを選択 ➡ OKと操作してください。

10 復元を開始



 メッセージの復元が開始されます。

11 閉じる



 メッセージの復元が完了します。

MNP(他社へのお乗り換え)をする際にデータを引き継ぐ

MNP(他社へのお乗り換え)先の事業者でも+メッセージを利用する場合、以下のユーザー情報を引き継ぐことができます。

- マイプロフィール
- グループ情報
- マイスタンプ
- 未受信メッセージ

 • 受信済みメッセージ等は引き継ぐことができません。

- ユーザー情報引き継ぎの有効期限は、ユーザー情報引き継ぎ予約をしてから15日間です。有効期限内に、お乗り換え後の端末でアプリを起動し、サービスを利用開始する必要があります。

1 ホーム画面で (+メッセージ)



2



3 マイページ



4 設定



5 その他



6 ユーザー情報引き継ぎ

← その他

+メッセージの連絡先を更新
登録している連絡先の+メッセージ利用状況を更新します。更新中は、+メッセージを利用人数が表示されます。

ユーザー情報引き継ぎ
MNPで他社へ転出する際にご利用情報を引き継ぐことができます

+メッセージサービスの初期化

7 注意事項を確認 ➡ 「同意します」の ☐ (☒ 表示) ➡ 予約

← ユーザー情報引き継ぎ

未受信メッセージ／グループ情報

マイスタンプ／マイプロフィール

受信済メッセージ等については、お客さま自身でバックアップを実施してください。

本予約の有効期間は15日間です。

ご注意事項に同意のうえ、予約ボタンをタップしてください。

ご注意事項

・本予約によるユーザー情報の引き継ぎは、MNPIによる転出先が+メッセージサービスを提供する携帯電話事業者である場合のみ行っていただけます。

・引き継いだユーザー情報のご利用にあたっては、本予約時に表示される有効期限内に、転出先の携帯電話事業者においてご利用いただけます。

☒ 同意します

予約

 ユーザー情報の引き継ぎの予約が完了します。

MNP について

MNP(携帯電話番号ポータビリティ)とは、携帯電話事業者を変更したときに現在の電話番号をそのまま利用できる制度です。

カメラ

基本機能

カメラの基本機能を使用する

カメラの基本機能を覚えて写真をキレイに撮りましょう。

基本撮影モード:  カメラ を開きます。ビューファインダーで、 をタップして写真を撮影します。また、音量ダウンキーをカメラのシャッターボタンに設定することもできます。

カメラモードを選択する:  カメラ を開きます。ビューファインダーで、プリインストールされている中からカメラモードを選択します。

水中撮影:  カメラ を開き、**その他 > 水中** をタップして水中撮影を有効化し、**長押しして終了** を長押しして終了します。

-  ● 水中で写真を撮影する前に、防水ケースで端末を保護してください。
- 水の侵入を防ぐため、端末を水中で長時間使用しないようにしてください。
- 画面操作をせずに写真やビデオを撮影するには、音量キーを代わりに押します。音量アップキーはビデオ録画に、音量ダウンキーは写真撮影に使用します。

拡大/縮小: ビューファインダーの画面に指を2本添え、つまむようにそろえて縮小したり、離すように広げて拡大したりします。カメラの光学ズームの上限を超えて拡大すると、画質が低下します。2本の指で画面に触れて拡大/縮小すると、画面の横にズームバーが表示されます。このズームバーでも拡大/縮小ができます。

カメラの露出を調整する: 周囲の明るさに応じてカメラの露出が自動的に調整されます。露出を増やすと写真が明るくなり、露出を減らすと写真が暗くなります。ビューファインダーで露出を手動で調整するには、画面をタップし、 アイコンを上下にドラッグします。

フラッシュをON/OFFにする: フラッシュは、暗所での撮影で明るくしたいときに使用します。ビューファインダーで  をタップし、次のいずれかのフラッシュモードを選択します。

-  **オート:** 周囲の明るさに応じてフラッシュが自動的にONまたはOFFになります。
-  **OFF:** フラッシュをOFFにします。
-  **ON:** フラッシュをONにします。
-  **常時ON:** ビューファインダーになっている場合は、フラッシュが常にONになります。

笑顔を自動的に撮影する: ビューファインダーで  をタップし、**スマイルキャプチャ** を有効にします。ビューファインダー内で笑顔が検出されると、自動的に写真が撮影されるようになります。

ミュート撮影: ビューファインダーで  をタップし、**ミュート** を有効にします。

位置情報を有効にする: 写真を撮影すると位置情報が記録され、この位置情報に基づいて写真を検索できます。ビューファインダーで  をタップし、**GPSタグ** を有効にします。

カメラでのビデオ録画

写真撮影の他に、カメラを使用して音声付きHDビデオを撮影できます。

ビデオの録画:  **カメラ** > **ビデオ** を開き、 をタップしてビデオ録画を開始します。

ビデオ録画中の写真撮影:  をタップすれば、ビデオの録画中に写真を撮影できます。

フラッシュをONにする: 暗所でビデオを録画するときは、 をタップして  を選択し、フラッシュをONにします。

カメラ設定の調整

カメラ設定画面では、必要に応じて様々なカメラ設定を調整できます。

笑顔を自動的に撮影する: **設定** で **スマイルキャプチャ** をオンにします。ビューファインダー内で笑顔が検出されると、自動的に写真が撮影されます。

構図を決めるのに役立つ補助グリッドを使用する

写真が歪んで見えたり、被写体が中心から外れたりしてイライラすることがあります。カメラの補助グリッド機能を使用すると、最適な構図で写真を撮影できます。

補助グリッドを選択するには、 **カメラ** を開き、 をタップして **設定** 画面を開きます。**カメラグリッド** をタップしてグリッドタイプを選択します。

三分割法: **グリッド** または **ファイグリッド** を選択します。4本のグリッド線が交差する点が写真の焦点です。いずれかの焦点に被写体を合わせると、魅力的な構図になります。



黄金スパイラル: フィボナッチスパイラル(左) または フィボナッチスパイラル(右) を選択します。らせんの中心が写真の焦点になります。被写体をこの焦点に配置すると、写真が自然な流れに沿っているように見えます。



ポートレートモードで人物をキレイに撮影する

セルフイーやグループ写真をもっと美しく魅力的にしたいありませんか。そんなときは、ポートレートモードのカスタムオプションを使用すれば、思い出に残る美しい写真を撮影できます。

ポートレートモードを有効にして魅力的な写真を撮影する:  カメラ > ポートレート を開いて、次のパラメータを設定すれば魅力的な写真が撮影できます。調整が終わったら、 をタップして写真を撮影します。

- **ぼかし効果:** 背景に光源がある場合は、ビューファインダーの  アイコンをタップして、様々なぼかし効果を選択できます。
- **舞台照明:** ビューファインダーの  アイコンをタップして、舞台照明効果を選択できます。
- **ビューティー効果:** ビューファインダーの  アイコンをタップし、スライダーを左右にドラッグしてビューティー設定を調整します。パラメータ値を上げると、ビューティー効果がより鮮明になります。

パノラマ

パノラマモードを使用したパノラマセルフイーの撮影

セルフイーに友人や風景をもっと入れたいと思うことがあります。パノラマを使用すると、広い画角でセルフイーを撮影できます。

- 1  **カメラ**を開き、 をタップしてインカメラに切り替えます。
- 2 **その他** > **パノラマ** に移動します。
- 3 端末をしっかりと持ち、 をタップして1枚目の写真を撮影します。
- 4 画面の指示に従って端末を一方向に回し、青色のフレームが正方形のスクリーンフレームに重なったら止めます。もう1枚の写真が自動的に撮影されます。
- 5 画面の指示に従って端末を逆方向に回し、青色のフレームが正方形のスクリーンフレームに重なったら止めます。最後の写真が自動的に撮影されます。
- 6 操作が完了すると、3枚の写真が自動的につなぎ合わされ、1枚のワイドアングル3Dセルフイーになります。

パノラマモードを使用したパノラマ写真の撮影

パノラマは普通の写真よりも画角が広いので、風景の全体を収めた写真を撮影できます。

パノラマ撮影では、カメラが視界内の被写体の写真を複数撮影し、これらの写真をつなぎ合わせて1枚の写真を作成します。

-  パノラマ写真を撮影するときには、被写体からある程度距離を置き、広く開放的な空間で撮影し、単色の背景はできるだけ避けてください。

- 1  **カメラ** > **その他** > **パノラマ** に移動します。
- 2 画面下部の  をタップし、撮影方向を設定します。
- 3 端末をしっかりと持ち、 をタップして撮影を開始します。端末をしっかりと持ち、矢印が中央の線と水平になるようにして、示されている方向に端末をゆっくりと動かします。
- 4 終了したら、 をタップします。写真が自動的につなぎ合わされ、1枚のパノラマ写真になります。



3D パノラマを使用した 360 度撮影

3Dパノラマ機能を使用して、風景や人物を360度の視点で撮影してみましょう。

3Dパノラマ 機能には次の2つの撮影モードがあります。

- **被写体の撮影:**  **カメラ** > **その他** > **3Dパノラマ** に移動します。 を長押しし、画面の指示に従って、端末を被写体に対して弧を描くように一方向にゆっくりと動かします。撮影を停止するには  を離します。撮影後に、カメラのサムネイルをタップし、写真の上にある **3D** をタップすると、3Dパノラマ写真が作成されます。

3Dパノラマの作成後に、端末を傾げるか写真をドラッグすると、3D効果を確認できます。

プロモード

プロカメラモード:カメラで自分を表現

プロカメラモードでは、露出やシャッター速度などの様々な設定を調整でき、カメラを自分で操作できます。

プロカメラモードでは、様々なパラメータを調節して、プロが使うカメラのような写真やビデオを撮影できます。

プロモードで風景写真を撮る

風景写真をもっと魅力的に、生き生きとしたものにしたいと思うことはありませんか。プロモードを使用すると、個性的な風景写真を撮影できます。

 **カメラ** > **プロ** を開いてプロモードに切り替えます。

被写体に合わせて測光モードを選択する:プロモード画面で  をタップし、シーンに合わせて適切な測光モードを選択します。

測光モード	適用シーン
 マトリックス	広大な風景や海
 中央	写真の中央にあり、背景より目立つ被写体
 スポット	際立たせたい被写体が花や木など、比較的小さい場合

撮影シーンに応じた明るさの調整:

- **ISOの調整:**プロモード画面で **ISO** をタップし、ISOスライダーを左右にスワイプして値を変更します。
 過剰なノイズを防ぐため、ISO 400以下の設定をお勧めします。ISOの推奨値は、昼間は100 ~ 200、夜景では400以上です。
- **シャッター速度の調整:**プロモード画面で **S** (シャッター速度)をタップし、シャッター速度スライダーをスライドして、好みの値を中央にハイライト表示します。
 動きのないシーン(山など)では、シャッター速度として1/80 ~ 1/125をお勧めします。動きのある被写体(波など)では、より速いシャッター速度(1秒未満)の使用をお勧めします。動いている被写体を撮影するときは三脚を使用するとよいでしょう。
- **露出補正の調整:**プロモード画面で **EV** をタップして、EVスライダーをスライドし、選択した値を中央にハイライト表示します。

オートホワイトバランスの調整:プロモード画面で  をタップし、AWBスライダーをスライドして、選択した値を中央にハイライト表示します。

- 直射日光が当たる場所で撮影する場合は、 を選択してください。光が弱い場所では、 を選択してください。
- 色温度を調整するには、 をタップします。写真を暖色トーンやレトロな雰囲気にするには、K値を大きく設定します。寒い色合いや静寂、あるいは未来的な雰囲気を出すには、K値を小さく設定します。

被写体に合わせたAFの調整:プロモード画面で  をタップし、AFスライダーをスライドして、好みのモードを中央にハイライト表示します。

AFモード	適用シーン
AF-Sモード	動きのないシーン(山など)
AF-Cモード	動きのあるシーン(流れる水や波など)
MFモード	際立たせる被写体(花のクローズアップなど)

端末を水平に保って撮影する:プロモードで、 をタップして、水準器を有効にします。この機能を有効にすると、ビューファインダーに水平の補助線が2本表示されます。点線と実線が重なると、カメラが水平に調整されたことを示します。

RAW形式画像の保存:プロモードで、 > 解像度 をタップして、RAW形式を有効にします。この機能を有効にすると、プロモードで撮影した写真がRAW形式とJPEG形式の両方で保存されます。

- プロモードでは、1つの設定を変更すると、他の設定も自動的に変更されることがあります。必要に応じてこうした設定を調整できます。
- 上記の設定は、あくまでも目安です。実際の撮影状況に合わせてカメラ設定を調整するとお望みの効果が得られるでしょう。

プロカメラモードでポートレートを撮る

プロのようなポートレートを撮りたいと思うことはありませんか。プロモードを使用すると、カメラの設定を調整して、プロのようなポートレートを撮影できます。

 **カメラ** > **プロ** を開きます に移動します。

測光モードを選択する:ポートレートを撮影する場合は、 または  モードをお勧めします。被写体(顔など)がビューファインダーの中央になるようにします。

明るさの調整

- **ISO:**人物を撮影する場合は、過剰なノイズを防ぐため、ISOを低く設定することをお勧めします。実際の撮影環境に基づいてISOを調整してください。

シーン	推奨ISO値
-----	--------

屋外	100 ～ 200
屋内	400前後
夜間	400 ～ 800

● **シャッター速度**: 暗所ではシャッター速度を遅くし、十分な明るさのある場所ではシャッター速度を速くします。動きのない被写体の場合はシャッター速度として1/80～1/125を使用し、動きのある被写体の場合は1/125以上のシャッター速度を使用します。

● **露出補正**: 被写体と背景が暗すぎる場合はEV値を大きくし、明るすぎる場合はEV値を小さくします。

ホワイトバランス: 撮影シーンに適したホワイトバランスモードを選択します。直射日光が当たる場所で撮影する場合は、☀️を選択します。光が弱い場所では、🌃を選択します。

フォーカス: 人物撮影では、マニュアルフォーカス(MF)モードを選択することをお勧めします。写真の中でピントを合わせて際立たせる部分(顔など)をタップしてから、撮影します。

- ❗️ ● プロカメラモードでは、1つの設定を変更すると、他の設定も自動的に変更されることがあります。必要に応じてこうした設定を調整できます。
- 上記の設定は、あくまでも目安です。実際の撮影状況に合わせてカメラ設定を調整するとよいでしょう。

モノクロ写真の撮影

世界には色があふれています。しかし、色彩が多すぎると何を見せたいのかわかりづらくなることもあります。モノクロモードを使用して色を取り除くと、光と影が強調され、写真にムーディで独特な雰囲気を加えることができます。

📷 **カメラ > その他 > モノクロ** に移動してモノクロで写真を撮影します。



ライトペインティングモード

ライトペインティング: 光の軌跡を撮影する

ライトペインティングモードでは、遅いシャッター速度に自動的に設定し、露出時間を長くして光の軌跡を撮影します。このモードでは、幻想的な雰囲気の良い写真を撮影できます。

ライトペインティングモードには、さまざまな被写体と光の状態に対応した4種類のクリエイティブな撮影モードがあります。

- テールライトトレイル: 夜間に車のライトの軌跡を撮影します。
- ライトグラフィティ: 暗い場所で移動する光源の軌跡を撮影します。
- シルキーウォータ: 流れる水の様子をシルクのように滑らかに撮影します。
- スタートラック: 夜空の星の軌跡をとらえた美しい写真を撮影します。



テールライトトレイルを使用して都会の夜景を撮影する

テールライトトレイルでは、夜間の車のテールライトを芸術的に撮影できます。

-  ある程度距離を置いた位置で、被写体のやや上から撮影するとよいでしょう。画像が露出過多にならないよう、車のヘッドライトがカメラに直接向かないようにしてください。
- 撮影中に端末が動かないようにするために、三脚に端末を取り付けてください。

 **カメラ** > **その他** > **ライトペインティング** > **テールライトトレイル** に移動します。端末をしっかりと持ち、 をタップして撮影を開始します。画像のプレビューがビューファインダーに表示されます。終了したら、 をタップします。



ライトグラフィティを使用してライトパターンを作成する

ライトグラフィティでは、カメラの前で光源を動かして文字や図形を描くことができます。

-  他光が入らない場所で、被写体の影が見えないことを確認してください。ペンライトやサイリウムなど、適切な色の明るい光源を選択してください。
- 撮影中に端末が動かないようにするために、三脚に端末を取り付けてください。

 **カメラ** > **その他** > **ライトペインティング** > **ライトグラフィティ** に移動します。端末をしっかりと持ち、 をタップして撮影を開始します。画像のプレビューがビューファインダーに表示されます。終了したら、 をタップします。



シルキーウォーターを使用して川や滝を撮影する

シルキーウォーターでは、滝や川をシルクのように滑らかに撮影できます。

- i ● 水量の多い小川や滝を選んでください。
 - 撮影中に端末が動かないようにするために、三脚に端末を取り付けてください。
- 1  カメラ > その他 > ライトペインティング > シルキーウォーター に移動します。
 - 2 端末をしっかりと持ち、 をタップして撮影を開始します。
 - 3 画像のプレビューがビューファインダーに表示されます。終了したら、 をタップします。



スタートラックを使用して星をキレイに撮影する

スタートラックでは、夜空の星の動きを撮影できます。

- i ● 障害物や人工の光がない場所で、空が澄み切った夜に撮影するとよいでしょう。
 - 撮影中に端末が動かないようにするために、三脚に端末を取り付けてください。

- 1  カメラ > その他 > ライトペインティング > スタートラック に移動します。
- 2 端末をしっかりと持ち、 をタップして撮影を開始します。
- 3 画像のプレビューがビューファインダーに表示されます。終了したら、 をタップします。



その他の撮影モード

コマ抜きを使用して短いビデオを作成する

コマ抜きを使用すると、長時間にわたって撮影した画像を短いビデオに圧縮することができ、花の開花や雲の動き、車の流れ、夜空の星の動きなどを見ることができます。

-  ● コマ抜きの録画時間は長くしすぎないようにしてください。電池残量やストレージ容量が不足するおそれがあります。
 - コマ抜き録画中は、丈夫な三脚を使用して端末を安定させてください。
- 1 コマ抜き撮影を開始する前に、被写体の光が十分であること、カメラの焦点が合っていることを確認します。背景にある関係のないものを撮影しないよう、カメラの位置を慎重に決めます。
 - 2  カメラ > その他 > コマ抜き に移動します。 をタップすると録画が開始します。
 - 3  をタップすると録画が終了します。
 - 4 ギャラリー に移動して、コマ抜きビデオを再生します。

-  システムによって最適な再生速度が設定されます。録画速度や再生速度をユーザーが手動で調整することはできません。

カスタム撮影モード

事前に設定されている機能以外でカメラを使ってみたいと思うことがあります。必要に応じて、撮影モードをダウンロードしたり削除したりすることができます。

撮影モードをダウンロードする: を開いて  **カメラ** > **その他** > **ダウンロード** > **その他** に移動します。ダウンロードする撮影モードを選択して、**追加** をタップします。

撮影モードを更新する: 撮影モードを更新するには、**その他** 画面に移動します。利用可能な更新がある場合、撮影モードの横に赤い点が表示されます。画面の指示に従って更新できます。

撮影モードを削除する: **その他** >  に移動し、 をタップして必要のない撮影モードを削除します。

-  カメラの正常な動作を保証するために、事前に設定されている撮影モードは削除できません。

アニメーション写真の撮影

写真をもっと魅力的に、生き生きとしたものにしたいと思うことはありませんか。アニメーション写真により、より臨場感のある写真を撮影できます。

アニメーション写真では、シャッターボタン押下前後の約1秒間のシーンをアニメーションとして撮影できます。この写真をギャラリーで閲覧すると、シャッターボタンを押した瞬間に撮影された静的な写真を見るだけでなく、動的な写真と音声を再生することもできます。

アニメーション写真の撮影:  **カメラ** を開き、画面上部の  をタップした後、 をタップして撮影します。

アニメーション写真を表示する: 撮影したアニメーション写真は、JPG形式で **ギャラリー** に保存されます。 **ギャラリー** > **アルバム** > **カメラ** に移動します。 アイコンで写真をタップし、写真の上部の  をタップして、アニメーション効果を表示します。再生が終了すると、アニメーション写真は自動的に停止します。また、再生を停止するには、画面をタップします。

アニメーション写真を共有する:  **ギャラリー** > **アルバム** に移動し、共有するアニメーション写真をタップし、 をタップします。次に、共有方法を選択し、画面の指示に従って共有を完了します。

-  アニメーション写真は、Wi-Fi、Bluetooth、Huawei Shareなどの方法で直接共有できます。アニメーション写真の効果を再生するには、アニメーション写真の撮影に対応したHuawei端末を受信端末として使用する必要があります。アニメーション写真をサードパーティ製アプリまたは対応していない端末と共有する場合、アニメーション写真は静的な画像として表示されます。

ギャラリー

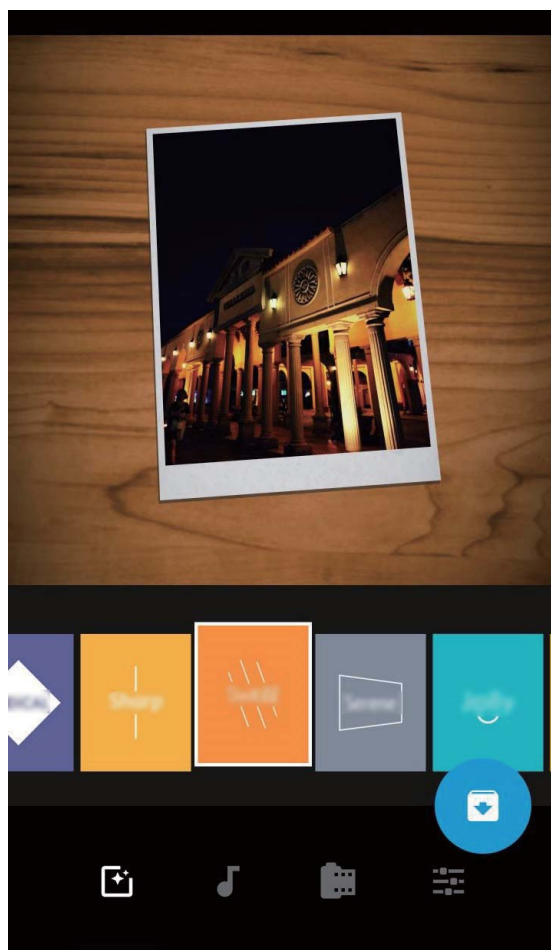
ハイライトアルバムのカスタマイズ

ハイライトアルバムの写真やビデオ、BGM、またはハイライトビデオのビデオテンプレートを変更したい場合は、アルバムの写真やビデオをカスタマイズしたり、作ったビデオをお気に入りのBGMやテンプレートでカスタマイズしたりして、ハイライトアルバムを編集することができます。

-  ハイライトアルバムは、写真やビデオの撮影時間や撮影場所に従って作成されます。端末は、写真の撮影時間や撮影場所に従ってビデオを作成します。写真を撮影する前に、**カメラ**を開いて  をタップし、**GPSタグ**を有効にします。
- 端末がインターネットに接続されていることを確認してください。
- 端末がスリープモードで充電中の場合、電池残量が50%以上のときは、自動的に写真やビデオを整理してハイライトアルバムを作成します。分析が終わるまでは、少し時間がかかる場合があります。ギャラリーにある写真やビデオの数が少ない場合（写真が7枚未満）、ハイライトアルバムの自動作成は行われません。

 **ギャラリー**を開きます。**ハイライト** タブで、表示または編集したいハイライトアルバムをタップします。その後以下の操作を実行することもできます。

- **ハイライトの再生または編集**:  をタップします。再生中に画面の下にあるオプションバーを使用すると、ビデオのテンプレートやBGMを編集できます。
-  初めて本機能を利用する際、 をタップすると、Quickのインストール方法が表示されます。
- 表示に従って、Quickをインストールしてください。



- **アルバムの写真やビデオの追加または削除**: 写真やビデオをアルバムに追加するには、**+** をタップして、追加する写真やビデオを選択します。その後に **✓** をタップすると、それらがアルバムに追加されます。写真やビデオをアルバムから削除するには、削除する写真やビデオを長押しして、**✕** をタップします。その後に **移動** をタップすると、そのアイテムがアルバムから削除されます。

i アルバムに追加できるのはMP4形式のビデオのみです。

- **アルバムの写真やビデオの共有**: 共有する写真やビデオを長押しして **共有** をタップし、共有方法を選択します。その後、画面の指示に従って共有操作を完了します。
- **ハilightアルバムの名前の変更**: **名前変更** をタップして新しい名前を入力します。
- **ハilightアルバムの削除**: **削除** をタップして、削除 をタップします。

写真の管理

写真認識を使用して写真をスマートに整理する

写真の整理に時間がかかったり、探している写真がなかなか見つからないことがあります。そんなときは、写真認識機能を使用すると、ギャラリー内でポートレート、場所、風景、食べ物などのカテゴリー別に写真が自動的に整理されるため、探しているものを素早く見つけることができます。

写真をスマートに整理する: ギャラリーでは、撮影した写真がポートレート、場所、風景、食べ物などのカテゴリー別に自動的に整理されるため、探しているものを素早く見つけることができます。

まとめた写真をカスタマイズする: ギャラリーに様々なポートレートアルバムを自動的にまとめた後、ユーザーはポートレートのアルバム名を手動で変更し、関係(「赤ちゃん」、「お母さん」など)を設定できます。設定が完了した後は、様々な写真アルバムを名前に表示できます。また、ギャラリー検索バーで名前と関係を検索することで、写真を探すこともできます。

グループ写真をアルバムにまとめる: ギャラリーでカテゴリーが識別されると、作成したアルバムに名前を設定できます。ギャラリーでは、10個以上になったグループ写真をひとまとめにして、グループ写真アルバムを作成します。

ビデオの編集

ビデオをトリミングする:  ギャラリー を開き、編集するビデオを選択して  をタップすると、ビデオ編集画面になります。トリミング領域のスライダーをドラッグして、残したい部分を選択します。✓ をタップすると、ビデオのトリミングが完了します。

ビデオの解像度を調整する: スライダーをドラッグして残したい部分を選択し、 をタップするとトリミング後のビデオがプレビュー表示されます。さらに、編集画面上のビデオ解像度オプションをタップして、ビデオ解像度を調整することもできます。

 解像度が高いほどビデオが鮮明になりますが、必要なストレージ容量も増えます。必要に応じて選択してください。

複数の人物が登場する長いビデオの場合、見たい特定の人物が写っている部分を見つけるためだけに、ビデオ全体を繰り返し視聴する必要があります。AIを駆使することで、手間を減らして検索作業を自動化できます。端末画面がOFFで、電池の充電レベルが50%を超えていれば、ビデオの登場人物をシステムが自動的に分析し、特定の人物のハイライト場面を作成します。ビデオを再度見たい場合は、上にスワイプするとビデオの作成された部分を視聴できます。

 ビデオの長さは15秒～ 3分以内に収まるようにしてください。

スローモーションビデオの再生の調整

 ギャラリー を開き、録画済みのスローモーションビデオを選択して  をタップすると、再生を開始します。画面をタップし、編集領域のスライダーをドラッグして、スローモーションで再生する部分を選択します。

写真の編集

撮影した写真は、編集してさらに見映えをよくしたくなるものです。ギャラリーの編集機能を使用すると、トリミングや回転、様々な効果(落書き描画、ウォーターマークのカスタマイズ、フィルタなど)を適用して写真をさらに印象的にすることができます。

 ギャラリー に移動し、編集する写真を選択して  をタップすると、写真の編集画面になります。次の機能を使用して、写真を編集することができます。

- **写真の回転:**  をタップし、角度つまみをスライドさせて、写真の回転角度を自由に調整できます。また、**回転** または **鏡** をタップすると、写真を90° 回転させたり、左右を逆にしたりできます。

- **写真のトリミング**:  をタップし、グリッドツールボックスまたはその端をドラッグして選択します。また、固定トリミング率を選択し、グリッドツールの端をドラッグして写真をトリミングすることもできます。
- **フィルタ効果の追加**:  をタップしてフィルタ効果を選択します。
- **色の保持**:  をタップし、画面の指示に従って、保持する色を選択します。色を保持するよう選択した領域が強調表示されます。
- **写真をぼかす**:  をタップして、ぼかしモードを選択し、スライダーをドラッグすると、ぼかしのレベルを調整できます。
- **写真効果の調整**:  をタップして、写真の明るさ、明暗差、彩度、その他のパラメータを調整できます。
- **ポートレート写真のビューティー効果**: ポートレート写真が自動検出されると、ビューティー機能が自動的に作動します。写真の編集画面で  をタップすると、スムージング、コンシーラー、細面、目元を洗練などの機能を適用して、さらに魅力的なポートレート写真にすることができます。
- **モザイク写真の作成**:  をタップして、モザイク効果とサイズを選択し、モザイク写真を作成できます。
- **写真に手書きで落書きする**:  をタップして、ブラシと色を選択し、写真に落書きを追加できます。
- **ウォーターマークの追加**:  をタップして、ウォーターマーク(時刻、場所、天気、ムードなど)を選択し、写真をカスタマイズできます。
- **タグの追加**:  をタップし、注釈スタイルとフォント書式を選択して、写真に情報を付け加えることができます。

写真やビデオの閲覧と共有

古い写真やビデオを閲覧すると、大切な記憶がよみがえります。写真やビデオは端末のギャラリーに保存されています。写真を撮影時刻や撮影場所別に表示したり、アルバム別に表示したりできます。

写真を全画面で表示する:  ギャラリーを開いて写真をタップすると、写真が全画面モードで表示されます。画面をもう一度タップすると、メニューが非表示になります。写真を全画面モードで表示しているときには、次の操作を実行できます。

- **写真やビデオに関する基本情報の表示**: 写真またはビデオを上にもスワイプすると、その写真またはビデオの基本情報が表示されます。
- **写真のズームインとズームアウト**: 画面に2本の指を置いてピンチアウトすると写真にズームインし、ピンチインするとズームアウトします。写真の解像度が画面の解像度より高い場合は、2本の指を使って写真にズームインし、指を画面から離すと、写真を最大2倍に拡大できます。
- **撮影パラメータの表示**:  をタップし、詳細情報ウィンドウを上下にもスワイプすると、ISO(感度)、EV(露出補正)、解像度、その他の写真の詳細な撮影パラメータが表示されます。
- **写真の名前の変更**:  > 名前を変更 に移動して新しい名前を入力します。
- **写真を連絡先の写真またはホーム画面の壁紙として設定する**:  > 登録 に移動し、写真を 壁紙 または 連絡先の写真 として設定します。

写真やビデオの共有:  **ギャラリー** を開き、任意のアイテムを長押しして選択画面を表示し、共有するアイテムを選択します。次に、 をタップして共有方法を選択し、画面の指示に従って共有操作を完了します。

撮影時刻別に表示: **写真** タブでは、写真やビデオが撮影時刻別に表示されます。写真を全画面モードで表示しているときに撮影日を表示するには、 > **設定** に移動して **時間と場所を表示** を有効にします。**写真** タブでは、2本の指でピンチアウトすると画面がズームインし、ピンチインすると画面がズームアウトします。また月単位と日単位の表示を切り替えることができます。

撮影場所別に表示: **カメラ** 設定メニューで **GPSタグ** を有効にした状態で写真やビデオを撮影すると、写真やビデオを地図モードで表示できます。**写真** タブで  をタップすると、位置情報付きの写真やビデオが、地図上の対応する撮影場所に表示されます。また、画面を2本の指でピンチアウトすると地図がズームインし、撮影場所の詳細が表示されます。写真のサムネイルをタップすると、その場所で撮影されたすべての写真やビデオが表示されます。

アルバム別に表示: **アルバム** タブでは写真やビデオをアルバム別に表示できます。一部の写真やビデオは、システムで指定されているデフォルトのアルバムに保存されます。たとえば、カメラで録画したビデオは **ビデオ** アルバムに保存されます。スクリーンショットとスクリーン録画は **スクリーンショット** アルバムに保存されます。

スライドショーの再生: **写真** タブで  > **スライドショー** をタップすると、写真のスライドショーが自動的に再生されます。再生を停止するには、画面をタップします。

アルバムの整理

新しいアルバムに写真やビデオを追加する: **アルバム** タブで **アルバムの追加** をタップし、アルバム名を入力して、OK をタップします。写真やビデオを選択して、新しいアルバムに追加します。

写真やビデオの移動: 写真やビデオを様々な場所から同じ1つのアルバムに移動して、まとめて管理したり閲覧したりすることができます。移動元のアルバムを開き、写真またはビデオを長押しして、 **ア** イコンが表示されたら、移動する写真やビデオを選択します。 をタップして、移動先のアルバムを選択します。移動したアイテムは、元の場所からなくなります。

お気に入りの写真やビデオ: お気に入りの写真やビデオを個別に保存することができます。写真やビデオをお気に入りにすると、簡単に閲覧できるようになります。お気に入りにする写真やビデオを開き、 をタップして **自分のお気に入り** アルバムに保存します。お気に入りにしたアイテムは、元の場所にも残ります。ただし、サムネイルに  アイコンが表示されます。

 **カメラ、ビデオ、自分のお気に入り、スクリーンショット** などのアルバムは調整できません。

アルバムを非表示にする: 他人に見られたくない大切なプライベートアルバムがある場合は、非表示にしてプライバシーを確保することができます。**アルバム** タブで  > **アルバムを非表示** に移動し、非表示にするアルバムのスイッチをオンにします。

 **カメラ、ビデオ、自分のお気に入り、スクリーンショット** などのアルバムは非表示にできません。

写真やビデオの削除: 写真またはアルバムを長押しして、 アイコンが表示されたら、削除するアイテムを選択して、 > **削除** に移動します。削除した写真やビデオは **最近削除したファイル** アルバムに保持され、システムから完全に削除されるまでの日数がタグで示されます。期限切れになる前に **最近削除したファイル** から写真やビデオを完全に削除するには、完全に削除する写真やビデオを選択してから、 > **削除** に移動します。

削除した写真やビデオの復元: **最近削除したファイル** に移動して写真またはビデオを長押しし、 アイコンが表示されたら、復元するアイテムを選択して  をタップします。それらが元のアルバムに復元されます。元のアルバムが削除されている場合は、自動的に新しいアルバムが作成されます。

端末管理

ワンタップ最適化

端末の動作が遅くなってきたと感ずることがあります。マルウェアや他のセキュリティの脅威に対する脆弱性が心配になることもあります。ワンタップ最適化を使用すると、端末の動作がよりスムーズになり、セキュリティの脅威からも保護されます。

 **端末管理** を開いて、**最適化** をタップします。全体的なパフォーマンスの最適化、セキュリティの最適化、電池パフォーマンスの最適化、端末管理の最適化が端末によって自動的に実行されます。最適化のオプションはカスタマイズできます。ただし、ワンタップ手動最適化の実行が推奨されます。これを行うと、動作の高速化、セキュリティリスクの確認、消費電力の最適化、不明な番号からの電話や迷惑電話の監視およびブロックが可能になります。

モバイルデータ通信量の管理

追加料金がかからないようにモバイルデータの通信量を管理します。

 **端末管理** を開いて **データ通信量** をタップし、データ使用統計を表示するか、スマートデータセーバーを有効にします。

- **今月のデータ通信量**: 各アプリのデータ使用状況を確認します。
- **ネットワークアクセス**: 各アプリのインターネット接続権限を管理します。
- **スマートデータセーバー**: データ節約モードを有効化して(バックグラウンドのアプリがモバイルデータを使用しないようにします)、データアクセス制限のないアプリを選択します。

消費電力の最適化

タイミング悪く電池残量がなくなった場合は、本当に困ります。スマート省電力管理によって端末の電池寿命を効果的に伸ばすことができるため、お気に入りのゲームなどのアプリをより長く楽しめます。

 **端末管理** を開き、 をタップすると以下の操作が実行できます。

- **総合的な消費電力の分析と最適化**: **電池消費量を最適化** をタップすると、消費電力の問題がチェックされ、パフォーマンスが自動的に最適化されます。
- **省電力モードまたはウルトラ省電力モードの有効化**: **省電力モード** または **ウルトラ省電力モード** を有効にします。電池寿命を延長するには、ご利用の端末の電池残量に応じて適切な省電力モード選択してください。
- **消費電力の詳細表示**: 消費電力の詳細を確認するには、**電池消費量詳細** をタップします。電池消費量詳細セクションの **充電中** の下に表示された色の付いた棒は、端末を充電した時点をそれぞれ示しています。色の付いた棒同士の隙間は、端末を充電していなかった時点をそれぞれ示しています。この機能は、電力を消費しません。消費電力の高いアプリやハードウェアを表示するには、**電池消費量ランキング** をタップします。

- **スマート解像度の有効化による省電力化**: スマート解像度は、端末の解像度を自動的に下げて電力を節約する機能です。画面の解像度を有効にして、**スマート解像度** を選択します。そうすると、バックグラウンドで動作するアプリに基づいて端末が画面の解像度を自動的に調整して電力を節約します。スマート解像度を有効化すると、画面の表示に影響することがあります。また、高い解像度が不要な場合は、画面の解像度を手動で設定して電力を節約することも可能です。

省電力設定について理解を深めるには、 **端末管理** を開き、 >  をタップして以下の操作を実行します。

- **消費電力の高いアプリの通知を有効化**: 消費電力が高いアプリを有効化すると、消費電力の高いアプリが端末で検出されたときに通知されます。その場合、**消費電力の高いアプリの履歴** をタップして消費電力の高いアプリを確認し、必要に応じて手動で無効化します。
- **ステータスバーに電池残量(%)を表示**: **電池残量表示位置** を有効にすると、ステータスバーに端末の電池残量(%)が表示されます。

ウイルススキャンの有効化

不適切な広告を開いたり、不正なリンクをタップすると、端末がトロイの木馬やマルウェアに感染し、気づかぬうちにインストールされて個人情報盗まれる可能性があります。ウイルススキャンを実行すると、潜在的な脅威を特定して除去し、端末を保護することができます。

ウイルススキャン はデフォルトで有効になっています。次の方法で確認できます。 **端末管理** を開いて、**ウイルススキャン** をタップします。**安全** アイコンが表示されれば、お使いの端末は安全だということです。また、 をタップすると、以下の設定を実行できます。

データネットワークでのクラウドベースのウイルススキャンおよびウイルスデータベース更新の有効化: このオプションが有効化されると、端末はデータネットワークを使用してクラウドベースのウイルススキャンとウイルスデータベースの更新を実行します。

- ① **ウイルススキャンの通知**はデフォルトで有効になっています。ウイルス対策スキャンを30日を超えて実行していない場合に、通知を受け取ります。

カレンダー

カレンダーの操作

毎日を忙しく過ごす方には、Huawei端末の **カレンダー** アプリを使って、日々のスケジュールを管理することをお勧めします。



予定の作成: **31** カレンダーを開き、**+** をタップして、タイトル、場所、開始時間、終了時間などの予定情報を入力します。**通知** に移動し、予定の通知を追加してから、**✓** をタップします。

予定の検索: カレンダー ページで **🔍** をタップし、タイトルや場所などの予定のキーワードを入力します。

カレンダーの設定: カレンダー ページで **≡** > **設定** に移動し、カレンダーの表示と通知をカスタマイズします。

目的地の正確な位置の確認: **31** カレンダーを開きます。ビューまたはスケジュールで、目的地が設定されている予定をタップすると、その予定に関する正確な位置情報を表示できます。

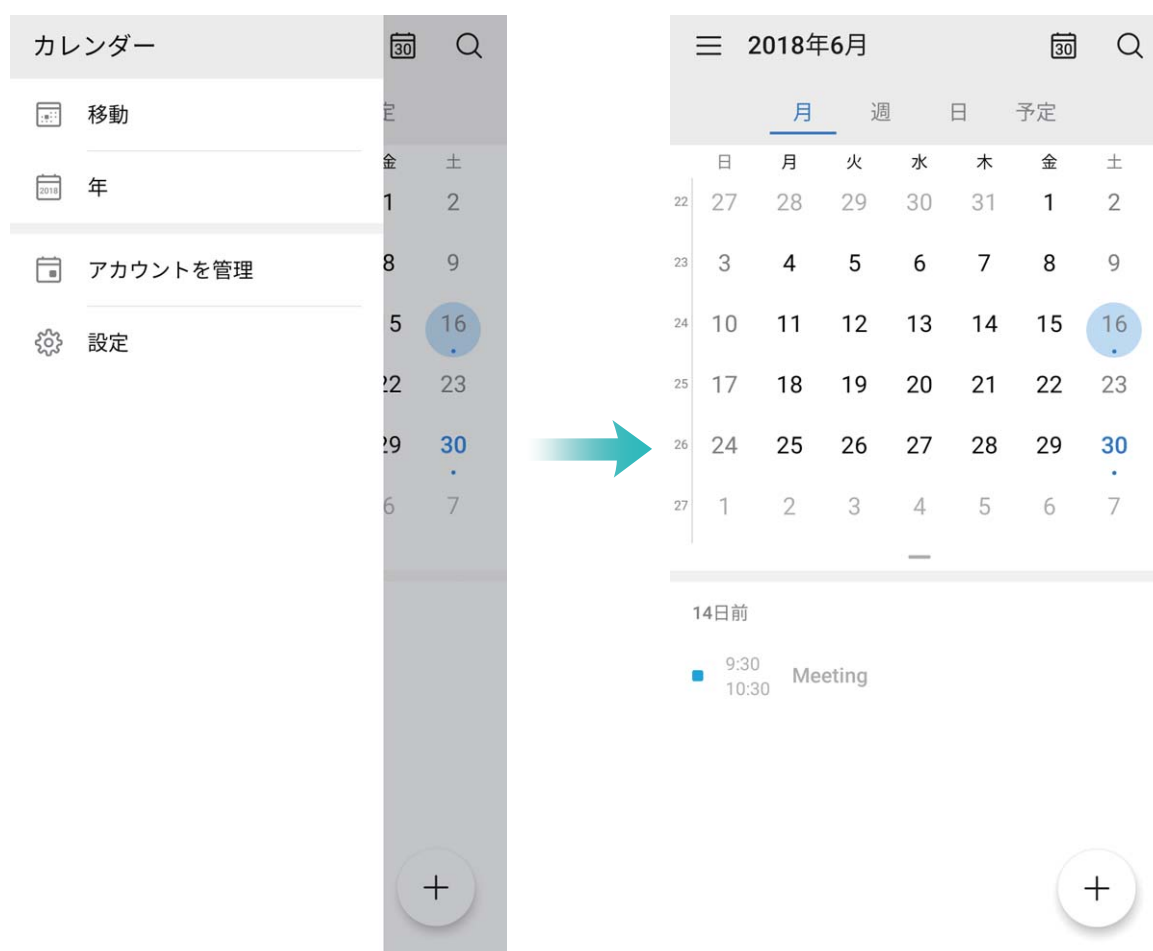
天気予報の確認: **31** カレンダーを開いてビューまたはスケジュールの予定をタップすると、予定がある日の天気予報を表示できます。

会議の参加者の確認: **31** カレンダーを開いて会議の通知をタップすると、参加者を表示できます。

To-Do をインポートしてタスクを整理する

To-Doがたくさんある場合、時間通りにこなすのは難しいものです。また、時には忘れてしまうこともあります。To-Doの項目をカレンダーにインポートして簡単に確認できるようにしておけば、大切な予定を忘れずに済みます。

会議の通知のインポート: **31** カレンダー を開いて ≡ > アカウントを管理 > アカウントを追加 に移動し、画面の指示に従って仕事用のメール(Exchangeアカウント)をカレンダーに追加し、会議の通知を確認します。



予定の共有: カレンダーの予定やスケジュールの予定をタップしてから、🔗 をタップし、画面の指示に従って、複数の方法のいずれかを使用して予定を共有します。

世界の休日の表示

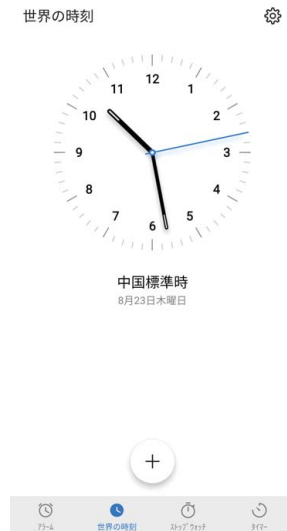
出張や休暇で海外旅行に出掛ける予定はありますか？ 渡航先の国の休日情報を前もってダウンロードしておくと、仕事などのスケジュールを立てやすくなります。

31 カレンダー を開いて ≡ > 設定 > 祝祭日 に移動し、渡航先の国に対応するスイッチをオンにします。その国の休日情報が自動的に端末にダウンロードされます。

時計

時計の使用

時計には多数の便利な機能や情報があります。時計はアラーム、世界時計、ストップウォッチ、タイマーとして使用できます。



世界各地の時間の表示:  **時計** に移動して **世界の時刻** タブにある  をタップし、都市の名前を入力するか、都市一覧から都市を選択します。  をタップして日時を設定します。

2つの地域の時間の表示:  **時計** に移動してから **世界の時刻** タブの  > **日付と時刻** に移動します。**デュアルクロック** を有効にし、**ホーム都市** をタップして都市一覧から住んでいる都市を選択します。



- i** 現在いる地域の時間がホーム都市と同じ場合、ロック画面には時間が1つだけ表示されます。

メモ帳

メモを管理して記録を整理する

重要なメモを共有したり、お気に入りになにかを追加したいことはないでしょうか。メモを管理して、レコードを整理します。

メモの共有: 会議のメモを同僚に送りたいことはないでしょうか。**すべてのメモ** または **すべてのTo-do** の一覧ページで、共有したいメモを開いてから、 をタップし、共有方法を選択して画面の指示に従います。

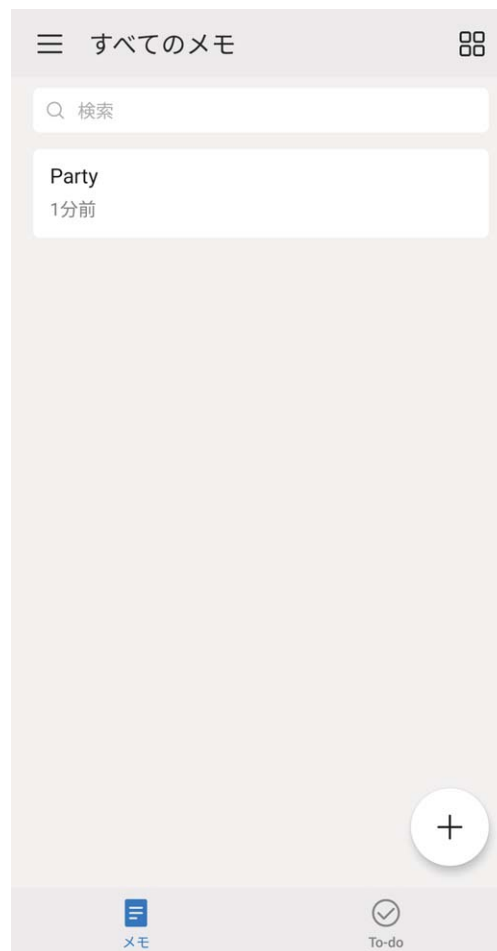
メモのお気に入りへの追加: 後で参照できるように、お気に入りになにかを追加したいことはないでしょうか。**すべてのメモ** の一覧ページで、メモを左にスワイプして  をタップします。または、お気に入りになにかを追加したいメモを開いて、 をタップします。

メモの削除: 日付が古いメモを削除したいことはないでしょうか。**すべてのメモ** または **すべてのTo-do** の一覧ページで、メモを左にスワイプしてから  をタップします。または、メモを長押ししてオプションを表示し、削除したいメモを選択して、 をタップします。

メモの検索: メモをすばやく見つけたいことはないでしょうか。**すべてのメモ** の一覧ページにある検索バーをタップして、検索バーにキーワードを入力します。または、ホーム画面を下にスワイプして検索バーにアクセスし、検索バーにキーワードを入力します。

To-Doリストの生成: ショッピングリストを作成したいことはないでしょうか。**メモ帳** ページで  >  をタップして、項目に入力してから、**保存** をタップします。複数の項目を追加してTo-Doリストを生成します。

-  項目の入力が完了したら、**すべてのTo-do** の編集ページに移動して、入力済み項目の左側の  を選択します。



手書きメモの追加:図や手書きメモを手軽に保存したいことはないでしょうか。**メモ** > **+** に移動し、**✎** をタップして、メモを作成し、**✓** をタップして保存します。メモ帳で文章の作成や描画ができます。

メモへのタグの追加:メモのカテゴリを簡単に表示したいことはないでしょうか。**すべてのメモ** の編集ページで、**🏷** をタップし、さまざまな色のタグを使用して内容別に分類し、メモを見やすくします。

ツール

音声レコーダーを使用した音声メモの作成

会議中に重要なメモを取る時間が足りないと感じたことはないでしょうか。取材や講義で取ったたくさんのメモを整理する必要に迫られることはありませんか。音声レコーダーを使用すると、音声ファイルに録音して後で簡単に再生することができます。

 **音声レコーダー**を開き、をタップして録音を開始します。録音中に、重要なポイントにタグを追加できます。をタップして録音を終了し、音声ファイルを保存します。

録音完了後、以下の操作を行うことができます。

- **タグによる録音の再生**: 録音ファイルリストで、**新規録音ファイル**をタップしてから、録音をタップして再生画面に切り替えます。そうすると、再生画面で追加したタグをタップしてその場所から録音を再生できます。
 - **録音ファイルの管理**: 録音を長押しすると録音の共有や削除などのオプションが利用できます。
-  録音ファイルリストで録音ファイルを長押ししてから、 > **詳細**をタップすると、録音ファイルの保存場所が表示されます。

スマートリモコン

スマートリモコン: 端末から家電機器を操作

スマートリモコンを使うと、端末から家電機器を操作できます。1台の端末でさまざまな家電機器(TV、冷暖房、セットトップボックス、DVDプレイヤー、カメラ、プロジェクター、ネットワークSTBなど)を簡単に操作できます。

-  ● スマートリモコンは、赤外線リモコンが付属している家電機器に対して使用できます。Bluetoothなど、赤外線以外のリモコンを使用する機器では機能しません。
- ビデオ通話中、バックグラウンドで着信中、サードパーティアプリからの音声メッセージ送信中、またはイヤホンの使用中には、リモコンは機能しません。
- 赤外線コードに関する業界統一規格はありません。このため、スマートリモコンでは一部の家電製品を操作できない場合があります。



- **端末を汎用リモコンとして使用する:** スマートリモコンに家電機器を追加すると、リモコンがどこにあるかを気にする必要がなくなります。好みに合わせてリモコンボタンをカスタマイズし、リモコンを使いやすくなることができます。
- **端末をカメラのリモコンとして使用する:** 端末をカメラのリモコンとして使用することで、グループ写真を撮るうまく撮影できます。スマートリモコンを使用すると、自然な表情を捉えた最高の1枚を撮影できます。

スマートリモコンによる家電機器の操作

スマートリモコンを使用して、リモコンを追加、カスタマイズ、セットアップできます。これにより、端末から家電機器を簡単に操作できます。

- ❗ **デザイン上の理由で、赤外線センサーは端末に埋め込まれています。つまり、ほとんどのリモコンに比べて有効角度が小さくなります(0-45°)。機器をリモート操作するときには、端末の上部にある赤外線トランスミッターを、対象の機器に直接向けてください。**
- 電力の過剰な消費を防ぐため、端末の赤外線トランスミッタの出力は通常のリモコンよりも小さく、有効な距離は最大7mです。

リモコンのカスタマイズ: スマートリモコン を開いて > **カスタマイズ** をタップし、コントローラテンプレートを選択して、灰色のボタンをタップします。コントローラの機能が学習されます。学習中に、端末とリモコンの間を約5cmの間隔で維持し、動かさないようにします。ボタンを2秒以上長押ししてください。

- ❗ エアコンのリモコンはカスタマイズに対応していません。

リモコンの設定: スマートリモコン を開いて **設定** をタップし、ボタン操作時の鳴動を有効または無効にします。

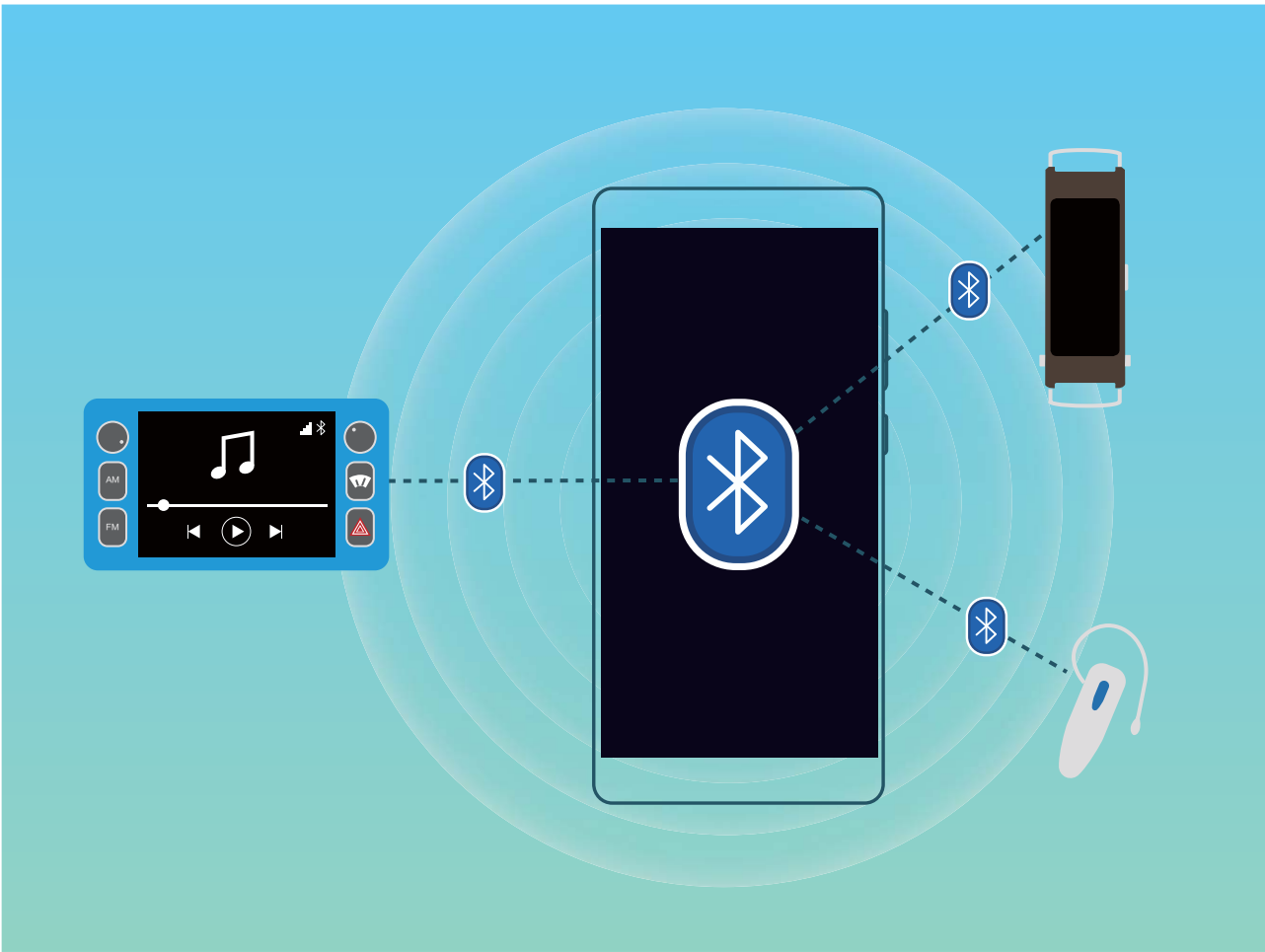
グループ写真を撮影するときに、カメラのリモコンやタイマーを使用する必要はありません。端末のスマートリモコンを使用することで、特別な瞬間を簡単に撮影することができます。

デバイス接続

Bluetooth

端末の Bluetooth 機器への接続

Bluetoothを使用することで、端末をBluetoothヘッドセットや車内Bluetoothに接続して、運転中にナビを利用したり、音楽を聴いたりできます。また、端末をBluetoothウェアラブル機器に接続して、健康に関するデータを記録/管理することもできます。Bluetooth機器を端末に接続しても、消費電力が大幅に増加することはありません。



Huaweiの端末が使用するBluetoothプロトコルとその機能:

HFP、HSP	通話
A2DP	音楽の再生
AVRCP	音楽再生のコントロール
OPP	ファイルの転送
PBAP	連絡先の同期
MAP	テキストメッセージ(SMS)の同期

HID	Bluetoothキーボードとマウスの操作
PAN	テザリング
BLE	BLE (Bluetooth Low Energy) 機器への接続

Bluetoothを有効または無効にする: ホーム画面でステータスバーを下にスワイプし、ショートカットパネルを開きます。次に  をタップしてBluetoothを有効または無効にします。 を長押しすると、Bluetooth設定画面が表示されます。

Bluetooth機器のペアリング: Bluetooth機器の設定画面で **BluetoothをONにする** を有効にします。Bluetooth機器が他の端末から検出可能な設定になっていることを確認します。**使用可能なデバイス** で、ペアリングする機器をタップし、画面の指示に従ってペアリングを完了します。

Bluetooth機器のペアリング解除: Bluetooth機器の設定画面で **BluetoothをONにする** を有効にします。ペアリングされている機器の名前の横にある  をタップし、**ペアリング解除** をタップします。

Bluetooth機器の名前の変更: Bluetooth設定画面で **BluetoothをONにする** を有効にします。**端末名** をタップして機器の新しい名前を入力し、**保存** をタップします。

Bluetoothヘルプの表示: Bluetooth設定画面で  をタップすると、車載システム、ヘッドセット、スピーカー、ウェアラブル機器、端末、タブレット、コンピュータとのBluetooth接続の確立方法に関する情報が表示されます。

Bluetooth によるデータの共有

Bluetooth経由で端末を別の端末に接続することで、データの共有、連絡先のインポートとエクスポート、インターネットテザリングの設定が可能になります。

Bluetoothによるファイルの送信: 端末が別の端末のBluetooth有効範囲内(10m)にあることを確認します。Bluetooth接続を確立して、2台の端末間でマルチメディアファイル、Webページ、連絡先、ドキュメント、アプリを共有できます。 **ファイル** を開き、送信するファイルを長押しして、**その他 > 共有 >**

Bluetooth に移動します。画面の指示に従ってBluetoothを有効にします。該当する端末が検出されたら (Bluetoothが有効で、その端末が他の端末から検出可能である必要があります)、端末の名前をタップすると接続が確立され、ファイルの送信が開始します。

Bluetooth経由でのファイルの受信: ホーム画面でステータスバーを下にスワイプし、ショートカットパネルを開きます。次に  をタップしてBluetoothを有効にします。ファイル転送通知で **受信** をタップすると、ファイルの受信が開始します。デフォルトでは、受信したファイルは **ファイル** の **bluetooth** フォルダに保存されます。

Bluetooth経由での連絡先のインポート/エクスポート:  **連絡先** を開き、 **> インポート/エクスポート** に移動して以下の操作を実行します。

- **連絡先のインポート:** Bluetooth経由で**インポート** をタップし、画面の指示に従って、該当する端末とのBluetooth接続を確立します。該当する端末の連絡先がこの端末に自動的にインポートされます。
- **連絡先のエクスポート:** **連絡先の共有** をタップし、共有する連絡先を選択して  をタップし、**Bluetooth** を選択します。画面の指示に従って、該当する端末とのBluetooth接続を確立します。選択した連絡先が、この端末から該当する端末に自動的にエクスポートされます。

NFC

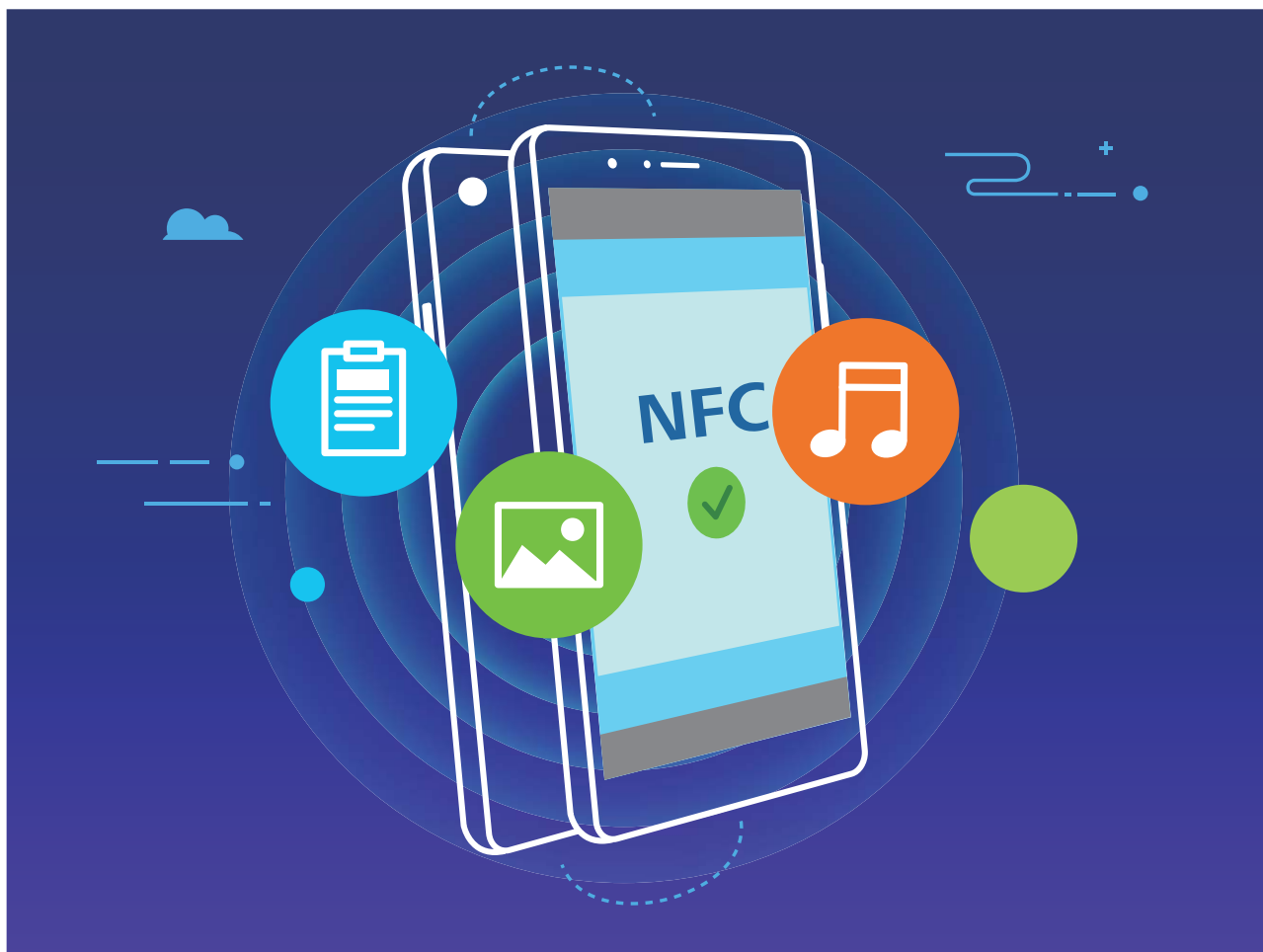
NFC: 近距離でのデータ転送

NFC (Near Field Communication) は、近距離無線通信を実現するテクノロジーです。NFCのポイントツーポイントモードでは、2台の端末間の間隔が10cm未満の場合に、リアルタイムでデータを転送できます。この方法では、写真、ネットワーク、アプリを簡単に共有できます。NFCの読み取り/書き込みモードでは、NFCタグに含まれる製品情報を確認できます。NFCカードエミュレーションモードでは、端末を銀行カードとして簡単かつ素早く決済が可能となります。



NFC を使用してデータを素早く共有

NFCでは、2台の端末間でペアリングを行わずにデータを素早く共有できます。両方の端末のNFC検出エリアを互いに近づけるだけで、NFCが有効になった端末間で、ファイルやデータを素早く転送できます。



NFCを使用したデータ送信:  **設定** を開き、**デバイス接続** をタップして、**NFC** と**Huawei Beam**を有効にします。送信するファイルを選択して、**共有** > **Huawei Beam** をタップします。端末のロックを解除して画面を表示したままにしてください。両方の端末のNFC検出エリアを互いに近づけます。接続が確立されると、送信側端末で音声が鳴り、共有画面が最小化されます。送信側の端末の画面をタップすると、ファイル送信を開始します。

NFC経由でのファイルの受信:  **設定** を開いて、**デバイス接続** をタップして、**NFC** および**Huawei Beam**を有効にします。端末のロックを解除して画面を表示したままにしてください。両方の端末のNFC検出エリアを互いに近づけます。接続が確立されると、送信側の端末で音声が鳴ります。メッセージが表示された後、ファイル転送が完了するまで待ちます。デフォルトでは、受信したファイルは **ファイル** の **Beam**フォルダに保存されます。

 **NFC画面に 読み込み／書き込みとP2P スイッチが表示されている場合は、これも必ずオンにしてください。これらの機能は通信事業者によって異なる場合があります。**

NFC を使用して端末間の接続を素早く確立する

2台の端末のNFC検出エリアを互いに近づけることで、端末間でBluetooth接続またはWi-Fi接続を素早く確立できます。また、この方法でWi-Fi Direct接続を確立したり、端末の検索やペアリング、接続情報の入力といった操作なしでWi-Fiアクセスポイントを共有したりできます。



たとえば、Bluetooth端末をペアリングするときは、両方の端末でNFC、Huawei Beam、Bluetoothを有効にします。両方の端末でBluetoothペアリング画面を表示し、端末のNFC検出エリアを互いに近づけます。送信側の端末で音声が届き、送信画面が縮小表示されたら、画面の指示に従って送信側の端末の画面をタップし、Bluetooth接続を確立します。

i NFC画面に **読み込み／書き込みとP2P** スイッチが表示されている場合は、これも必ずオンにしてください。機能は通信事業者によって異なる場合があります。

デスクトップモード

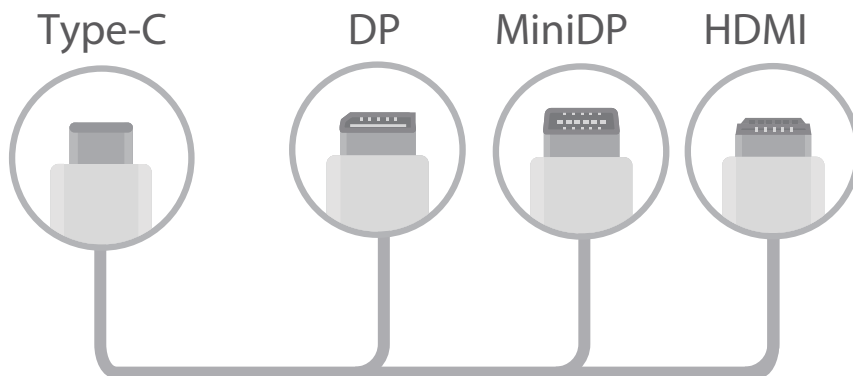
端末の外部ディスプレイへの接続

ケーブルを使用して端末を外部ディスプレイに接続できます。

USBポートがないドッキングステーションを使用して端末を外部ディスプレイに接続します。または、USBポートがあるドッキングステーションを使用して端末をディスプレイ、キーボード、マウスに同時に接続します。

- **USBポートがないドッキングステーション**: USB Type-Cから1つのインターフェースへの変換(USB Type-CからHDMIなど)が可能です。外部ディスプレイにHDMIポートがある場合は、USB Type-C – HDMI変換アダプタを使用して端末を外部ディスプレイに接続します。
- **USBポートがあるドッキングステーション**: USB Type-Cから複数のインターフェースへの変換(USB Type-CからHDMI/USB/USBなど)が可能です。外部ディスプレイにHDMIポートがあるがマウスとキーボードも端末に接続したい場合は、USB Type-C – HDMI/USB/USB変換アダプタを使用します。

または、USB Type-C – DisplayPort/HDMIケーブルを使用して、端末を外部ディスプレイに直接接続します。



! アダプタに接続する機器が多すぎると、正しく機能しないことがあります。

- i** ● アダプタを介して端末が外部ディスプレイに接続されている場合、アダプタを充電器につないで端末を充電することができます。充電器がHuaweiの充電仕様に適合している必要があります。出力が5V/2Aよりも小さい充電器は使用しないでください。
- Bluetoothを使用してマウスやキーボードを端末に直接接続することもできます。
- デスクトップ画面の表示サイズが外部ディスプレイに適合しない場合は、ディスプレイ装置の設定メニューにアクセスして、映像調整モードを「自動」に変更します。外部ディスプレイのデスクトップで画面を右クリックして画面モードを調整することもできます。設定はテレビやプロジェクターによって異なります。ご利用のテレビやプロジェクターの実際の表示に従ってください。

無線方式で端末を外部ディスプレイに接続できます。

以下の方法のいずれかを使用して、端末を外部ディスプレイに接続できます。

- 外部ディスプレイがMiracastに対応している場合は、端末のWi-Fiをオンにすれば、外部ディスプレイに端末を接続できます。
- 外部ディスプレイがMiracastに対応していない場合は、無線HDMIアダプタを使用して端末とディスプレイを接続できます。無線HDMIアダプタを外部ディスプレイのHDMIインターフェースに挿入し、電源ケーブルを無線HDMIアダプタに接続します。無線HDMIアダプタが正常に動作したら、端末の  **設定** を開いて **デバイス接続 > PCモード** に移動し、**ワイヤレス投影** を有効にして、端末を無線HDMIアダプタのネットワークに接続します。

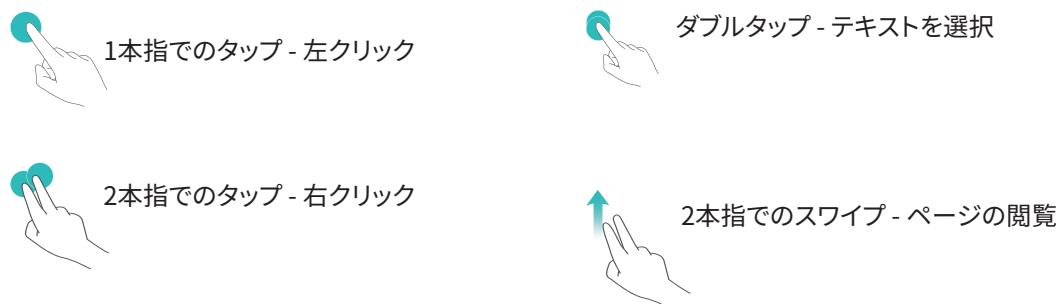
端末のステータスバーを下にドラッグするか、外部ディスプレイの通知センターを開いて、**端末 と デスクトップ** を切り替えてください。

端末をタッチパッドとして使用する

端末を外部ディスプレイに接続したときに、キーボードやマウスが手元がないという場合は、簡単な手順で端末をタッチパッドに変身させることができます。

ステータスバーを下にスワイプして、通知パネル内の **タッチパッド** をタップします。タッチジェスチャーを使用してマウスコマンドをエミュレートします。

- タッチジェスチャーを使用してマウスコマンドをエミュレートする



- 外部キーボードが接続されていないときに仮想キーボードを使って文字を入力する

 外部キーボードが接続されている場合、仮想キーボードを使用できません。

端末の画面を外部ディスプレイに投影する

デスクトップレイアウト: デスクトップレイアウトで端末の内容を表示できます。ステータスバーの電波状況アイコンをタップすると通知センターが開きます。時刻をタップするとカレンダーが開きます。また、ナビゲーションバーと同じように画面上のナビゲーションアイコンをタップできます。

マルチウィンドウ: 重要な作業をしているときには、複数のウィンドウを開いてドキュメントを相互に参照すると、作業効率が上がります。

ファイル管理: ファイルを手軽に管理できます。デスクトップにファイルを保存したり、新規のファイルやフォルダを作成したり、ファイル名を変更したり、ファイルを削除したりできます。

クイック検索: ファイルをすぐに見つけることができます。スタートメニューの検索バーから、ドキュメント、マルチメディアファイル、スタートメニューアプリを検索できます。

デスクトップの壁紙の変更: お気に入りの壁紙で気分が明るくなり、作業効率が上がります。デスクトップ上でマウスを右クリックして、デスクトップの壁紙を変更できます。

アプリショートカットの作成: デスクトップからすばやくアプリを開きたい場合があります。スタートメニューでアプリを長押ししてからデスクトップにドラッグすると、ショートカットを作成できます。または、アプリアイコンを右クリックして「デスクトップに送信」を選択しても、アプリのショートカットを作成できます。

音声出力: 音声出力デバイスを変更したい場合があります。音声出力デバイスとして外部ディスプレイか端末を選択できます。

大画面の会議: PPTを大画面に投影できます。タッチパッド、レーザーポインター、蛍光ペンを同時に利用できる場合、大画面に投影されたPPTに直接書き込むことで、より効果的なプレゼンテーションを行います。

クイックアプリ投影: 端末でアプリアイコンを長押しします。投影メニューが表示されたら、アプリを大画面に投影してそのアプリを開くことができます。

画面の個別管理: 仕事で外部ディスプレイを使用しているときに、端末でオンラインチャットアプリを使用したり着信に応答したりできます。大画面は視聴覚エンターテインメントにも使用できます。

マルチスクリーン表示

ワイヤレス投影: 端末のコンテンツを大画面で共有

端末とテレビ/ストリーミングボックスを同じWi-Fiネットワークに接続することで、マルチスクリーン共有を使用できます。写真をテレビに映し出して、友人や家族と楽しい思い出を共有できます。



プロトコルタイプ	接続手順	接続方法	画像共有方法
Miracast プロトコル	端末の画面に表示されている内容を、Miracast対応の別の機器(テレビ、プロジェクターなどの表示機器)にミラーリングします。	Wi-Fi経由で直接接続し、外部機器で画面共有機能(Miracastなど)をオンにします。	端末に表示される内容はすべて、外部機器の画面に共有されます。曲やビデオを再生すると、端末では画像だけが表示され、音声は再生されません。

ワイヤレス投影: 画面をミラーリング

ディスプレイ機器の選択: ステータスバーを下にスワイプして、ショートカットパネルを開きます。  をタップしてワイヤレス投影を開きます。ディスプレイ機器が検出されたら、アイコン()で示されている

対応する接続方式のいずれかを選択します。ディスプレイ機器がこれらの接続方式に対応していない場合は、Androidセットトップボックスを購入して、ディスプレイ機器に接続できます。



: Miracastに対応しています。ディスプレイ機器に画面をミラーリングできます。

ディスプレイ機器に画面をミラーリングする: ステータスバーを下にスワイプして、ショートカットパネルを開きます。 をタップしてワイヤレス投影を開きます。使用するディスプレイ機器をリストから選択します。必要に応じて、ディスプレイ機器でMiracast機能を有効にします。手順については、ディスプレイ機器のマニュアルを参照してください。

画面のミラーリングを終了するには、 > **切断** をタップします。

USB デバイスの接続

端末とコンピュータ間でのデータ転送

端末とコンピュータをUSBケーブルで接続し、データを転送します。

USB接続モードの選択

端末とコンピュータをUSBケーブルで接続すると、常用の接続方法を選択できます。端末とコンピュータ間で写真やファイルを転送したり、コンピュータへのUSB接続によって端末を充電したりできます。

ステータスバーを下にスワイプして通知パネルを開いた後、USB使用モードをタップし、コンピュータへの端末の接続方法を選択します。

- **写真を転送:** 端末とコンピュータ間で写真を転送します。
- **ファイルを転送:** 端末とコンピュータ間でファイルを転送します。
- **充電のみ:** 端末の充電だけを行います。
- **給電:** USBタイプCケーブルで端末と別の端末を接続し、別の端末に給電します。
- **MIDI入力:** 端末をMIDI入力端末として使用し、コンピュータで音楽を再生します。

USBポートを使用したデータの転送

端末とコンピュータをUSBケーブルで接続し、データを転送したり、その他のタスクを行うことができます。

- **ファイルの転送:** MTP (Media Transfer Protocol) は、メディアファイルを転送できるプロトコルです。このプロトコルを使用すると、端末とコンピュータ間でファイルを転送できます。MTPを使用する前に、コンピュータにWindows Media Player (11以降) をインストールしてください。

ステータスバーを下にスワイプすると通知パネルが開きます。USB接続方式として **ファイルを転送** を設定します。これにより、コンピュータに必要なドライバがインストールされます。コンピュータで、端末の名前が付いたドライブを開き、端末に保存されているファイルを閲覧します。Windows Media Playerを使用して端末のマルチメディアコンテンツを閲覧することもできます。

- **画像の転送:** PTP (Picture Transfer Protocol) は、画像を転送できるプロトコルです。このプロトコルを使用すると、端末とコンピュータ間での画像の転送が簡単になります。

ステータスバーを下にスワイプすると通知パネルが開きます。USB接続方式として **写真を転送** を設定します。これにより、コンピュータに必要なドライバがインストールされます。コンピュータで、端末の型番に基づく名前が付いたドライブを開き、端末に保存されている画像を閲覧します。

- **端末へのMIDIデータの転送**: MIDI (Musical Instrument Digital Interface) は、作曲家や電子楽器メーカーを対象とした業界標準のオーディオ規格です。

ステータスバーを下にスワイプすると通知パネルが開きます。USB接続方式として **MIDI入力** を設定します。これにより、この端末と別の端末の間でMIDIデータを転送できます。

端末と USB 機器間でのデータ転送

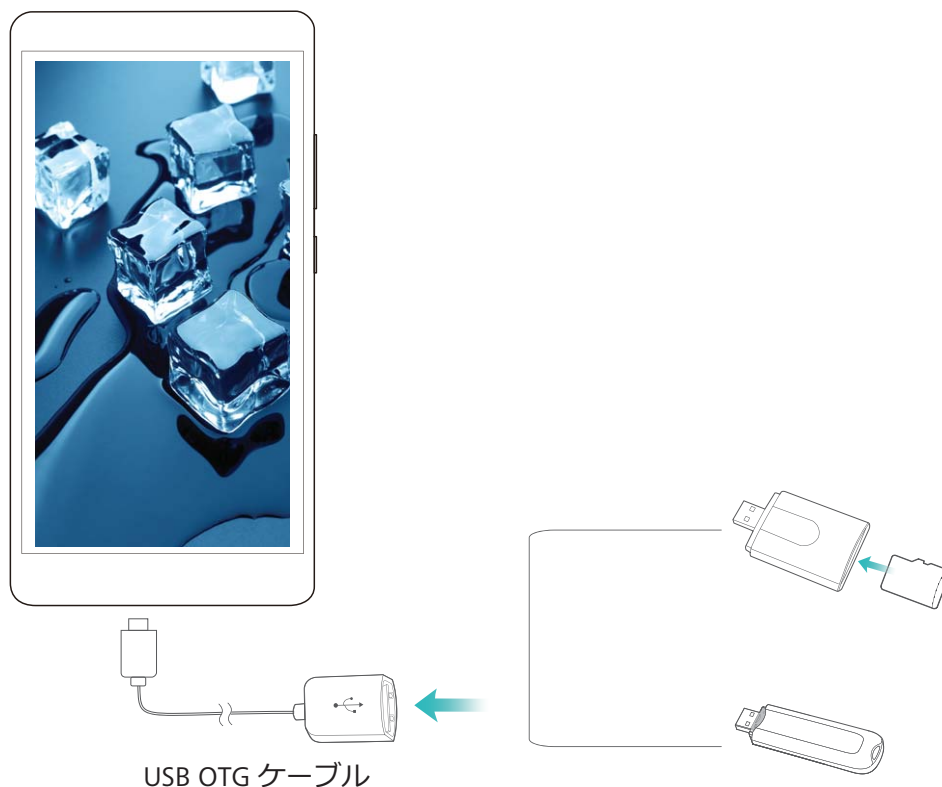
USB OTG (USB On-The-Go) によって、コンピュータを使用せずに、端末とその他の機器 (端末、タブレット、カメラ、プリンタなど) の間で直接データを転送できます。また、USB OTGケーブルで端末をUSBストレージデバイスに直接接続し、ファイルを転送できます。

端末とUSBストレージデバイス間のデータ転送

OTGケーブルを使用して、端末からUSBストレージデバイス (USBドライブ、カードリーダーなど) に直接アクセスできます。

- この機能が利用できるのは、USB OTGに対応した**機器**のみです。
 - Huawei認定のMicro USB-USB Type-Cアダプタ、またはUSB Type-Cコネクタ付きUSB OTGケーブルが必要です。

- 1 USBドライブと端末をUSB OTGケーブルで接続します。



- 2 ファイル > カテゴリ > メモリカード に移動し、USBドライブにアクセスして、コピーするデータを選択し、宛先フォルダにコピーします。
- 3 転送が完了したら、設定 > ストレージ > USBドライブ > 取り出し に移動します。
- 4 2台の機器から、USB OTGケーブルとUSBケーブルを抜きます。

Huawei Share

Huawei Share: すぐれたファイル共有方法

端末と他のモバイル端末間、または端末とコンピュータ間で素早くアプリを共有したり、写真やファイルを転送したいことがあります。Huawei Shareを使用すると、素早くアプリを共有し、端末、タブレット、コンピュータ間でファイルを無線で転送できます。

Huawei Shareは、以下の端末間のデータ転送に対応しています。

- モバイル端末とタブレット: Huawei Shareを使用すると、端末上の写真やファイルを、他のスマートフォンやタブレットと共有できます。共有する写真やファイルを長押しし、共有オプションからHuawei Shareを選択すると、モバイルデータ通信量を消費せずに簡単に共有できます。
- 端末とコンピュータ(WindowsまたはMac): Huawei Shareを使用すると、端末上の写真やファイルをコンピュータと共有することができ、コンピュータを使用して端末上の写真を編集することもできます。

Huawei Shareでは、USBケーブルを使わずに端末とコンピュータ間でデータ転送ができます。

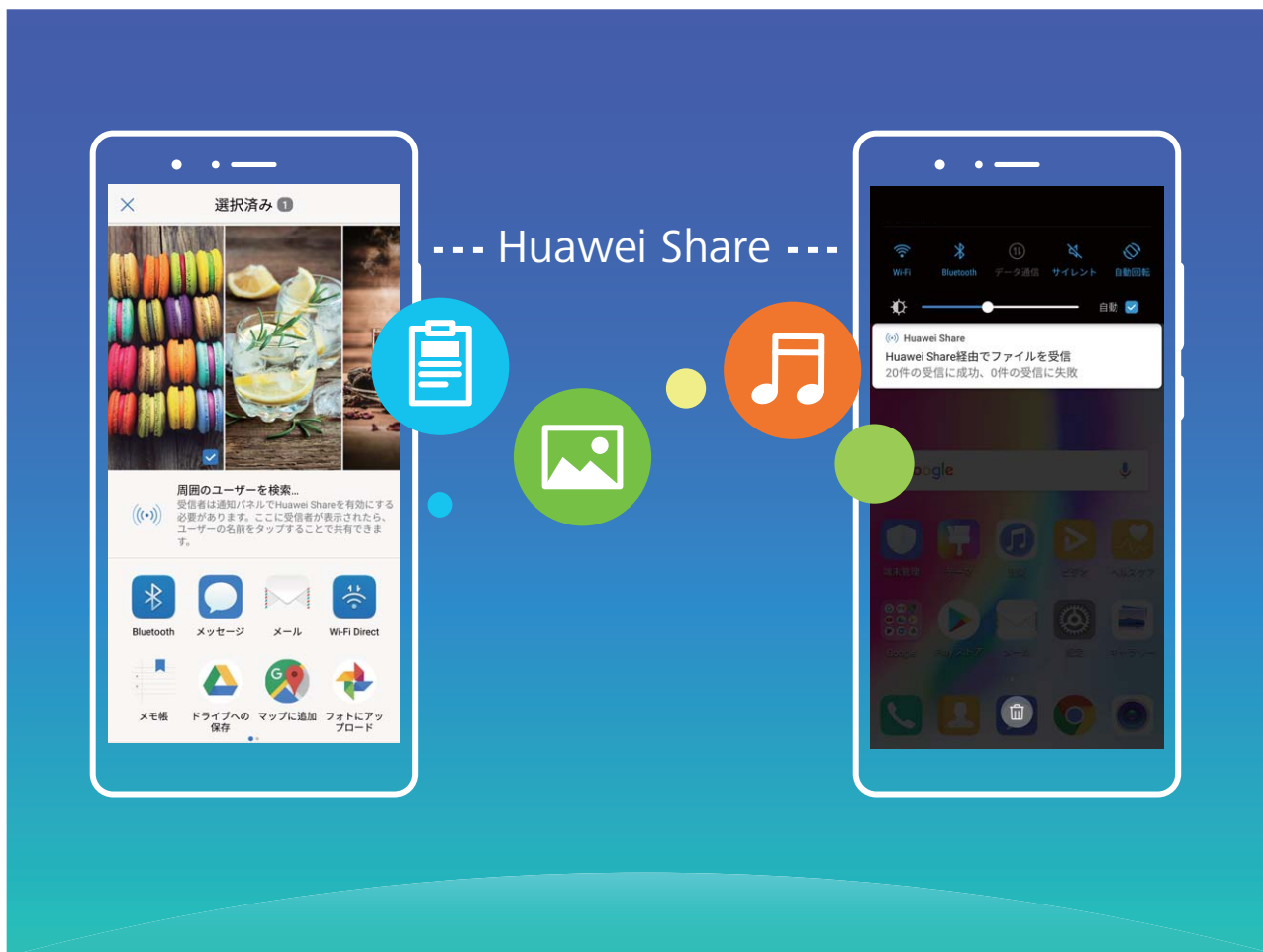
-  ただし、端末とコンピュータの両方が、同じネットワーク(Wi-Fiネットワークなど)に接続している必要があります。



Huawei Share を使用して Huawei 端末間でファイルを素早く共有する

Huawei Shareを使用すると、Huawei端末間で写真やビデオ、その他のファイルを素早く転送できます。Huawei Shareでは、近くにあるHuawei端末をBluetoothで検出し、モバイルデータ通信を使用せずに、Wi-Fiでファイルを素早く転送できます。

- i Huawei Shareでは、データの転送にWi-FiとBluetoothが使用されます。Huawei Shareを有効にすると、Wi-FiとBluetoothが両方とも自動的に有効になります。



Huawei Shareを使用したファイルの送信: 他のHuawei端末に送信したいファイルを選択し、共有 をタップします。近くにある端末のリストからファイル送信先の端末を選択し、ファイルを送信します。

Huawei Shareを使用したファイルの受信: ステータスバーを下にスワイプしてショートカットパネルを開き、 をタップしてHuawei Shareを有効にします。ファイル転送通知が表示されたら、受信 をタップします。デフォルトでは、受信したファイルは **ファイル** の **Huawei Share** フォルダに保存されます。

 2台のHuawei端末が同じHUAWEI IDを使用してログインしている場合、確認は必要ありません。

Huawei Share を使用して端末とコンピュータ間でファイルを転送する

Huawei Shareを使用すると、端末からコンピュータ(Windows/Mac)に写真やファイルを簡単に転送することができます。USBケーブルは必要ありません。

-  ● Huawei Shareでは、データの転送にWi-FiとBluetoothが使用されます。Huawei Shareを有効にすると、Wi-FiとBluetoothが自動的に有効になります。
- データ転送中に、端末とコンピュータが同じネットワーク(Wi-Fiネットワークなど)に接続されていることを確認します。

端末上のファイルをWindowsコンピュータと共有する

- 1  **設定** を開き、**デバイス接続** > **Huawei Share** をタップして **Huawei Share** を有効にします。コンピュータ上に表示される名前 を記録しておきます。
- 2 PCでネットワークフォルダを開き、コンピュータ上に表示される名前 をダブルクリックします。
- 3 パスワードを入力します。パスワードは **デバイス接続** > **Huawei Share** > **コンピュータでの確認** で確認できます。

4 アルバムまたは内部ストレージを表示します。

端末上のファイルをMacコンピュータと共有する

- 1  **設定** を開き、**デバイス接続** > **Huawei Share** をタップして **Huawei Share** を有効にします。コンピュータ上に表示される名前 を記録しておきます。
- 2 MacからFinderを開き、記録しておいた **コンピュータ上に表示される名前** をダブルクリックします。
- 3 新しいユーザーの登録を選択し、ユーザー名とパスワードを入力します。パスワードは **デバイス接続** > **Huawei Share** > **コンピュータでの確認** で確認できます。
- 4 アルバムまたは内部ストレージを表示します。

セキュリティとプライバシー

顔認証

顔情報の登録と顔認証の有効化

端末では3Dによる顔認証機能が利用し、通常(2D)よりも精度が高いです。顔情報を登録すると、画面のロックをすばやく解除したり、パスワードの代わりに自分の顔で安全に支払を済ませたりできます。

- 1 、**設定**を開きます。**セキュリティとプライバシー** > **顔認証**に移動し、ロック画面のパスワードを入力します。
 - 2 **スムーズな顔認証のために、端末持ち上げによる画面起動を有効にする**は、デフォルトで選択されています。端末を手にとって自分の顔にかざすたびに、端末の画面が自動的に点灯して顔が認識され、画面のロックが解除されます。この機能を使用しない場合は、このオプションを無効化してください。**顔を登録**をタップし、画面の指示に従って顔を登録します。
 - 3 顔認証の設定方法:
 - **ダイレクトロック解除**: **設定** > **セキュリティとプライバシー** > **顔認証**に移動し、ロック画面のパスワードを入力します。**顔認証**画面で、**ダイレクトロック解除**を選択します。そこで、端末を手にとって自分の顔に画面を合わせれば、画面のロックを解除できます。
 - **スワイプによるロック解除**: 画面を点灯させます。端末で顔情報が認識された後、指でロック画面をスワイプすると端末のロックが解除されます。
 - **スマートロック画面の通知表示**: **スマートロック画面の通知**はデフォルトで有効になっています。通知の詳細は、端末で顔の特徴が認識されるまでロック画面に表示されません。
 - **アプリロックへのアクセス**: **アプリロックへのアクセス**を有効にすると、顔認証機能を使用してアプリやロックされたアプリにアクセスできます。
-  ● 顔データを登録する場合は、カメラレンズに汚れがなく、顔と端末間の距離を20cm ~ 50cmに保ち、間にさえぎるものがないようにしてください。顔が登録ウィンドウに収まるように注意し、ゆっくりと画面に向いて顔データを登録します。
- 顔認証で端末のロックを解除する場合は、目を開けたままで端末にまっすぐ顔を向けます。絵や写真、動画では端末のロックを解除することはできません。
 - 顔認証機能は、5回連続で顔認証に失敗するとロックされます。ロックを解除するには、ロック画面のパスワードを入力する必要があります。
 - 端末の電源を初めてオンにした場合や再起動した場合は、ロック画面のパスワードを入力してロックを解除する必要があります。この場合、顔認証は使用できません。
 - 端末がクイック発信モードの場合や電話の着信で画面が点灯した場合は、顔認証は機能しません。通話が終了すると、顔認証が再度有効になります。

顔データの削除

顔認証を使用していない場合や顔データを再登録したい場合、現在の顔データを削除できます。

 **設定** を開き、**セキュリティとプライバシー** > **顔認証** に移動し、画面上の説明に従って、ロック画面のパスワードを入力します。次に、**顔データを削除** をタップし、画面上の説明に従って、現在の顔データを削除します。

端末持ち上げによるロック解除

 **設定** を開いて **セキュリティとプライバシー** > **顔認証** に移動します。顔データを登録する場合、スムーズな顔認証のために、**端末持ち上げによる画面起動を有効にする** を選択し、顔認証方法を **ダイレクトロック解除** に設定します。設定が完了したら、端末を持ち上げるだけで画面のロックを解除できるため、パスワードや指紋認証が不要になります。

顔データ登録時に **スムーズな顔認証のために、端末持ち上げによる画面起動を有効にする** が選択されていない場合、後でこの機能を設定できます。 **設定** を開き、**セキュリティとプライバシー** > **顔認証** に移動して、顔認証方法を **ダイレクトロック解除** に設定します。次に、 **設定** を開いて、**スマートアシスト** > **モーションコントロール** > **持ち上げる** に移動し、**端末起動** を選択します。

指紋

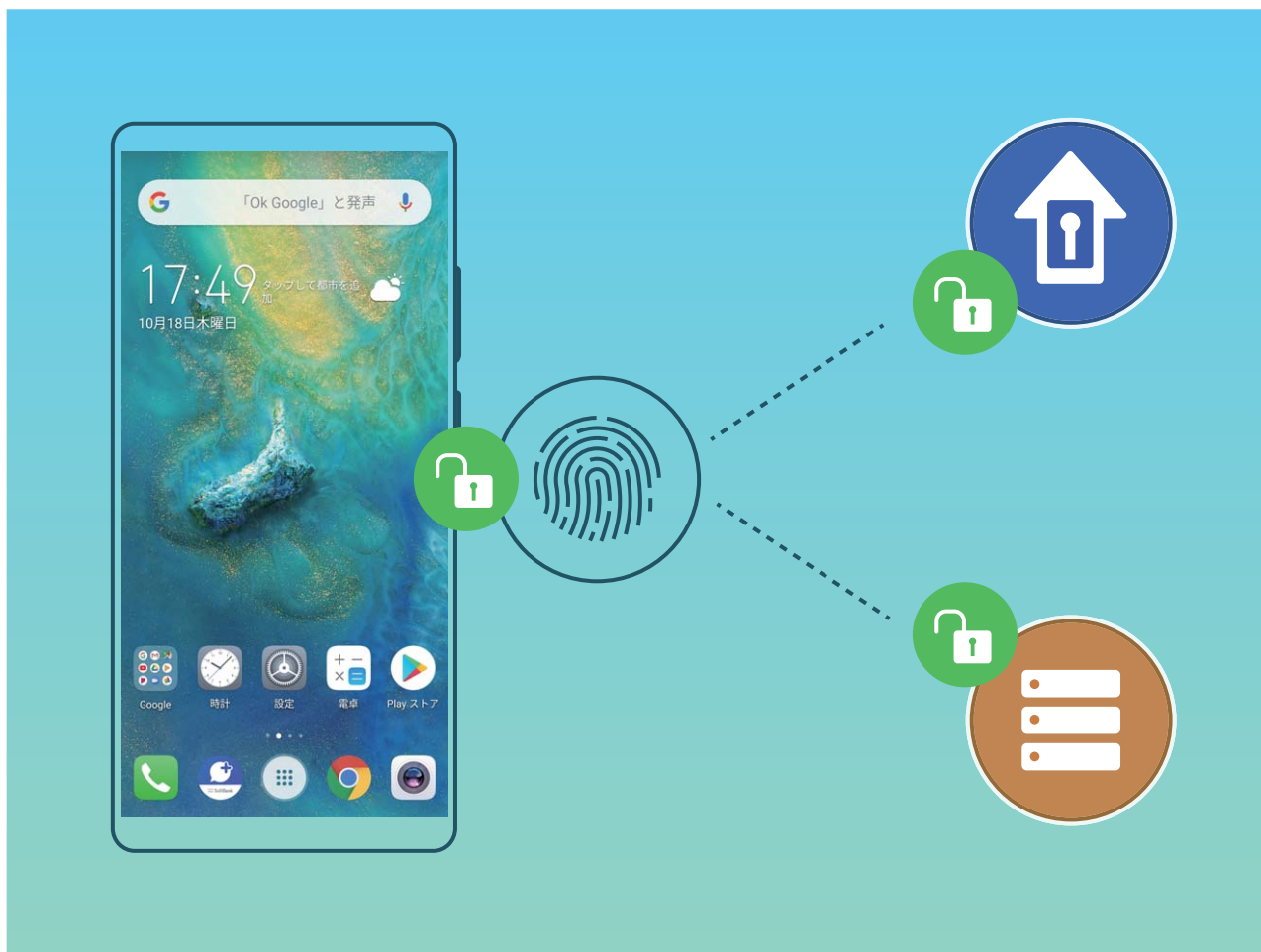
端末は外部での指紋認証を利用ではなく、画面内での指紋認証を利用します。

指紋認証: 素早い操作とセキュリティの向上

指紋認証を使用すると、ご利用の端末のロックを素早く解除できるだけでなく、個人情報のセキュリティも向上します。

指紋を使用すると、以下の操作を実行できます。

- **ワンタップでの画面ロック解除**: PINコードやパターンでの画面ロック解除は面倒なものです。指紋を使用すると、ワンタッチで画面のロックを素早くセキュアに解除できます。
- **プライベートファイルへのアクセス**: Safeボックスやロックしたアプリのパスワードを忘れたり、知らない人に知られたりすると大変です。Safeボックスやロックしたアプリに指紋でのアクセスを設定すると、ファイルやアプリの安全性を確保し、自分だけがアクセスできるようになります。



指紋のショートカットを使用した素早い端末操作

写真のシャッターボタンに手が届かないときや、素早く着信に応答したり、アラームを止めたりしたいときがあります。指紋センサーを使うことで、指1本でスムーズに写真を撮影したり、電話に出たりすることができます。指紋認証は不要です。

 **設定** を開いて **セキュリティとプライバシー** > **指紋ID** に移動します。ここから、次の機能に対して指紋のショートカットを有効にできます。

- **写真やビデオの撮影**: カメラのビューファインダー画面で指紋センサーを長押しすると、写真またはビデオを撮影できます。
- **着信への応答**: 指紋センサーを長押しすると、着信に応答できます。
- **アラームの停止**: 指紋センサーを長押しすると、アラームを止められます。
- **通知パネルの表示**: ポートレートモードで指紋センサーに指をあてて下にすべらすと通知パネルが表示され、2回タップすると通知がクリアされ、上にすべらすと通知パネルが閉じます。
- **画像の閲覧**: フルスクリーンモードで画像を表示しているときに指紋センサーを左右にスワイプすると、別の画像を表示できます。

指紋の登録

ご利用の端末に指紋を登録すると、パスワードの代わりに指紋で画面のロックを解除したり、Safeボックスやアプリロックにアクセスしたりすることができます。

- ⚠️ 指紋によるロック解除は、ロック解除方法が **パターン**、**PIN**、**パスワード** に設定されている場合にのみ使用できます。端末を再起動した後や指紋が認識されない場合は、画面のロック解除パスワードを使用して端末のロックを解除する必要があります。
- 指紋を登録する前に、指が汚れていたり、濡れていたりしていないことを確認してください。

- 1  **設定** を開きます。
- 2 **セキュリティとプライバシー** > **指紋ID** に移動して、画面の指示に従ってロック解除パスワードを設定します。
- 3 ロック解除パスワードを設定した後、**新しい画面内の指紋** をタップして指紋を登録します。
- 4 指先を指紋センサーの上に置きます。端末が振動するまで、センサーを軽く押します。指先のさまざまな部分を使用して、この手順を繰り返します。
- 5 登録完了後、**OK** をタップします。

画面のロックを解除するには、指紋センサーの上に指先を置きます。

指紋の追加または変更

端末には最大5つの指紋を登録できます。指紋を削除したり、名前を変更したりすることもできます。

- 1  **設定** を開きます。
- 2 **セキュリティとプライバシー** > **指紋ID** に移動します。
- 3 画面のロック解除パスワードを入力して、画面の指示に従って指紋の設定画面を開きます。
- 4 指紋リスト セクションでは、以下の操作を実行できます。
 - **新しい指紋の登録**: **新しい画面内の指紋** をタップして新しい指紋を登録します。
 - **指紋の名前の変更または削除**: 登録済みの指紋をタップして、名前を変更または削除します。
 - **指紋の識別**: **指紋認証** をタップして、登録した指紋を確認または選択します。

指紋を使用してプライベート情報に素早くアクセス

Safeボックスのプライベート情報やロックしたアプリにアクセスするたびにパスワードを入力するのは面倒なものです。指紋を使用すると、プライベート情報へのアクセスが簡単になります。この方法は、便利で安全です。

- 1  **設定** を開きます。
- 2 **セキュリティとプライバシー** > **指紋ID** に移動します。
- 3 画面のロック解除パスワードを入力して、画面の指示に従って指紋の設定画面を開きます。**Safeボックスへのアクセス**、**アプリロックへのアクセス** を有効にしてから、画面の指示に従ってパスワードを入力します。

これで以下の操作を行うことができます。

- **指紋によるSafeボックスへのアクセス**:  **ファイル** を開いて **Safeボックス** をタップすると、指紋を使用してSafeボックスにアクセスできます。
- **アプリロックでロックされたアプリへの指紋によるアクセス**: 指紋を使用して、ホーム画面のロックされたアプリを開くことができます。

位置情報サービスの有効化/無効化

位置情報に対する権限をアプリに許可すると、アプリは常に端末の位置情報を取得できるようになります。悪意のあるアプリが端末の位置情報を取得すると、損害を被ったり不正が行われたりする危険にさらされます。位置情報サービスは、必要に応じて有効/無効にすることができます。プライバシーを保護し、セキュリティを確保するために、アプリに許可されている権限を定期的に監視・管理してください。

位置情報サービスの有効化/無効化:  **設定** を開いて **セキュリティとプライバシー** > **位置情報サービス** に移動し、**現在地にアクセス** を有効または無効にします。位置情報サービスを有効にする際には、適切な測位モードを設定することもできます。位置情報サービスを無効にすると、プリインストールされているソフトウェア(端末探索など)を除き、端末のすべてのアプリとサービスが位置情報を収集・使用できなくなります。これらのアプリを使用しようとすると、システムから位置情報サービスを有効にするよう求められます。

-  ● 機能は通信事業者によって異なる場合があります。
- Huaweiは、個人情報を持定して収集するためではなく、ユーザーに必要な機能とサービスを提供する目的でのみ位置情報データを使用します。

屋内測位の支援機能の設定:  **設定** を開いて **セキュリティとプライバシー** > **位置情報サービス** > **詳細設定** に移動し、Wi-FiおよびBluetoothのスキャンを有効または無効にします。Wi-FiネットワークとBluetooth端末のスキャンによって、屋内測位の精度が向上します。

アプリロックの有効化

アプリロック機能では、WeChat、Alipay、その他の重要なアプリに対してパスワードを設定することができます。端末を再起動したり画面のロックを解除したりしてから初めてアプリを開くときに、アプリロックパスワードの入力を求められます。アプリロックによって、プライベート情報をより強固に保護し、端末上の重要なアプリへの不正なアクセスを防止できます。

アプリロックの有効化:  **設定** を開きます。**セキュリティとプライバシー** > **アプリのロック** に移動します。アプリロックを初めて使用するときは、画面の指示に従ってパスワードを設定する必要があります。その後は直接アプリロックパスワードを入力できます。アプリロック画面で、保護するアプリに対してアプリロックを有効にします。ロックされたアプリを初めて開くときには、パスワードテキストボックスにパスワードを入力する必要があります。パスワードを忘れてしまった場合は、**パスワードを忘れた**をタップし、パスワード保護の質問の答えを入力し、パスワードをリセットします。パスワード保護を設定していない場合は、**パスワードを忘れた** オプションは使用できません。

-  ● 端末のロック解除用に指紋や顔認証を設定し、初めてアプリロックを開く場合、画面上の説明に従って指紋や顔認証をアプリロックに関連付けることで、より簡単にアプリのロックを解除できます。

アプリロックパスワードとパスワード保護の変更: アプリロック画面で  をタップし、**パスワードを変更** または **パスワード保護を変更** をタップすることで、アプリロックパスワードやパスワード保護を変更できます。

NM カード(ナノメモリカード)の暗号化の有効化

NMカード(ナノメモリカード)を他人に貸した後に、写真やその他の個人データが閲覧されることが心配になる場合があります。ご利用のNMカード(ナノメモリカード)を取得した他のユーザーが個人データにアクセスできないように、そのカードに格納されているファイルを暗号化できます。暗号化されたファイルは、自分の端末でのみ表示および使用できます。他のユーザーはNMカード(ナノメモリカード)の空き領域を使用できますが、暗号化されたファイルの内容を表示することはできません。

- ⚠️ • 暗号化または復号化処理中に端末を再起動したり、NMカード(ナノメモリカード)を取り外さないでください。暗号化または復号化に失敗するか、あるいはデータが失われることがあります。
- ファイルを暗号化する前に、NMカード(ナノメモリカード)に十分な空き容量があること、また、カードと格納されているファイルが破損していないことを確認します。
- NMカード(ナノメモリカード)の暗号化と復号化は端末所有者のみ実行できます。

NMカード(ナノメモリカード)を暗号化する方法:  **設定** を開きます。**セキュリティとプライバシー > その他の設定 > 暗号化と証明書** に移動してから、**メモリカードを暗号化** をタップし、画面上の指示に従って暗号化処理を完了します。

NMカード(ナノメモリカード)を復号化する方法: **メモリカードを復号化** をタップし、画面上の指示に従って復号化処理を完了します。

-  NMカード(ナノメモリカード)をフォーマットすると、その中に格納されているすべてのデータが消去され、カードが初期化されます。

バックアップと復元

データのバックアップ: データ消失の防止

端末に保存されている大切なデータが失われることのないように、データを定期的にバックアップしてデータの消失に備えてください。

端末のデータは、次のいずれかの方法でバックアップできます。

- **NMカード(ナノメモリカード)にバックアップする:** ご利用の端末がNMカード(ナノメモリカード)に対応している場合は、いつでもNMカード(ナノメモリカード)にデータをバックアップして、データの消失を防ぐことができます。

 NMカード(ナノメモリカード)をカードスロット2に挿入します。NMカード(ナノメモリカード)はソフトバンクショップ、量販店、ファーマイストア、Amazonでご購入いただけます。

- **USBストレージデバイスにバックアップする:** 端末をUSB OTGケーブルで接続して、大切なデータをUSBストレージデバイスにバックアップできます。
- **コンピュータまたはホームNASデバイスにバックアップする:** Wi-Fiスキャンを使用して同じWi-Fiネットワーク上の共有フォルダを検出することで、端末内の写真やサイズの大きいファイルなどの大切なすべてのデータをコンピュータやホームNASデバイスにバックアップできます。これにより、端末内のデータの消失を防ぎ、端末のストレージに空き容量を確保できます。

データのバックアップ: HiSuite を使用したデータのバックアップ

HiSuite のバックアップ機能を使用して、端末上の連絡先、SMSメッセージ、画像、その他の重要なファイルなど、端末の重要な情報をすべてバックアップし、外部のコンピュータに保存できます。コンピュータから元の端末にデータを簡単に復元したり、他のHuawei端末にデータを復元したりすることができます。

HiSuite では以下の機能を利用できます。

- コンピュータにすべてのデータをバックアップできます。
- バックアップできるデータの容量は、コンピュータの空き容量によって異なります。
- 暗号化されたバックアップにも対応しています(デフォルトでは暗号化されていません)。

USB ストレージデバイスへのデータのバックアップ

端末の空き容量がない場合や、重要なデータを外部ストレージデバイスにバックアップしたい場合、USB OTGケーブルを使用して端末をUSBストレージデバイスに接続してデータをバックアップできます。お使いの端末に対応したUSBストレージデバイスには、USBフラッシュドライブ、カードリーダー、SDカード内蔵端末などがあります。

 **設定** を開き、**システム > バックアップと復元 > データのバックアップ > 外部ストレージ > USBストレージ** に移動して、**バックアップ** をタップし、**データを選択** 画面で、バックアップするデータを選択して **バックアップ** をタップします。

-  **バックアップページで 自動バックアップ** を有効化できます。端末のバッテリー容量が75%以上残っていれば、画面がオフになると自動的にデータがバックアップされます。
- ⋮ > バックアップの暗号化 > バックアップを暗号化** に移動し、バックアップページで **バックアップの暗号化** を有効にして、メッセージが表示されたらパスワードを設定してください。パスワードは、後でファイルを復元するとき 사용합니다。バックアップパスワードは忘れないようにしてください。また、パスワードを思い出せるようにセキュリティに関する質問を設定してください。パスワードがないと、バックアップファイルを復元できなくなります。

端末のリセット

キャッシュや未処理のファイルが長期間にわたって蓄積すると、端末の処理速度が遅くなることがあります。そんなときは、端末をリセットすることで、キャッシュされたファイルをすべて消去し、端末の初期設定に戻すことができます。

ネットワーク設定のリセット: Wi-Fi、モバイルデータ通信、Bluetoothの設定(テザリングやBluetoothペアリング情報を含む)を元に戻すことができます。端末の他の設定は変更されず、データやファイルも削除されません。

 **設定** を開き、**システム > リセット > ネットワーク設定をリセット** に移動して **ネットワーク設定をリセット** をタップし、画面の指示に従って設定をリセットします。

すべての設定を元に戻す: 端末の初期ネットワーク設定と指紋認証/顔認証のデータおよびロック画面のパスワードをリセットすることができます。端末探索やHUAWEI IDの設定はリセットされず、データやファイルも削除されません。

 **設定** を開き、**システム > リセット > 全ての設定をリセット** に移動して **全ての設定をリセット** をタップし、画面の指示に従って設定をリセットします。

初期化する: アカウント設定、システム設定、アプリデータ、インストールされているアプリ、曲、画像、ドキュメントなど、端末のメモリとストレージに保存されているすべてのデータを削除し、端末を初期化することができます。端末を初期化する前にデータをバックアップしてください。

 **設定** を開き、**システム > リセット > 端末をリセット** に移動して **リセット** をタップし、必要に応じて画面のロック解除パスワードを入力し、画面の指示に従って端末を初期化します。

Wi-Fi とネットワーク

Wi-Fi

Wi-Fi+: スマートな接続アシスタント

Wi-Fi+はWi-Fiネットワークにインテリジェントに接続し、モバイルデータ通信量を節約します。端末は、既知のWi-Fiネットワークまたは無料Wi-Fiネットワークを検出すると、自動的にWi-Fiをオンにしてそのネットワークに接続します。また、端末はエリア内で最適なインターネット接続をするために、最適なネットワークを自動的に選択します。



Wi-Fi+を有効にすると、端末で次の操作が実行できます。

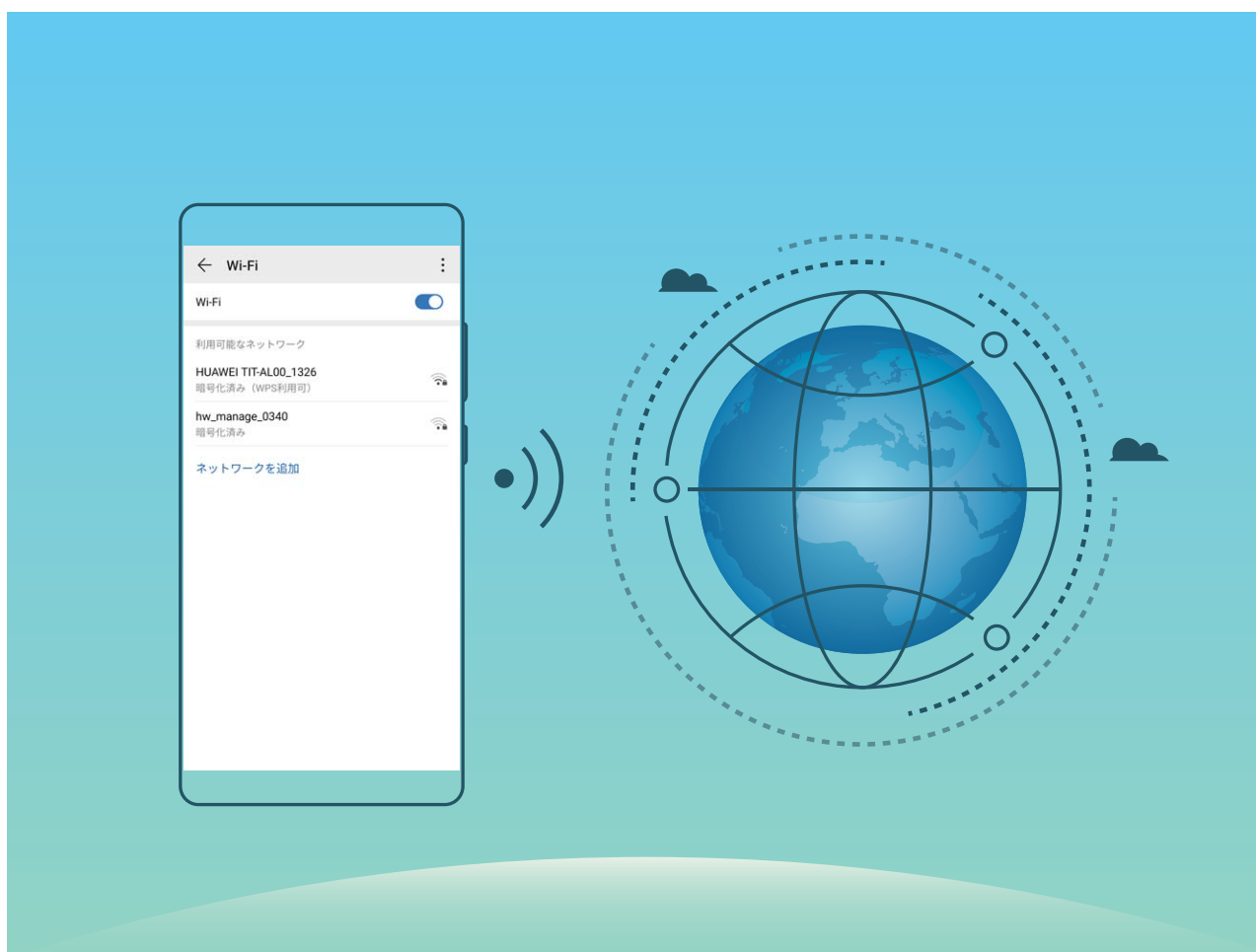
- **最適なネットワークを自動的に選択して接続する:** 端末は、現在地の電波の強さに基づいて、以前に接続したことがあるWi-Fiネットワーク、無料ネットワーク、またはご利用のモバイルデータ通信ネットワークから自動的に選択して接続します。
-  ● ステータスバーのアイコンを見ると、モバイルデータ通信またはWi-Fiのどちらを使用しているかを確認できます。
-  アイコンは、ご利用の端末がWi-Fiでインターネットに接続されていることを示します。
- アンテナの左下の  アイコンは、ご利用の端末がモバイルデータ通信でインターネットに接続されていることを示します。

- **Wi-Fiの自動オン/オフ**: 以前に接続したことがあるWi-Fiネットワークに基づいて、特定の場所でWi-Fiが自動的にオン/オフになります。これにより、端末が新しいネットワークを検索する必要がなくなります。
- **利用可能なネットワークの品質の評価**: 現在利用可能なネットワークアクセスポイントを評価し、インターネットに接続できないネットワークに端末が自動接続することを防ぎます。

Wi-Fi ネットワークを利用する

端末をWi-Fiネットワークに接続することで、モバイルデータ通信による通信量を節約することができます。

- i** 個人データや金融情報への不正アクセスなどの潜在的なセキュリティリスクを防ぐため、公衆Wi-Fiネットワークに接続するときには十分な注意が必要です。



Wi-Fiネットワークへの接続:  **設定** を開き、**無線とネットワーク** > **Wi-Fi** に移動し、**Wi-Fi** を有効にします。Wi-Fiネットワークをタップしてアクセスし、ネットワークパスワードを入力するか、必要に応じて認証情報を入力します。または、メニューの一番下までスクロールし、**ネットワークを追加** をタップし、画面の指示に従ってネットワークアクセスポイントの名前とパスワードを入力し、そのポイントを追加します。

Wi-Fi Direct によるデータ転送

Wi-Fi Directでは、Huawei端末間でデータを迅速に転送できます。Wi-Fi DirectはBluetoothよりも高速で、端末のペアリングは不要です。短い距離でサイズの大きいファイルを転送するのに適しています。



Wi-Fi Directでのファイルの送信:  **ファイル** を開き、送信するファイルを長押しして、**その他** > **共有** > **Wi-Fi Direct** に移動します。送信先の端末が検出されたら、その名前をタップします。接続が確立され、ファイル転送が始まります。

Wi-Fi Directでのファイルの受信: Wi-Fi を有効にします。Wi-Fi設定画面で  > **Wi-Fi Direct** をタップし、検出を有効にします。ファイル着信通知を受信したら、**受信** をタップして転送を開始します。デフォルトでは、受信したファイルは **Wi-Fi Direct** フォルダ内の **ファイル** に保存されます。

Wi-Fi+ のオン/オフ

 **設定** を開き、**無線とネットワーク** > **Wi-Fi** >  > **設定** > **Wi-Fi+** に移動して、Wi-Fi+ の有効化または無効化を選択します。

-  ● Wi-Fi+を有効にすると、端末は利用できる最適なネットワークに自動的に接続します。
- エリア内のWi-Fi+信号の強度によっては、Wi-Fi+はモバイルデータネットワークに自動的に切り替わる場合があります。モバイルデータ通信を使用してビデオなどのサイズの大きいファイルをダウンロードまたは表示すると、追加料金が発生することがあります。高額なデータ通信料金を防ぐには、適切なデータプランに加入してください。
- Wi-Fi+を有効にした後は、手動でWi-Fiを無効にした場合でも、以前に接続したことのある有効なWi-Fiネットワークが検出されると、端末はWi-Fiネットワークに自動的に切り替わる場合があります。

インターネット接続

端末から簡単にWi-Fiネットワークに接続できます。

Wi-Fi ネットワークへの接続

- 1 ステータスバーを下にスワイプして、通知パネルを開きます。
- 2  を長押しして、Wi-Fi設定画面を開きます。
- 3 Wi-Fiをオンにします。現在の場所で、端末で利用可能なすべてのWi-Fiネットワーク一覧が表示されます。
- 4 接続先となるWi-Fiネットワークを選択します。暗号化されたネットワークを選択した場合には、Wi-Fiパスワードの入力が必要です。

モバイルデータ通信経由での接続

-  モバイルデータ通信を使用する前に、高額なデータ通信料金の発生を避けるため、通信事業者のデータ通信プランに加入していることを確認してください。
- 1 ステータスバーを下にスワイプして、通知パネルを開きます。
 - 2  をタップして、モバイルデータ通信を有効にします。
-  インターネット接続が不要な場合は、モバイルデータ通信を無効にしてデータ通信量を減らし、バッテリーを節約してください。

他の端末とのモバイルデータ通信の共有



Wi-FiアクセスポイントまたはBluetooth経由で他の端末とモバイルデータ通信を共有できます。

Wi-Fiアクセスポイントを使用したモバイルデータ通信の共有:  **設定** を開き、**無線とネットワーク** > **テザリングとポータブルアクセス** > **ポータブルWi-Fiアクセスポイント** > **アクセスポイントを設定** に移動します。ネットワークの名前、暗号化タイプ、パスワードをWi-Fiアクセスポイントに設定してから **保存** をタップして、アクセスポイントでこのネットワークを使用できるようにします。

-  **他の端末がアクセスポイントにアクセスして、無制限にデータ通信を共有することが心配になる場合があります。**ポータブルWi-Fiアクセスポイント 画面で **データ通信量の上限** をタップすると、セッションごとのデータ通信制限を設定できます。設定したデータ通信共有の制限に達すると、端末によってアクセスポイントが自動的に無効になります。

Bluetoothを使用したモバイルデータ通信の共有: Bluetoothを使用してモバイルデータ通信を共有するには、端末間にBluetooth接続を確立する必要があります。  **設定** を開いて、**無線とネットワーク** > **テザリングとポータブルアクセス** に移動し、**Bluetoothテザリング** を有効にします。ペアリングした端末の Bluetooth 画面で、ペアリングした端末の横にある  をタップし、**インターネットアクセス** を有効にしてインターネット接続を確立します。これにより、モバイルデータ通信を共有できるようになります。

USBを使用したモバイルデータ通信の共有: USBケーブルを使用して、端末をコンピュータに接続します。  **設定** を開いて **無線とネットワーク** > **テザリングとポータブルアクセス** に移動し、**USBテザリング** を有効にして、モバイルデータ通信の共有を開始します。

-  OSによっては、この機能を使用する前に、ドライバのインストールや、コンピュータ上での適切なネットワーク接続の確立が必要になる場合があります。詳細については、お使いのコンピュータのOSガイドをご参照ください。

アプリと通知

ツインアプリ:1 度に 2 つのソーシャルメディアアカウントにログイン

LINEやFacebookなどのSNSアプリに2つの異なるアカウントで同時にログインしてアカウントの切り替えごとにアプリを起動し直すことなく使用したいと思ったことはありませんか？ツインアプリ機能では、LINEやFacebookにおいて2つのアカウントで同時にログインし、仕事用とプライベート用で使い分けることが可能になります。

 ツインアプリ機能は、WeChat、QQ、LINE、Facebook、Snapchat、WhatsApp、Messengerでのみ有効です。この機能を使用する前に該当のアプリの最新バージョンをダウンロードしてください。

 **設定** を開きます。**アプリ > ツインアプリ** に移動して、必要に応じてWeChat、QQ、LINE、Facebook、Snapchat、WhatsApp、Messengerに対してツインアプリ機能を有効にします。

ツインアプリ機能を有効にしたら、ホーム画面上にWeChat、QQ、LINE、Facebook、Snapchat、WhatsApp、Messengerのアプリのアイコンが2つ表示されます。これは同時に同一アプリに対して2つのアカウントでログインできることを示しています。ツインアプリが有効になっているアプリのアイコンを長押しし、「閉じる」にドロップするとアンインストールの確認メッセージがポップアップされるので、OKをタップすると、ツインアプリ機能を無効にできます。

アプリ権限をカスタマイズして端末を自分好みの方法で使用する

サードパーティのアプリに重要な権限を与え過ぎたり、個人情報が公開されたりする心配はないでしょうか。アプリごとの権限を監視して不要な権限を拒否できます。

 権限を無効化するとアプリの機能が利用できなくなる場合があります。たとえば、地図アプリで位置情報の権限が無効になっていると、アプリは位置情報やナビゲーションサービスを提供できなくなります。

アプリ権限の設定: 不要な権限を拒否したい場合があります。 **設定** を開いて **アプリ > 権限** に移動します。**アプリ** タブでアプリを選択して不要な権限を拒否します。たとえば、**マイク** または **カメラ** を無効にします。

サウンドと表示

通知の鳴動制限モードの設定

通知の鳴動制限モードでは、知らない人からの着信がブロックされ、選択した連絡先からの着信またはメッセージ受信の場合にだけ通知されます。

 **設定** を開いて **サウンド > 通知の鳴動制限** に移動します。今すぐ有効にする スイッチをオンに切り替え、**通知鳴動制限モード** をタップして、以下のいずれかのオプションを選択します。

- **重要な連絡先からの着信とメッセージ: 優先度の高い通知のみ鳴動** を選択して **優先度の高い着信/通知を定義** をタップし、着信またはメッセージ受信を許可する連絡先を設定します。
- **許可 アラーム音: アラームのみ** を選択してアラーム音だけを許可します。
- **すべての鳴動の無効化: 鳴動させない** を選択して着信音とバイブレーションを無効にし、着信、メッセージ受信、アラームで画面が点灯しないようにします。
-  ● 一部のサードパーティ アプリでは、通知の鳴動制限モードを有効にしている場合でも音が鳴ることがあります。アプリ内の設定で、これらのアプリからの通知をミュートにしてください。

時間に関するルール: 設定した時間(週末や夜など)に鳴動を制限します。**時間帯** をタップして、時間と繰り返し間隔を設定し、**時間帯** スイッチをオンに切り替えます。

イベントルール: 会議やイベントの開催中に鳴動を制限します。**予定** をタップすることで、**通知の鳴動制限モード**が有効になります。

サウンドの設定

映画を観たり、ゲームをしたりするときには、端末のサウンド設定が自動的にステレオサウンドに切り替わって最適なオーディオ体験が実現します。また、さまざまな状況での着信音や音声通知を設定することもできます。

システム音量の調整: 音量ボタンを押すか、スライダーを動かすことでメディア音量をすばやく調整できます。 をタップしてサウンド設定画面を表示します。着信音、メディア、アラームの音量を調整できます。

 また、システム設定でも音量を調整できます。 **設定** を開いて **サウンド** をタップし、音量スライダーをドラッグすることで音量を調整します。

サウンドモード、バイブモード、マナーモードの切り替え: ステータスバーを下にスワイプして、ショートカットパネルを開きます。 をタップして、**サウンド**、**サイレント**、**バイブ** の各モードを素早く切り替えることができます。

キーパッドと通知音の有効化:  **設定** を開いて **サウンド > その他のサウンド設定** に移動し、キーパッドと通知音を有効/無効にします。

端末をマナーモードに設定する: サウンド 画面で、マナーモード を有効にします。サイレントモード を有効にした後、マナーモード時のバイブ を有効にします。これにより、着信があったときに画面が点灯して端末が振動するようになります。

着信音と通知音のカスタマイズ: サウンド 画面で、カスタム着信音を選択するか、通知 を使用します。

目の疲れを防止する視力保護モードの有効化

端末を長時間見つめていると、目が疲れたり痛くなったりすることがあります。視力保護モードは、ブルーライトを効果的に低減して画面を暖色系の色に調整することで、目の疲れを和らげて視力を保護します。

視力保護モードの有効化:  設定 を開いて、画面 > 色と視力保護 > 視力保護 に移動し、視力保護 を有効にします。視力保護モードアイコン  がステータスバーに表示されます。視力保護モードを有効にするとブルーライトが一部カットされ、画面が黄色がかった色になります。

視力保護モードの簡単な有効化/無効化: ステータスバーを下にスワイプして、通知パネルを開きます。

通知パネルでショートカットパネルを展開し、 を有効/無効にします。

設定した時間に視力保護モードを有効化: 毎日設定した時間に視力保護モードが有効になるように端末を設定できます。視力保護モードが無効な場合、 設定 を開き、画面 > 色と視力保護 > 視力保護 に移動して時間帯指定済み を有効にします。次に、希望の 開始時間 および 終了時間 を設定します。

視力保護モードの色温度の調整: 視力保護モードを有効にすると、ブルーライトが一部カットされ、画面が軽く黄色がかった色になります。色温度は必要に応じて調整してください。視力保護 を有効にすると、色温度スライダーを調整して、画面の色を寒色系または暖色系にすることができます。

その他の表示設定

ショートカットによる、よく利用する機能へのアクセス

アプリアイコンを長押しすることで、よく利用する機能のメニューが表示され、素早くアクセスできます。また、機能を長押しして、ホーム画面にドラッグすることでショートカットを作成することもできます。

 アプリアイコンを長押ししてもショートカットが作成されない場合、該当するアプリがホーム画面へのショートカット作成に対応していません。

画面設定の変更

必要に応じてフォントサイズを変更したり、画面の明るさを調整できます。

 設定 を開いて、画面 をタップします。ここから、以下の操作を行うことができます。

- 全画面表示: その他の表示設定 > 全画面表示 に移動し、必要に応じて全画面モードでアプリを表示します。
- ノッチ表示設定: その他の表示設定 > ノッチ をタップして、ノッチの表示設定を行います。
- 画像と文字サイズの変更: テキストサイズと表示サイズ をタップし、必要に合った表示モードを選択します。

- **画面の明るさの調整**: **自動明るさ調整** を有効にします。このオプションが有効になっている場合、周囲の明るさに基づいて画面の明るさが自動的に調整されます。明るさを手動で調整するには、明るさのスライダーをドラッグするか、ステータスバーを下にスワイプして通知パネルを開き、明るさの設定にアクセスします。
- **画面の自動回転の有効化**: **その他の表示設定** > **画面の自動回転** に移動して、自動回転を有効にします。または、ステータスバーを下にスワイプして通知パネルを開き、 を有効にします。
- **色温度の調整**: **色と視力保護** > **カラーモードと色温度** に移動します。システムによって推奨される **デフォルト**、**暖色**、または **寒色** オプションを選択できます。あるいは、スライダーをタップまたはドラッグして、色温度を手動で調整します。
- **画面解像度の自動調整**: **画面の解像度** をタップし、**スマート解像度** を有効にします。画面解像度が自動的に調整され、消費電力が節約されます。
- **スリープモードでの充電中にスクリーンセーバーを表示する**: **その他の表示設定** > **スクリーンセーバー** に移動して、**スクリーンセーバー** を有効にします。**写真** と **再生時間** を設定できます。設定の完了後は、充電中にスリープモードに入ると、写真のスライドショーが表示されます。
- **ステータスバーで詳細情報を表示する**: **その他の表示設定** をタップします。好みに応じて **通信事業者名を表示** または **通信速度を表示** を有効にできます。

ストレージ

ストレージクリーナーの有効化

ストレージの空き容量が少なくなると、端末は時間の経過とともに動作が遅くなることがあります。メモリのクリーンアップを使用してストレージの空き容量を確保し、システム性能を向上させ、端末のスムーズな動作を維持できます。

 **端末管理** を開き、**クリーンアップ** をタップし、スキャンの結果に基づいてメモリとキャッシュをクリーンアップして、端末の性能を向上させます。クリーンアップ後もストレージの空き容量が少ない場合、スキャンの結果とクリーンアップの推奨事項に基づいて、ディープクリーンアップを実行し、より多くのストレージの空き容量を確保することができます。

本機のメモリの空き容量について

本機のメモリ空き容量が少なくなると警告メッセージが表示されます。不要なファイルやアプリケーション等を削除して、メモリの空き容量を確保して下さい。空き容量が少ない状態で使用し続けた場合、**新着メール・メッセージが受け取れず消失する恐れがありますのでご注意ください。**

空き容量 100MB 以下

1 ポップアップダイアログが表示されます。



2 ファイルを削除をタップすると、クリーンアップへ遷移します。クリーンアップをタップします。



3 クリーンアップ画面で不要なファイル・アプリケーションを選択・削除し、容量を確保してください。

← アプリのストレージ使用量		Q
使用中	127.92 GB	
空き	83.71 MB	
	Yahoo!	59.06 MB >
	ヘルスケア	42.10 MB >
	バックアップ	41.87 MB >
	com.android.wallpaperbac kup	41.87 MB >
	Y!ショッピング	28.36 MB >
	Y!かんたんバックアップ	19.85 MB >
	QR	7.35 MB >
	迷惑電話ブロック	6.32 MB >
	Internet SagiWall	4.79 MB >

大容量な未使用ファイル・不要な写真・未使用のアプリケーション等を確認・削除し、容量を確保してください。

システム

入力方法の変更

必要に応じて、端末の入力方法を変更できます。

入力方法の切替:  **設定** を開いて、システム > 言語と文字入力 > デフォルトのキーボード に移動し、入力方法を選択します。

ナビゲーションバーとナビゲーションメニュー

ナビゲーションメニュー: ワンタップで端末を管理

アプリを閉じたりホーム画面に戻ったりするには、端末の下部にあるナビゲーションバーを使用する必要があります。しかし、これに加えて、ナビゲーションメニューを使って同じ操作を行うことができるようになり、端末がさらに使いやすくなりました。

事前に設定したジェスチャーを使って前の画面やホーム画面に戻ったり、アプリを切り替えたりできます。

ナビゲーションメニュー: どこからでも端末の機能にアクセス

端末でナビゲーションメニュー機能を有効にすると、ナビゲーションボタンを使用せずに、端末を片手で快適に操作できるようになります。

 **設定** を開きます。システム > システムナビゲーション > ナビゲーションメニュー に移動して、ナビゲーションメニュー を有効にします。○ が画面に表示されます。その後、任意の位置までドラッグします。ナビゲーションメニューでは次の操作が可能です。

- **戻る:** ナビゲーションメニューを1回タップすると1つ前のステップに戻り、2回タップすると2つ前のステップに戻ります。
- **ホーム:** ナビゲーションメニューを長押しして離すと、ホーム画面に移動します。
- **バックグラウンドアプリの表示:** ナビゲーションメニューを長押ししてから、左右にスワイプすると、バックグラウンドで実行されているアプリが表示されます。

ユーザー補助

TalkBack による画面テキストの読み上げ

TalkBackでは、画面上でタップ、選択、または有効にした内容が読み上げられます。視覚障害を持つユーザーが端末を操作できるようにする便利なツールです。

- 1  **設定** を開き、スマートアシスト > ユーザー補助 > TalkBack >  に移動し、TalkBack設定画面を開きます。

- 2 **TalkBack** を有効にして **OK** をタップします。**TalkBack**を初めて有効にすると、端末でチュートリアルが起動します。チュートリアルをもう一度再生する必要がある場合は、 をタップして**TalkBack**設定画面を開き、チュートリアルを起動します。
- 3  をタップし、**タッチガイド** を有効にします。**タッチガイド** が有効になると、端末でタップした内容が読み上げられます。

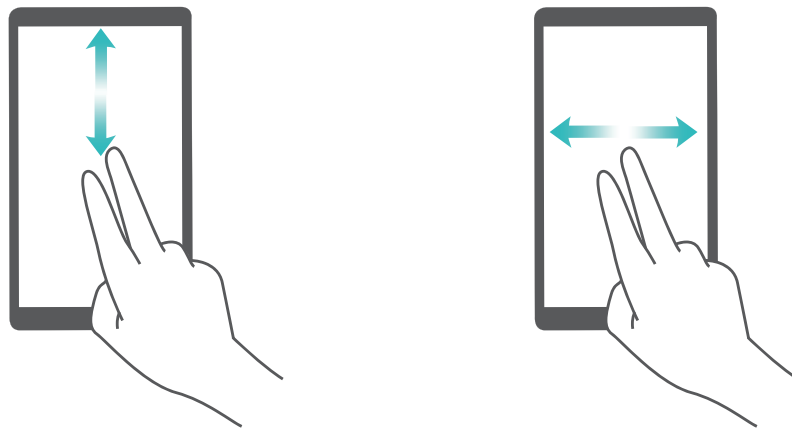
端末で画面の内容が急に読み上げられるのはなぜですか？この機能を無効にするにはどうしたらよいでしょうか？誤って**TalkBack**を有効にした可能性があります。**TalkBack**を無効にするには、電源ボタンを長押しして、端末が振動したら、2本の指で画面に触れて3秒以上そのままにします。

TalkBack ジェスチャー

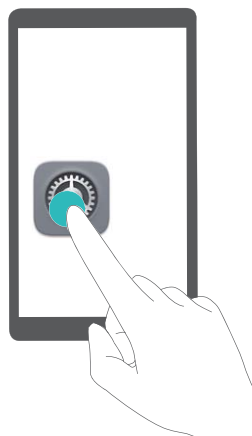
TalkBackでは、端末の操作に特別なジェスチャーを使用します。**TalkBack**が有効な場合、端末を操作するにはジェスチャーが必要です。

-  **TalkBack**を誤って有効にした場合に**TalkBack**を無効にするには電源ボタンを長押しし、端末が振動したら2本の指で画面に触れて、3秒以上そのままにすると無効になります。

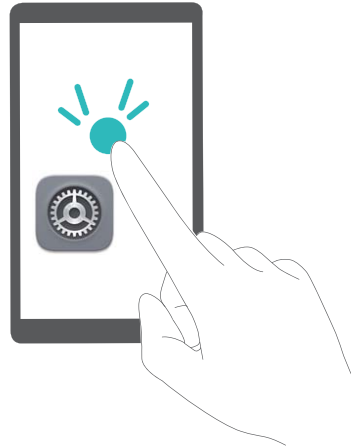
画面を操作する:2本の指で上下にスワイプすると、メニューリストがスクロールします。左右にスワイプすると、画面間で移動できます。



アイテムを選択する:1本の指でアイテムをタップして、選択します(アイテムは開きません)。端末で選択したアイテムの内容が読み上げられます。



アイテムを開く: 1本の指で画面をダブルタップして、前の手順で選択した内容を確定します。



たとえば、**設定** を開くには、**設定** アイコンを1本の指で1回タップしてから、画面上の任意の場所を2回タップします。

TalkBack でのテキスト読み上げの出力

テキスト読み上げ機能では、端末の画面に表示されているテキストが読み上げられます。また、TalkBackサービスでこの機能を使用すると、視覚障害を持つユーザーが端末を操作できるようになります。

 **設定** を開いて **スマートアシスト** > **ユーザー補助** に移動し、**テキスト読み上げ** を有効にします。好みのエンジンと音声速度を設定して、この機能を有効にします。

色補正を有効にする

色補正設定では、端末で色覚異常の影響を補正できます。

 色補正を有効にすると、色覚が正常なユーザーには一部の色がわかりづらくなることがあります。

 **設定** を開いて **スマートアシスト** > **ユーザー補助** > **色補正** に移動し、**色補正** を有効にします。**補正モード** をタップし、必要な色補正モードを選択します。

一般設定

システム言語の変更

端末のシステム言語の変更は、簡単に行うことができます。

 **設定** を開いて **システム** > **言語と文字入力** > **言語** に移動し、システム言語を選択します。言語リストから言語が見つからない場合、**言語を追加** をタップして言語を追加します。

システムの時刻と日付の設定

海外への旅行時やSIMカードの変更時は、端末には現地のモバイルネットワークから提供された時刻と日付が自動的に表示されます。手動で時刻と日付を調整したり、時刻形式を変更したり、ロック画面にデュアルクロックを設定したりすることもできます。



設定を開いて**システム** > **日付と時刻**に移動します。ここから、以下の操作を行うことができます。

- **時刻と日付の変更**: **自動設定**を有効にすると、端末の時刻と日付をモバイルネットワークと同期できます。**自動設定**を無効にすると、時刻と日付を手動で設定できます。
- **タイムゾーンの変更**: **自動設定**を有効にすると、端末のタイムゾーンをモバイルネットワークと同期できます。**自動設定**を無効にすると、タイムゾーンを手動で設定できます。
- **時刻形式の変更**: **24時間表示**を有効にすると、時刻形式を24時間に設定できます。**24時間表示**を無効にすると、時刻形式を12時間に設定できます。
- **ロック画面でのデュアルクロック設定**: 海外にいる場合、端末には現地のモバイルネットワークから提供された現地の時刻と日付が自動的に表示されます。**デュアルクロック**を有効にして**ホーム都市**を設定すると、ロック画面にデュアルクロックを表示できます。一方には現地の時刻、もう一方には自国の時刻が表示されます。



端末でのドキュメントや写真の印刷

端末をWi-Fi経由でプリンターに接続すると、ドキュメントや写真を簡単に印刷できます。



- Mopriaでは、端末からMopria認証プリンターに直接印刷できます。プリンターは端末にWi-Fi経由で接続します。
- ご利用のプリンターがMopria認証プリンターではない場合、プリンターメーカーからご利用のモデル用のプラグインを取得してください。

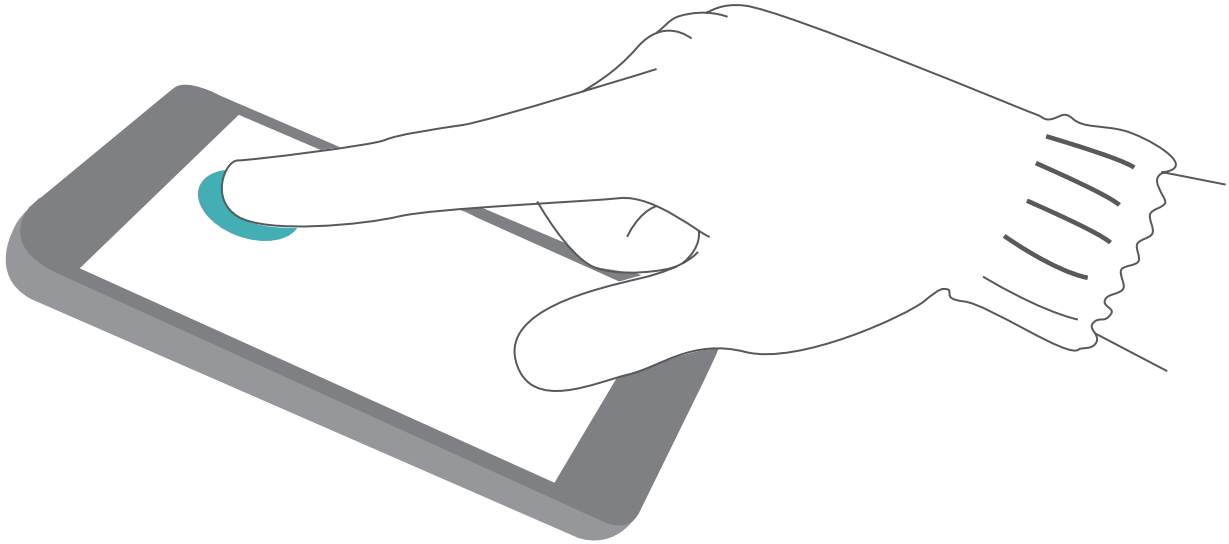
1 端末とプリンターを同じWi-Fiネットワークに接続します。

- **プリンターのアクセスポイントへの接続:** プリンターに無線アクセスポイントがある場合、プリンターのマニュアルの指示に従ってアクセスポイントを有効にし、パスワードを設定します。端末で  **設定** を開いて **無線とネットワーク** > **Wi-Fi** に移動します。Wi-Fi を有効にしてプリンターのアクセスポイントを選択し、画面の指示に従って接続を確立します。
 - **Wi-Fi Directでの接続:** プリンターがWi-Fi Directに対応している場合、プリンターのマニュアルの指示に従ってこの機能を有効にします。端末で  **設定** を開いて **無線とネットワーク** > **Wi-Fi** に移動します。Wi-Fi を有効にして  > **Wi-Fi Direct** をタップし、検出されたデバイスのリストから使用するプリンターを選択します。
 - **ルーターへの接続:** プリンターのWi-Fiを有効にして宅内のルーターに接続します。端末で  **設定** を開いて **無線とネットワーク** > **Wi-Fi** に移動します。Wi-Fi を有効にしてルーターを選択し、画面の指示に従って設定を完了します。
- 2  **設定** を開きます。**デバイス接続** > **印刷** > **デフォルト印刷サービス** に移動して **デフォルト印刷サービス** が有効になっていることを確認します。検索結果からプリンターを選択して画面の指示に従い手動でプリンターを追加します。
- 3 これで端末から直接印刷できます。
- **画像の印刷:** **ギャラリー** に移動します。印刷したい画像を開き、**その他** > **印刷またはPDF出力** に移動して、画面の指示に従い画像をプリンターに送信します。
 - **Webページの印刷:** 印刷したいWebページをブラウザで開いて、メニューから印刷オプションを選択します。
 - **ドキュメントの印刷:** オフィスアプリ等で印刷したいドキュメントを開いて、メニューから印刷オプションを選択します。
 - **メモの印刷:**  **メモ帳** を開きます。印刷したいメモを開き、**印刷** に移動して、画面の指示に従いメモをプリンターに送信します。

グローブモードの有効化

グローブモードを使用すると、冬に手袋を着けているときでも簡単に端末を使用できます。

-  **設定** > **スマートアシスト** に移動して **グローブモード** を有効にします。



メモリおよびストレージのステータスの確認

長時間端末を使用すると、メモリとストレージがどのくらい残っているか心配になります。端末のメモリとストレージの情報を表示すると、メモリとストレージの使用状況を監視することができ、クリーンアップ実行の目安となります。

 **設定** を開いて **ストレージ** をタップし、メモリの使用状況を確認します。使用可能なストレージ容量に基づいて、適切なタイミングで空き容量を確保します。

空き容量の確保(推奨): **クリーンアップ** を選択すると、アプリの使用状況の詳細を表示できます。また、スキャン結果に基づき、推奨に従ってシステムのクリーンアップを実行したり、対象を指定してクリーンアップを実行したりできます。

ソフトウェア更新

オンライン更新の実行

ご利用の端末では、新しいバージョンが利用可能な場合にシステムアップデートのダウンロードとインストールを要求するメッセージが表示されます。オンライン更新機能によって、素早く安全に端末を更新できます。

-  ● オンライン更新を実行する前に、ご利用の端末がインターネットに接続されていることを確認してください。オンライン更新には、インターネット接続が必要です。不要なデータ通信料が発生しないよう、Wi-Fiネットワーク経由で端末の更新を実施してください。
- 更新処理中に、ご利用の端末の電池残量が30%以上あることを確認してください。
- ファームウェアやシステムアップデートをインストールする際に、不正なサードパーティ製ソフトウェアを使用しないでください。これによって、端末が異常終了したり、個人情報漏洩するおそれがあります。最良の結果を得るために、オンライン更新機能を使用してシステムを更新してください。
- データの消失を防ぐために、端末を更新する前にデータを必ずバックアップしてください。
- 一部のサードパーティ製アプリ(オンラインバンキングアプリやゲームなど)は、新しいシステムバージョンと互換性がない可能性があります。サードパーティ製アプリの新しいバージョンがリリースされるまでお待ちください。

1  **設定** を開きます。

2 **システム > ソフトウェア更新** に移動します。

- システム側で新しいアップデートが検出されたら、**新しいバージョン > ダウンロードしてインストール** に移動してください。
- システムが最新であることが確認されたら、**⋮ > 最新の完全パッケージをダウンロード** に移動します。システム側で新しいアップデートが検出されたら、**新しいバージョン > ダウンロードしてインストール** に移動してください。

システムの更新が完了するまでに、しばらく時間がかかる場合があります。更新処理中は、端末を使用しないでください。更新が完了すると、端末が自動的に再起動されます。

法律上の注意事項

法律上の注意事項

Copyright © Huawei Technologies Co., Ltd. 2018. All rights reserved.

本書は、Huawei Technologies Co., Ltd. およびその関連会社（以下「Huawei」）の書面による事前の同意なくいかなる形式や方法でも、複製または転載することはできません。

本書に記載されている製品には、Huawei およびライセンス許諾者の著作権のあるソフトウェアが含まれている場合があります。いかなる方法によっても上記ソフトウェアを複製、配布、変更、逆コンパイル、逆アセンブル、暗号解読、抽出、リバースエンジニアリング、貸借、譲渡またはサブライセンス許諾を行ってはなりません。ただし、そのような制限が適用法により禁止されている場合、またはそのような行為が各著作権保持者により承認されている場合を除きます。

商標と許可



HUAWEI、HUAWEI と  はHuawei Technologies Co., Ltdの商標または登録商標です。

Android™はGoogle LLC の商標です。

Bluetooth® およびそのロゴはBluetooth SIG, Inc.の登録商標です。Huawei Technologies Co., Ltdによるこの商標の使用はライセンス供与されています。

Qualcomm® aptX™



および

Qualcomm® aptX™ HD



はQualcomm Inc. (NASDAQ: QCOM) の登録商標

です。



はSony Corporationの登録商標です。



N-Markは米国およびその他の国におけるNFC Forum, Inc.の商標または登録商標です。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、ドルビーアトモス及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

本書内に記載されるその他の商標、製品、サービスおよび会社名は、それぞれの権利者に帰属します。

注意

本書に記載されている製品とその付属機器の一部の機能は、インストールされているソフトウェア、ローカルネットワークの機能と設定などに依存するため、現地のネットワーク事業者またはネットワークサービスプロバイダによって有効にできない場合や制限されていることがあります。

そのため、本書に記載される説明は、購入された製品またはその付属品と完全に一致しない場合があります。

Huawei は、事前通知または法的責任を負うことなく、本書に記載されている情報や仕様を変更または修正する権限を有しています。

他社製ソフトウェアに関する記述

Huaweiは、本製品に付属されている他社製ソフトウェアおよびアプリケーションの知的財産権を所有していません。そのため、Huaweiは他社製のソフトウェアおよびアプリケーションに対して、いかなる保証もいたしません。また、Huaweiは、他社製のソフトウェアおよびアプリケーションを使用するお客様にサポートを提供すること、及び他社製の当該ソフトウェアおよびアプリケーションの機能や性能に関して一切の責任を負いません。

他社製のソフトウェアおよびアプリケーションサービスは、事前の予告なく中断または終了されることがあります。またHuaweiはいかなるコンテンツやサービスの可用性を保証いたしません。他社のサービスプロバイダは、Huaweiの管理下でないネットワークや送信ツールを使ってサービスやコンテンツを提供します。Huaweiは他社のサービスプロバイダが提供するサービスや、他社のコンテンツやサービスの中断や終了に関する補償を行ったり、責任を負わないことを、適用法が許容する最大範囲まで行使します。

Huaweiは、本製品にインストールされているソフトウェアの合法性、品質などに関して、あるいは他社がアップロードまたはダウンロードしたテキスト、画像、ビデオ、ソフトウェアなどいかなる形式の制作物に関しても責任を負いません。お客様は、ソフトウェアのインストールや他社の制作物のアップロードまたはダウンロードに起因する、任意またはすべての結果（ソフトウェアと本製品の非互換性など）に対してリスクを負うものとします。

本製品はオープンソースのAndroid™プラットフォームを使用しています。Huaweiは、このプラットフォームに対して変更を加えています。そのため、本製品は標準のAndroidプラットフォームがサポートしている機能をすべてサポートしているとは限りません。また、他社製のソフトウェアと互換性がない場合もあります。Huaweiはこうした互換性に対していかなる保証や表明も行わず、明示的に一切の責任を負いません。

免責事項

本書の内容は現状のままで提供されます。適用法により必要とされる場合を除き、本書の正確性、信頼性、内容に関して、販売性、特定目的との適合性などを含む（ただしこれらに限定されない）明示または非明示の保証を行いません。

Huaweiは適用法が許容する最大範囲まで、特殊な損傷、故意による損傷、間接的または誘発的損傷、あるいは利益、業務、収益、データ、信用、または予定していた利益の損失に対する責任を負いません。

本書に記載されている製品の使用に起因して生じるHuaweiの最大責任範囲（この制限は、適用法が当該制限を禁止する範囲まで、個人的な負傷に対する責任には適用されない）は、お客様が本製品に支払った購入代金を上限とします。

輸出入規制

お客様は輸出入に関して、該当するすべての法律および規制に従い、ソフトウェアや技術情報など、本書に記載されている製品の輸出、再輸出、または輸入に必要な全ての公的許可やライセンスを取得する責任を負うものとします。

個人情報とデータセキュリティ

本端末で一部の機能またはサードパーティ製アプリケーションを使用した結果、個人情報やデータが失われたり、第三者によるアクセスが可能になってしまう恐れがあります。個人情報を保護するために、以下に示す措置を講じることをお勧めします。

- 本端末を安全な場所に置いて、不正に利用されないようにします。
- 本端末上で画面ロックを設定し、そのロックを解除するパスワードやロック解除パターンを作成します。
- 個人情報をSIMカード、NMカード(ナノメモリカード)、または本体のメモリに定期的にバックアップします。別の端末に変更する場合、必ず以前の端末の個人情報を移動または削除します。
- サードパーティ製アプリケーションは必ず正規の場所から入手してください。ダウンロードした他社製アプリケーションに対して、ウィルスチェックを実行してください。
- Huaweiや正規のサードパーティ製アプリケーション提供者がリリースしているセキュリティソフトやパッチをインストールしてください。
- 非公式のサードパーティ製ソフトを使用して更新すると、端末が故障したり、個人情報が危険にさらされる可能性があります。ご利用の端末のオンラインによる更新機能から更新するか、Huaweiの公式ウェブサイトから該当する製品モデルの正規の更新パッケージをダウンロードすることをお勧めします。
- 一部のアプリケーションでは位置情報の要求や送信を実行します。結果的に、サードパーティが位置情報を共有することができる場合があります。
- サードパーティ製アプリケーション提供者のなかには本端末の検出情報や診断情報を収集する場合がありますが、これは自社の製品やサービス向上のために使用されます。
- Huaweiや正規のサードパーティ製アプリケーション提供者がリリースしているセキュリティソフトやパッチをインストールしてください。
- 非公式のサードパーティ製ソフトを使用して更新すると、端末が故障したり、個人情報が危険にさらされる可能性があります。ご利用の端末のオンラインによる更新機能から更新するか、Huaweiの公式ウェブサイトから該当する製品モデルの正規の更新パッケージをダウンロードすることをお勧めします。

ヘルプの取得

付属のクイックスタートガイドをお読みください。

法的情報を確認するには、**設定 > システム > 端末情報 > 法律情報** をタップしてください。

詳細については、<https://consumer.huawei.com/jp/>を参照してください。

詳細情報

ヒント の検索ボックスに機能名を入力すると、詳細情報を確認できます。

保証とアフターサービス

保証について

- 保証期間は、本製品を新規でお買い上げいただいた日より1年間です。
- 無料修理規定に基づき無料修理を行います。無料修理規定はソフトバンクのウェブサイトでご確認頂けます。

<https://www.softbank.jp/mobile/support/product/warranty/>

- 保証対象部分は本体です。ケーブル類等や試供品については無料修理保証の対象外となります。

⚠ ● 損害について

本製品の故障、または不具合などにより、通話などの機会を逸したためにお客様または第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

● 故障・修理について

故障または修理により、お客様が登録／設定した内容が消失／変化する場合がありますので、大切な電話帳などは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に本機に登録したデータ（電話帳／画像／サウンドなど）や設定した内容が消失／変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

● 分解・改造について

本製品を分解／改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。

アフターサービスについて

修理を依頼される場合、お問い合わせ先または最寄りのソフトバンクショップへご相談ください。その際、できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- 保証期間中は無料修理規定に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。
- ① 補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の保有期間は生産打ち切り後目安として3年です。ただし、修理部品の不足等により、期間内であっても有料修理をお受けできない場合がございます。

本書は参考用です。色、サイズ、および画面のレイアウトを含む（ただしこれらに限定されない）実際の製品は異なる場合があります。この取扱説明書に記載されているすべての記述、情報、および推奨事項は、明示または非明示の保証を行うものではありません。

本端末には、他人に無断で使用されないように端末を保護することを目的として、Googleアカウントによる「端末保護機能」が搭載されております。工場出荷設定への復元やNMカードを使用した更新などを行う際に、本端末で最後にログインしたGoogleアカウントの入力が必要になる場合があります。Googleアカウントを忘れた場合、有償修理（保証期間内含む）が必要となりますのでご注意ください。

ご利用の国や地域の最新のホットラインおよびメールアドレスについては、<http://consumer.huawei.com/en/support/hotline> をご確認ください。

EMUI 9.0_01

Qualcomm®
aptX™

